

平成26年度

佐倉市立公民館のまとめ

佐倉市立公民館

目 次

1. 佐倉市の公民館	1
2. 平成26年度教育目標	2
3. 第2次・佐倉市立公民館活動計画	5
4. 公民館運営審議会	7

中央公民館

佐倉地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	8
3歳児親子あそびうた教室	8
お父さん歓迎！親子で食育講座	9
2. 青少年教育事業	10
ジュニアカヌースクール	10
子どもの居場所作り	11
通学合宿	12
水辺観察会	13
JOSHIBIワークショップ「まち・まち大作戦！～」	13
3. 成人教育事業	14
地域づくり講座「地元野菜を使った プチ・パーティーに挑戦！」	14
パソコンイベント2014 「Wordで年賀状を作ろう！」	15
「健康増進教室」	16
佐倉学専門講座「印旛沼今昔」	16
佐倉学入門講座「佐倉・城下町400年 と土井利勝」	17
佐倉学講座「メディアに見る佐倉の現代 史」	18
佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」	19
印旛沼環境基金設立30周年記念公開 講座・座談会	19
佐倉市民カレッジ	20
4. コミュニティ事業	46
5. 団体育成事業	46
佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	46
佐倉学体験講座	48

公民館利用グループ懇談会	50
調理室利用者懇談会	50
6. 広報・展示事業	51
中央公民館だより	51
なかま	51
7. 視聴覚ライブラリー事業	51
親子映画会	51

和田公民館

和田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
子育て教室	6
楽しく家庭教育講座	6
2. 青少年教育事業	7
和田剣道教室	7
軽スポーツ大会	7
夏休みおもしろ体験教室	8
佐倉っ子塾料理教室	8
佐倉っ子塾伝統文化体験教室	9
3. 成人教育事業	9
佐倉・城下町400年記念事業 ミニぞうりづくり	9
佐倉学体験講座・ふるさとの味工房	10
佐倉市市制施行60周年記念特別展「写 真に残る和田地区の思い出」	10
佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域 塾	10
和田地区防災訓練	11
佐倉学び塾「食の地域モデルで新たな価 値を考えよう」	11
長命大学手芸教室	12
長命大学交流会	12
4. 団体育成事業	13
和田地区青少年育成住民会議	13
和田小PTA民俗資料収集委員会	13

5. 広報・展示事業	13
公民館だより	13
歴史民俗資料室展示	13
6. 図書事業	14
図書貸し出し	14

弥富公民館

弥富地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
親子遊びのつどい	6
家族で遊ぼう	7
2. 青少年教育事業	7
弥富剣道教室	7
星空観察会	7
なんでも体験弥富塾（佐倉っ子塾）	8
3. 成人教育事業	8
ふるさと弥富散策会	8
グラウンドゴルフ大会	9
竹炭づくり体験	9
楽しくゆったり太極拳	9
くらしの講座（佐倉学体験講座）	10
バス研修	10
デコ巻き寿司づくり	10
そば打ち体験	10
太巻き祭り寿司講座	10
布ぞうりづくり講座	11
佐倉学入門講座	
「立身流を今に伝える」	11
塩古ざるづくり（佐倉学専門講座）	11
さくら学び塾～青春を取り戻そう！大人のためのエレキギター講座～	11
4. 団体育成事業	13
地域まちづくり協議会	13
弥富地区青少年育成住民会議	13
弥富民俗資料展示室	13
5. 広報・展示事業	13
公民館だより	13

根郷公民館

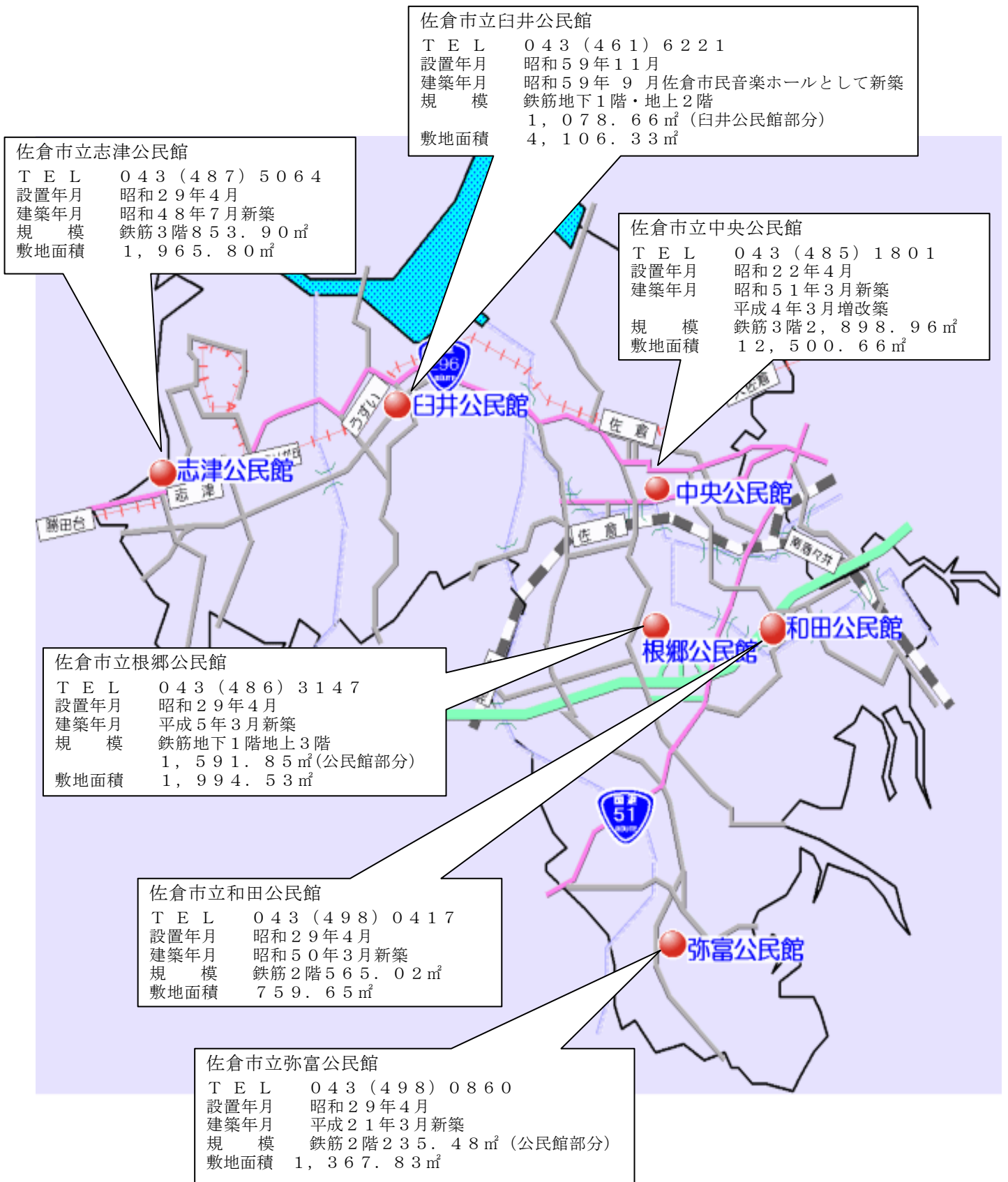
根郷地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	9
ぽっぽちゃんクラブ	9
親子体験教室	11
親子ふれあい教室（幼児）	12
親子ふれあい教室（小学生）	12
怒鳴らない子育て練習講座	12
食育実践講座	13
2. 青少年教育事業	13
通学合宿	13
おもしろ科学実験隊	14
勾玉作りに挑戦！	15
夏休みこども水彩画教室	15
子ども映画鑑賞会	15
クリスマスコンサート	16
2-1. 佐倉っ子塾	16
共通講座Ⅰ「環境講座」水辺観察会	16
工場見学に行こう	17
佐倉子どもかるた教室	17
3. 成人教育事業	18
根郷寿大学	18
生活習慣予防講座	19
後悔しない終活講座	19
市民人権啓発講座	20
わくわく元気塾	20
パソコン広場	21
はじめてのハンギングバスケット講座	21
珈琲学入門講座	22
地域防災向上講座	22
3-1. 佐倉学講座	23
佐倉学入門講座	23
根郷ふるさと探訪	24
伝統の根郷産こんにゃく作り体験	24
4. 団体育成事業	25
5. 広報・展示事業	26
公民館だより	26
6. 図書事業	26

志津地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
お母さんと遊ぼう「ぽっぽちゃんのお家へ いこう」	6
笑顔で子育て応援講座	8
(1)「親子で房総祭り寿司づくり体験」	8
(2)「親子で楽しい茶道体験」	8
2. 青少年教育事業	9
佐倉っ子塾「子どもクッキング教室」	9
佐倉っ子塾「子ども手づくり工房」	10
佐倉っ子塾「こども自然教室」	11
佐倉っ子塾「子ども理科実験教室」	11
佐倉っ子塾「中高ちよこボラ」中学生・高 校生のための公民館職場体験学習	12
3. 成人教育事業	13
しづ市民大学（第25期）	13
佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ	20
佐倉・城下町400年記念事業 「佐倉道を歩く」	21
佐倉学入門講座「地産地消 佐倉コミュ ニティカフェを学ぼう」	22
コミュニティ事業・さくら学び塾（学び あい講座）「しあわせへの整理収納」	23
4. 団体育成事業	24
第41回志津公民館祭	24
定期利用サークル運営研修会	25
調理室利用サークル懇談会	25
志津地区の子ども会育成活動	25
志津ジュニア・リーダーズ・クラブ （志津JLC）	25
5. 広報・展示事業	26
志津公民館だより	26
6. 図書事業	27

臼井・千代田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
おはなし会	6
2・3歳児親子遊び「親子で楽しむえほ ん・わらべうた ちびちびクラブin臼井」	7
家庭教育講座 「考えようスマートフォン」	8
2. 青少年教育事業	9
佐倉っ子塾共通講座「手作り講座」 （モバイルつくり教室）	9
佐倉っ子塾共通講座「自然講座」 （夏休み こども水辺探検ツアー）	9
佐倉っ子塾共通講座（土器づくり教 室）	10
バック・ステージ・ツアー	10
3. 成人教育事業	11
地域づくり入門講座「ヨガ講座」 （パワーヨガ講座）	11
佐倉学専門講座「印旛沼」	11
佐倉学入門講座「中世の佐倉・臼井城と その時代」	12
佐倉学体験講座「ちよっといいとこ見て 歩き」（印旛沼の治水・花見川掘削）	12
4. コミュニティ事業	13
佐倉学び塾（はじめよう！色コミュニケ ーション色育（いろいろく））	13
5. 団体育成事業	14
臼井地区子ども会育成会連絡協議会 （臼井地区子連）	14
かたりべの会	14

6. 広報・展示事業	15
公民館だより	15
まちづくり資料室の展示	15
展示室の貸出し	15
7. 図書事業	17

1. 佐倉市の公民館



2. 平成26年度教育目標

「よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現」

平成26年度施策の主な特徴として、「①安心・安全な教育環境を確保するための学校施設耐震化の推進」、「②インクルーシブ教育、少人数指導支援など、より充実した学校教育の推進」、「③2年制が整うコミュニティカレッジさくらの事業運営や、志津公民館の整備などによる生涯学習・社会教育の振興」、「④歴史文化的資産と魅力を活かした文化振興」の4点が挙げられます。

この4点を含め、「佐倉教育ビジョン推進計画」及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、施策を推進します。

(1) 地域の教育力の向上をはかります

- ・地域との連携を深め児童生徒の安全確保に努めるとともに、地域づくりの拠点として学校の活用を進めます。また、地域の声や評価を反映できる学校運営を目指します。
- ・幼稚園の教育環境を充実させるとともに、園児の就園を支援します。
- ・学校運営委員会等の学校・家庭・地域の連携を行う取り組みを推進します。
- ・青少年の健全育成を目的とした地域の活動を充実させます。
- ・学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。
- ・人づくり、地域づくりを目指した公民館活動を充実させます。
- ・地域活動の担い手の育成のため、コミュニティカレッジさくらを開設運営します。

(2) “佐倉の教育”への市民参加の促進をはかります

- ・佐倉の教育への関心を高めるため教育懇話会、「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。

(3) 確かな学力の向上をはかります

- ・【拡充】学習状況調査（理科を追加・全面实施）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。
- ・【拡充】夏季休業中に全小中学校で「好学チャレンジ教室」を開催します。教員や学生ボランティアが好学チャレンジプリント等の教材を活用しながら指導し、基礎・基本の定着を図ります。【中学校へも拡充】
- ・外国語指導助手14名を全小中学校に派遣し、英語・外国語活動の授業や国際理解教育の一層の充実を図ります。
- ・経済的支援が必要な高校生を対象とした奨学金を支給します。
- ・経済的な理由により就学が困難な小中学生の教育に係る費用を援助します。
- ・理科教育支援員1名を小学校2校に派遣し、理科学習指導や環境整備を支援します。
- ・弥富小学校の複式学級の解消と少人数によるきめ細かな指導を行うため、学校支援補助教員を1名配置します。
- ・少人数指導支援のため、学校支援補助教員を3名任用し、ティームティーチングなど、児童生徒個々への学習支援を充実させます。
- ・教育課題等の調査・研究や指導方法の改善に取り組み、児童生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上や体力を身につけるような取り組みを推進します。
- ・学習指導要領の趣旨を徹底させ、指導方法の改善と授業改善のため教職員の研修を充実させます。
- ・教育委員会訪問として、教育委員会が、校（園）長の求めに応じ学校（園）を訪問し、教育委員会のあらゆる

る機能を活用してもらうことにより、学校経営の改善に取り組みます。

(4) 豊かな心と丈夫な体の育成をはかります

・佐倉の伝統や文化を生かした道徳の授業の充実と体験活動やボランティア活動等とおし、道徳的実践力を高める教育を推進します。

・学校生活や学習活動を行う上で、児童生徒の必要に応じた支援を充実させます。

・特別支援教育支援員38名を特別な配慮を必要とする幼児児童生徒のいる幼小中学校に派遣し、学校生活や学習活動を行う上で、一人ひとりのニーズに応じた支援を充実させます。

・【新規】インクルーシブ教育推進モデル事業を推進し、言語通級指導教室設置校を中心に支援が必要な児童への効果的な支援体制等について研究を進めます。

・【拡充】児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員10名、心の教育相談員7名（1名増員）、スクールカウンセラー11校と連携し、各種教育相談体制を充実させます。

・【新規】学校におけるいじめ防止体制の整備を図り、いじめの防止、早期発見・早期対応に努めるなど、いじめの防止のための対策を推進します。

・児童生徒の情操を高め豊かな心を育むため、学校図書館司書11名を全小中学校に派遣し、読書活動の推進や読書環境の充実に努めます。

・児童生徒の体力の現状を分析し体力向上推進計画を作成することにより、体力の向上に努めます。

・【拡充】学校プール施設がない学校における水泳指導を、民間との連携により授業に取り組み、小学校学習指導要領での水泳学習のねらいを達成させます。

・児童生徒の生活習慣病予防検診事業の継続と、健康教育を充実させます。

・学校給食を通じて児童生徒への食育を推進します。

・一部学校で、給食室の老朽化に伴う改修工事に着手します。

(5) 「佐倉学」の推進をはかります

・【新規】佐倉学リーフレットを作成し、佐倉学の周知を図ります。

・佐倉学副読本や資料の活用により、「佐倉学」を一層充実させます。

・「佐倉学」を普及、促進します。

(6) 新たな佐倉の魅力の発見と、芸術文化の普及をはかります

・市の歴史や文化を表象する資産について、各種講座や見学会等を開催し、郷土への関心と愛着を高めます。併せてこれらの資産に関して、ホームページやチラシ

等で広く情報発信を行い、佐倉の歴史文化的魅力について市内外に周知します。

・芸術文化に関する様々な展覧会や演奏会等の実施とおして、市民が芸術文化に親しむ機会を充実させます。また各種芸術文化団体の主体的な活動を支援し、その育成を行います。

・大学機関等との連携により、教育・文化の振興と発展、人材育成に資する事業を実施します。また地域の中で芸術文化の役割を探り、連携事業の展開を支援します。

・【新規】市内遺跡から出土した埋蔵文化財出土遺物を保管する収蔵庫を増設します。学校施設で保管していた出土遺物を収蔵施設にまとめ、整理や研究を進めて公開等の更なる活用推進を図ります。

(7) 安心して学べる教育環境の整備をはかります

・東日本大震災を教訓として、防災体制を充実させます。

・小中学校の耐震化を進めるとともに、施設の維持管理に努めます。

・小中学校の教材備品を計画的に購入し、教育環境を整備します。

・児童生徒が安心して通学ができるように、安全の確保に努めます。

(8) 様々な場面で市民が学ぶことのできる機会の提供をはかります

- ・各公民館、図書館の事業を充実させます。
- ・コミュニティカレッジさくらの整備、活動事業を推進します。
- ・老朽化の進む志津公民館について、複合施設として建替え整備を行います。

3. 第2次・佐倉市立公民館活動計画

～ 魅力ある佐倉の人づくり、地域づくりをめざして ～

近年、少子高齢化の進行、科学技術の進歩、高度情報化の進展等に伴い、価値観が多様化し大きな社会変化をもたらしています。また、地縁関係の希薄化、コミュニティの人間関係の希薄化、核家族化の進行など地域をとりまく環境は大変厳しい状況になっております。

これからの公民館は、地域課題を的確にとらえ、地域教育力の向上・地域コミュニティの再生に向けた社会教育事業が求められています。

平成17年の「佐倉市公民館活動計画」策定から5年が経過しました。この間、平成18年に半世紀以上の時を経て教育基本法が改正され、「教育の目標」「生涯学習の理念」「家庭教育」「社会教育」「学校・家庭・地域の連携」が規定されました。この改正に伴い、平成20年には、社会教育行政の体制の整備等を図るため、社会教育法も大きく改正されました。

社会教育に関する教育基本法の主な改正点としては、「個人の要望や社会の要請にこたえる国及び地方公共団体による社会教育の奨励」が規定。さらに、教育の目標の一つに「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことが掲げられました。この点は、今後の社会教育行政の在り方を考える上で重要となります。

社会教育法の主な改正点としては、教育委員会の事務に「地域住民等による学習成果を活用した学校等における教育活動の機会の提供」「児童生徒に対し、放課後・休日に学習等の機会の提供」「家庭教育に関する情報の提供」「情報化の進展に対応し、必要な知識・技能に関する学習機会の提供」などが追加されました。また、運営の状況に関する評価等が新設され、「公民館は、運営状況に関する評価及び改善並びに地域住民等に対する情報提供に努めること」が新たに設けられました。また、改正社会教育法の施行に当たって、衆参両院の委員会から特段の配慮をすべき事項についての附帯決議もなされています。このような状況を踏まえ、「第2次・佐倉市公民館活動計画」では、前計画の「公民館事業の展開」「職員の資質向上」の章に加え、「地域の人材育成」「公民館事業の評価」の二つの章を新設し、まったく新しい仕組みづくりに取り組みます。佐倉市教育ビジョン（23年度から32年度まで）の改定に伴って定められた、基本理念とめざすべき佐倉市民像の具現化をめざした事業展開をしていきます。

【教育ビジョンの基本理念】

よく学び、自ら考え進んで行動し、生きる喜びを分かち合う、心豊かな市民をめざす“佐倉の教育”の実現

【教育ビジョンのめざすべき佐倉市民像】

- (1) 佐倉に誇りと愛着を持つ人
- (2) よく学び、自ら考え進んで行動する人
- (3) 豊かな心と創造力に富む人

また、平成23年度から第4次佐倉市総合計画による施策が展開されることから、総合計画と整合性を図り、社会の変化に対応しながら事業を展開していきます。

第1章 公民館事業の展開

1. 前計画での課題等

2. 今後の事業展開

第2章 地域人材の育成

1. 敗戦後の地域人材育成
2. 生涯学習時代の地域人材育成
3. バブル崩壊後の地域人材育成
4. 社会教育法改正と地域人材育成
5. 地域人材育成の仕組みを構築

・既存の「市民カレッジ」「しづ市民大学」「寿大学」等と、新たに事業展開する「地域コミュニティ事業」との連携を図り、「興味・関心で集う活動」の担い手と、「居住地域の活動」の担い手を相乗的に生み出していく仕組みを構築していきます。

・社会教育課と全公民館が共同して「地域コミュニティ事業」の展開を図ります。

地域コミュニティ事業の構想

・地域の教育力の低下、地域コミュニティの希薄化が進む中、自ら居住する地域に目を向け、生活課題に対して感心を高めるための学習機会を提供し、自ら地域を形成していこうとする気概と行動をおこす、新しい時代の「地域活動の担い手づくり」を図ります。また、地域のたまり場作りのきっかけづくりを支援して、地域の間人関係を醸成します。

- ① コミュニティカレッジ（2年制）
- ② 地域学びあい講座（市民企画講座）
- ③ 地域出前講座

第3章 公民館事業の評価

1. 行政評価導入の背景
2. 行政評価とは
3. 公民館と行政評価の現状
4. 社会教育法改正と外部評価導入
5. 佐倉市公民館事業評価の視点と取り組み
6. 佐倉市公民館事業評価の概要図

・佐倉市行政評価を活かして、目的に対する効率性の測定に努めます。
・共通アンケートや外部評価を活かして、事業成果を中心とした測定に努めます。
・公民館事業評価をとおして、事業の改善と職員の資質向上に努めます。

第4章 職員の資質向上

1. 館長・主事合同の初任者研修
2. 社会教育主事資格の取得
3. 公民館運営審議会委員への事業報告

4. 公民館運営審議会

佐倉市公民館運営審議会委員（平成26年7月1日～平成28年6月30日）

氏名	所属等	備考
中村 次克	千葉県立佐倉南高等学校長	
天本 憲亮	佐倉市立志津中学校長	
大野 尊史	佐倉市立上志津小学校長	
鷹野 千恵子	佐倉市子ども会育成連盟	
酒井 孝子	人権擁護委員	
大野 直道	学識経験者	
高梨 直子	学識経験者	
浅井 俊彦	学識経験者	
奥津 友子	学識経験者	
慶田 康郎	学識経験者	
坪井 浩	学識経験者	
松井 強	公募	
村上 勲	公募	
日向 和夫	公募	
松野 勝	公募	

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とJR総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城址、武家屋敷、順天堂記念館、平成18年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成27年3月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており商店街も形成している。

公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成11年3月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。JR佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩15～20分、最寄りバス停から5分の場所に位置する。

佐倉地区の人口は平成27年3月末日で、29,510人で昨年に比べ257人の増となっているが、これは平成26年6月の人口統計から外国人も含めたためであり、全体的には減少傾向である。

佐倉地区のデータ

【平成27年3月末現在】

○佐倉地区：面積 20.95 km² (佐倉市：面積 103.69 km²)

○佐倉地区：住基人口 29,510人 (佐倉市：住基人口 177,411人)

○佐倉地区：人口密度 1,408人/km² (佐倉市：人口密度 1,710人/km²)

1. 公民館運営計画

運営方針

「佐倉教育ビジョン」及び「第2次・佐倉市立公民館活動計画」の基本理念を踏まえ、歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

- 利用者に対して、適切な対応をするように努める。
- より多くの人に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 各種の事業内容の充実に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図る。

(1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 利用時間 午前9時から午後9時00分まで。

ただし、月曜日と祝日は、午後5時00分まで。

- ② 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

(2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの

机、椅子、拡声装置

2. 学級講座

学習機会の拡充と学習内容の充実に努めるため、学級講座の質的向上に努める。

家庭教育講座、青少年教育講座、成人教育講座、佐倉市民カレッジ等の実施。

3. 団体育成事業

公民館利用グループ・サークル活動の育成と支援や、子ども会活動への支援、高齢者ボランティアグループの支援を行う。

4. 広報事業

公民館の役割や各種文化行事等の情報提供。

中央公民館だよりの発行、各種館外催物、各種ポスター等の掲示及びパンフレットの配布、公民館の役割や利用の仕方のパンフレット配布。

5. 展示事業

ロビー等の効果的活用を図る。

利用者作品展、各種展示会の開催。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用件数 (件)	6,965	6,554	6,780	6,463	6,611
利用人数 (人)	107,973	98,335	112,787	101,664	115,841
開館日数 (日)	333	333	333	333	333

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	3歳児親子あそびうた教室	3歳児とその保護者 前期 15組 後期 20組	前期 10/3：9組 10/31：10組 11/7：7組 後期 H27.2/3：14組 2/17：14組 3/10：14組	遊びをとおして、幼児の自主性と豊かな心を育てる親の態度を養う。
	家庭教育講座 「お父さん歓迎！親子で食育講座」	小学生と保護者 10組	2/21：10組	親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。また、父親の家事・育児参加を促すことにより、男女平等参画の推進と家庭教育の充実を図るため、父親優先とする。
青少年教育	ジュニアカヌースクール	小学校3・4・5年生 15人	6/7：11人 6/14：15人 7/5：12人 7/19：11人 8/9：12人 8/22：10人 8/23：10人 9/13：12人	カヌーを通して、自然やスポーツに対する関心を高め、自身の努力・達成感を育む。
	子どもの居場所作り	小学生	花とあそぼう・いけばな教室 7/25：14人 7/29：12人 7/30：8人 佐倉こどもかるた大会 7/30：8人 8/6：12人 8/27：8人 子どもそば打ち体験教室 8/4：9人 三角ｺﾌﾟﾀｰ(竹ｺﾌﾟﾀｰ)	公民館を利用しているサークルが小学生を対象に指導し、日頃の学習の成果を披露し、地域の世代間交流を図る。

			8/9 : 11 人 ペットボトルのロケット を作ってとばそ う！ 8/18 : 24 人 子どものための 絵画教室 8/22 : 6 人 親子で学ぶ武家 屋敷と侍の暮ら し 8/23 : 12 人 (保護 者 5 人)	
		小・中・高校生 及び保護者 7月下旬～8月	7/26～8/31 延べ 77 人 (34 日間)	夏休み期間中、学習室 1 を自主学習の場と して提供する。
	通学合宿	佐倉小学校 4・5・6 年生 21 人	11/16～19 (佐倉高セミナーハウス) 21 人	異年齢の子どもたちが、親元を離れ共同生 活体験をすることにより、自主性・協調性 などを高める。また、地域の住人との交流 も図り、明るい地域づくりを期待する。
	水辺観察会 「夏休みこども水辺 探検ツアー」	小学校 4・5・6 年生 20 人	7/30 : 19 人	環境政策課と共催。谷津の生きものや水質 についての講義と野外観察を通じて佐倉 の自然環境を学ぶ。
	JOSHIBI ワークショップ 「まち・まち大作 戦！」 佐倉市・女子美術大学 連携協働事業	小学生 20 人	8/20 : 11 人	女子美術大学教員・学生の指導を受けなが らアートを体験する。
成人教育	地域づくり講座 「地元野菜を使った プチ・パーティーに挑 戦！」	成人 20 人	2/10 : 16 人	地域人材による講習会を行い、地域とのつ ながりと興味を深める。
	パソコンイベント 2014「Word で年賀状を 作ろう！」	各回とも 成人 10 人	11/8 午後:10 人 11/9 午前:8 人 11/9 午後:9 人	パソコン等の機器に実際に触れ、操作する ことによって、どのようなものであるかを 体験する。
	健康増進教室	成人 30 人	9/6 : 37 人 3/14 : 27 人	介護予防に関する心身の健康に必要な指 導及び助言を行い、家庭における健康管理 に資する。

佐倉学専門講座 「印旛沼今昔」	成人 50人	1/25 : 64人 2/8 : 70人	佐倉の象徴として「印旛沼の文化と自然」を学び、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に伝えていくことの重要性を認識してもらう。
佐倉学入門講座 「佐倉・城下町400年と土井利勝」	成人 各20人	3/14 : 4人 3/22 : 10人	講座と佐倉地区の史跡散策を行い、土井利勝が佐倉城とその城下町を整備してから約400年の歴史を学ぶ。
佐倉学講座「メディアに見る佐倉の現代史」	成人 90人	11/8 : 40人 11/22 : 33人	「佐倉学」を総合的に学べる場を提供し、「佐倉学」の普及を図りながら、佐倉の歴史と風土への理解を深める。
佐倉学講座 「古今佐倉真佐子を歩く」	成人 20人	3/18 : 24人	古今佐倉真佐子に記された場所を散策し、古くて新しい佐倉についての身近な発見をする。
印旛沼環境基金設立30周年記念公開講座・座談会 (共催事業)	成人 90人	6/28 : 91人 7/26 : 76人 8/30 : 55人 9/27 : 38人 11/1 : 21人 11/29 : 37人	印旛沼環境基金が主催し、環境保全課、との共催事業。佐倉市のシンボルでもある印旛沼の状況と自然環境と水の浄化について学ぶ。
佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年・第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年・第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢化社会のなかで、市民が健康で生きがいをもち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をとおした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、「であい課程」を修了後、更に学びたい人のための専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。 公開講座、ミニセミナー等を拡充し、一般への学習機会の提供を図る。
	40歳～59歳 20人 60歳以上 80人	5月～2月 65回	
	第2学年		
	40歳～59歳 20人 60歳以上 80人	5月～2月 67回	
	第3学年		
	40歳～59歳 20人 60歳以上 80人	5月～2月 41回	
第4学年		3/31現在 第1学年 : 40～59歳 2人 60歳以上～ 86人 第2学年 : 40～59歳 3人 60歳以上～ 86人 第3学年 : 40～59歳 3人	
40歳～59歳 20人 60歳以上 80人	5月～2月 43回		

				60歳以上～ 83人 第4学年：40～59歳 1人 60歳以上～ 79人
コミュニティ事業	さくら学び塾 「さあ『エコな生活』をしてみませんか」	成人 20人	①10/19 :9人 ②11/2 :8人 ③11/9 :11人 ④11/16 :10人 ⑤11/30 :13人	各家庭で利用できる自然エネルギーの機能や効果を講師が解説し、「家計にやさしい家」や「地球温暖化防止」及び受講生の自宅の「環境家計簿」の高熱水量・費などの記載により環境知識の向上を図る。
団体育成	佐倉地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 3団体	随時	子ども会の育成者を養成し、子ども会同士の交流を図る。佐倉市子ども会育成連盟主催の中央交流フェスティバル等に参加。
	佐倉学・体験講座 「佐倉民話を語るボランティア派遣事業」、「佐倉こどもかるた普及派遣事業」	幼児・児童・成人	随時	佐倉に伝わる民話を題材とした語りを行うグループ「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会」を市内小学校等に派遣し、民話や佐倉こどもかるたを通じて郷土愛を育む。
	中央公民館 利用グループ懇談会	利用団体代表者 約200団体	年1回 4/24 : 220団体	利用者団体の交流を図り、公民館活動のあり方について懇談する。
	調理室利用者懇談会	定期利用団体	6/30 : 15団体 12/24 : 14団体	調理室の効果的利用方法を考えるとともに、懇談を通して利用サークル間の交流を図る。
広報活動	中央公民館だより	佐倉地区	年1回 500部	公民館の事業紹介や募集、地域の様々な情報を提供する。
	なかま	成人	毎月1回 1,500部	市民から広く原稿を募集し、市民による編集委員会により、編集・校正をする。
	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
視聴覚教材ライブラリー	親子映画会	小学生、幼児とその保護者 各500人	8/8 「プレーンズ」 : 575人 12/26 「かいけつゾロリ」 : 345人 3/27 「マジック・ツリーハウス」 : 296人	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。(市民音楽ホールで開催)

16 ミリ映写機点検事業	16 ミリ映写機 保有施設	2/20～23	各施設所有の 16 ミリ映写機を、老朽化に伴う上映使用時のトラブル防止のため、一括して点検を行う。
16 ミリ映写機操作講習会	社会教育団体 ・一般 20 人	6/28 : 13 人	視聴覚機器の操作を習得する機会を提供し、映像教材の活用を図る。

1. 家庭教育事業

3 歳児親子あそびうた教室

①開設趣旨 幼児にとって遊びは、生活上なくてはならない重要な学習の一つである。手遊びとリトミックを通して健やかな体と豊かな感受性、好奇心を育むとともに、同年齢の子と保護者の触れ合い、交流する場として開設する。

②募集対象、募集人員 3 歳児とその保護者 前期：15 組 後期：20 組

③開催期間 前期 平成 26 年 10 月 3 日・31 日・11 月 7 日 3 回 10:00～11:00
後期 平成 27 年 2 月 3 日・17 日・3 月 10 日 3 回 10:00～11:00

④学習目標 1. 身体で手本を示す親になりましょう。
2. 学んだことを生活の中で活かす努力をしましょう。
3. 子どもの豊かな創造性を大切にし、友だちづくりや他の親子との交流に努力しましょう。

⑤プログラム

【前期】

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月3日(金) 10:00～11:00	音楽に合わせて準備体操。音楽に合わせて動物や乗り物になりきる。 歌と手遊び。	伊藤 佳子 美谷島 克子 工藤 真季 東 由美子
2	10月31日(金) 10:00～11:00	音楽に合わせて準備体操。音楽に合わせて遊具で体を動かす。 歌と手遊び。	伊藤 佳子 美谷島 克子 工藤 真季 東 由美子
3	11月7日(金) 10:00～11:00	音楽に合わせて準備体操。音楽に合わせて遊具で体を動かす。 歌と手遊び。	伊藤 佳子 美谷島 克子 工藤 真季 東 由美子

【後期】

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月3日(火) 10:00～11:00	音楽に合わせて準備体操。音楽に合わせて動物や乗り物になりきる。 絵本読みきかせ。職員を鬼にみたてて、豆まき。ピアノコンサート。	伊藤 佳子 美谷島 克子 工藤 真季 東 由美子
2	2月17日(火) 10:00～11:00	音楽に合わせて準備体操。音楽に合わせて遊具で体を動かす。絵本の読みきかせ。ひな祭りにちなんで折り紙でお雛様作り。 ピアノコンサート。	伊藤 佳子 美谷島 克子 工藤 真季 東 由美子
3	3月10日(火) 10:00～11:00	音楽に合わせて準備体操。音楽に合わせて遊具で体を動かす。絵本の読みきかせ。ピアノコンサート。子ども達と一緒に「大きなカブ」の演劇をする。	伊藤 佳子 美谷島 克子 工藤 真季 東 由美子

⑥講座を終えて

今回は3歳児を対象とした講座を初めて行う講師だったため、手探りの中講座が始まった。より良い講座にするため何度も講師との打ち合わせを行った。また1つの講座が終わるたびに復習と反省、次回の講座の打ち合わせをした。その甲斐があり回数を重ねるたびに内容が充実した講座になった。

前期に行った講座の子ども達は、なかなか保護者から離れられない子たちがいた。しかし回数を重ねるごとに保護者から離れのびのびとホールを走り回るようになった。特に3回目前半最後のリトミックについては子どもたちの笑い声が絶えず聞こえ、とても楽しい回になった。

後期の講座の子ども達は、人見知りなく初めての子同士でも仲良くホール内を走り回っており、子ども達の適応能力には大変驚かされた。3回とも内容と流れが似ていたため、内容に創意工夫が必要だと思った。前期、後期ともに言える事だが、保護者と一緒に参加する場面が少なかったため、来年度は保護者をもっと参加出来るような内容にしたいと思う。また、アンケートにも要望があったが、講座回数を増やした方が他の子どもや、保護者同士の交流がしやすくなるため、回数を増やすよう検討したい。講師と子ども達、保護者が共に成長するととても良い講座だったと思う。これからも継続していきたい事業である。

お父さん歓迎！親子で食育講座

- ①開設趣旨 ライフスタイルの変化により欠食や偏食などの食生活の乱れが子どもたちの健康に及ぼす害として懸念される中で、親子で正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、大切さを学ぶ。
また、父親の育児・家事参加を促すことにより、男女平等参画の推進と、家庭教育の充実を図る。
- ②募集対象、募集人数 小学校3年生から小学6年生とその保護者 10組
- ③学習目標 調理する食材について知り、食の機能と食文化について学ぶ。
講座を通して親子の触れ合い、交流を深める。
- ④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月21日(日) 10:00~13:00 中央公民館調理室	講義 「育ちざかりの子どもに必要な食べ物とは」 旬の食材を使った調理を行う。	健康増進課職員

⑤講座を終えて

平成22年度より男女共同参画の観点を取り入れ、お父さんと子どもを優先にして募集した食育講座である。今年度の参加は親子10組となった。地域新聞を使った広報活動の効果もあり、25年度より参加組数が増えた。

調理実習では、皆真面目に栄養士の説明に聞き、楽しんで料理を行い、無事に講座を終える事が出来た。

アンケートでは、保護者から「苦手な食材でも組み合わせ方・調理の仕方によって食べられるようになった」「もっと回数を増やして欲しい」などの意見があり、子どもから「色々分かったことがあって、とっても楽しかった」「他の家族ともコミュニケーションがとれて良かった」との意見があった。

2. 青少年教育事業

ジュニアカヌースクール

①開設趣旨 カヌーを体験することにより、地元の印旛沼に親しむとともに、年齢の異なる仲間との団体活動をとおして社会性・自発性の涵養を図る。

②募集対象・募集人数 小学生3年生～5年生 15人

③開催期間 平成26年6月7日(土)から9月13日(土) 全8回
午前10:00～12:00

④指 導 者 佐倉市カヌー協会

⑤学習プログラム

回	月日(曜日)	テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者
1	6月 7日(土)	開講式・実習	講義と会場見学・実技	佐倉市カヌー協会
2	6月14日(土)	実習	基本技術の習得	〃
3	7月 5日(土)	〃	〃	〃
4	7月19日(土)	〃	〃	〃
5	8月 9日(土)	〃	〃	〃
6	8月22日(金)	〃	〃	〃
7	8月23日(土)	〃	〃	〃
8	9月13日(土)	〃	〃	〃

⑥事業を終えて

基本的な技能の習得を中心とした講座を実施した。プログラムの後半では、ボールを使ったり、レースをしたり、様々な形状のカヌーに挑戦し、より高度な技能を身につけることができた。

練習場所は佐倉市カヌー協会の全面的な協力もあり同協会が普段の練習場所としている印旛沼中央水路を使用し、子どもたちはカヌーの体験を通してふるさと佐倉の自然に親しんだ。

参加児童は様々な小学校の、学年の違う子どもたちであったが、回数を重ねるにつれ、お互いの親睦も深まり、準備・後片付けを皆で自発的に協力して行うようになっていった。

8月30日に行われた千葉県小学生新人カヌー大会には受講者5人が参加し、本講座での学習の成果を試した。

子どもの居場所作り

① 開設趣旨

今日の少子化の流れの中で、子どもたちの社会性とコミュニケーション能力を育むため、地域の様々な人たちとの関わりが大切と言われている。しかし現状は、安全に楽しく遊ぶ場所や機会が失われつつあり、子ども自身の手で「居場所」を作ることが難しい環境となってきた。そうした中で、夏休みの子どもたちの居場所を公民館が提供し、公民館利用グループの学習に子どもたちを参加させることで、各グループの学習の成果を発揮し、子どもたちと地域グループの交流を目指す。

② 募集対象、募集人員 小学生（主に佐倉地区4小学校） 定員延べ228人

③ 開催期間 小学生の夏休み期間 全11回

④ 学習プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月25日(金) 10:00~12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
2	7月29日(火) 10:00~12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
3	7月30日(水) 10:00~12:00	花とあそぼう・いけばな教室	佐倉市華道連盟
4	7月30日(水) 10:00~11:30	佐倉こどもかるた大会	佐倉こどもかるた子都手留会
5	8月4日(月) 9:30~12:30	こどもそば打ち体験教室	そば打ち愛好会
6	8月6日(水) 10:00~11:30	佐倉こどもかるた大会	佐倉こどもかるた子都手留会
7	8月9日(土) 9:30~12:00	三角コプター(竹コプター)	飛ばそう会
8	8月18日(月) 9:30~12:00	ペットボトルのロケットを 作ってとばそう!	お〜いあそぼうかい
9	8月22日(金) 13:30~15:30	子どものための絵画教室	絵画サークル・アムール
10	8月23日(土) 9:30~11:30	親子で学ぶ武家屋敷と 侍の暮らし	まちづくり支援ネットワーク佐倉
11	8月27日(水) 10:00~11:30	佐倉こどもかるた大会	佐倉こどもかるた子都手留会

⑤ 講座を終えて

平成17年度から始めた事業である。公民館利用グループの協力を得て、7団体の公民館利用グループに

より実施した。今年度は全体で延べ127人の参加があった。一人で複数の教室に参加した児童もいた。今日の少子化の流れの中で、地域の住民と関わることにより、子どもたちが地域社会に馴染む機会を作る「子どもの居場所作り」は、とても有意義な事業と言える。また、講師役を務める公民館利用グループにとっても、子どもたちとの交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。

6月初旬に全講座を一覧表にしたチラシを佐倉地区4小学校に配布した。応募多数で抽選となる講座がある一方で、応募者の少ない講座もあったが、夏休みに入る前に詳しい内容がわかる様な追加募集のチラシを配布したことで、応募者を増やす事ができた。

世代間交流の場として、地域に開かれた公民館の中の子供の居場所として、長く続けていきたい事業のひとつである。

通学合宿

①開設趣旨 子どもたちが生活体験をすることにより、協調性、自主性を育むとともに両親の大切さを感じる機会を提供する。また、両親には、子ども離れることで日頃の親子関係を考える機会を提供する。そして、スタッフに地域の人材を入れることで、地域で子どもを育てる意識を啓発する。

②募集対象・募集人数 佐倉小児童（4～6年生）21人

③開設期間 平成26年11月16日（日）～平成26年11月19日（水） 3泊4日

④学習目的

1. お互いの立場や役割を理解し、協力し合う心を育む。
2. 日常生活に必要な生活技能を習得する。
3. 子どもの自律と自立による生きる力 “社会性・責任感・協調性・他人を思いやるやさしさ・規律意識。忍耐力を育む。

⑤指導者 千葉敬愛短期大学生 佐倉市民カレッジ同窓会 佐倉高校 公民館職員

⑥プログラム

月日(曜日)	学 習 内 容	会 場	参加者数
11月16日 (日)～11月19日 (水)	開講式・閉講式 献立決め・買物・朝食・夕食(調理、後片付け)・洗濯・入浴・清掃	千葉県立佐倉 高等学校セミ ナーハウス	佐倉小児童21人、敬愛短期大学学生カウンセラー6人、市民カレッジ同窓会9人、佐倉高校ボランティア12人、公民館職員4人

⑦講座を終えて

佐倉小学校の通学合宿では、当初、児童21人募集のところ36人の応募があったため、抽選を行い21人で実施した。当事業においては市民カレッジ同窓会をはじめ、27人のボランティアの方々に参加いただき、登下校の付き添いなどをサポートしていただいた。

通学合宿期間中は、子ども達が班毎に、約35人分の朝食・夕食の献立決めから、買い物、調理、盛付け、片付けまでを行う。また掃除、洗濯、宿題をしながら普段どおり学校に通うため、4日間大変厳しい過密スケジュールではあったが、児童は「働くことや協力することの大切さ」「食事の為の買い物や料理の仕方がわかった」と回答している。また児童の中には「親の大変さがわかった」、「友達の大変さがわかった」と回答するなど、親元を離れ、自分達のことを自分達でやってみることで、家族の見えない大変さ・有難みを感じてくれたようである。「みんなに喜んでもらえるとうれしい」という意見もあった。

保護者のアンケートからは、「親にとって子の存在の大きさ」「自分のことを自分でする大変さがわかったよう

だ」「異学年の子との関わり方」を感じ・考える内容の意見があった。今回、通学合宿では、ほぼねらいどおりの体験活動ができたのではないと思う。学生カウンセラー主体の通学合宿だったが、カウンセラーが通学合宿のねらいを十分に理解し、本当によく考え頑張ってくれたおかげで、子ども達はとても楽しく有意義な時間を過ごせたようである。カウンセラーが4日間を通して子ども達に寄り添うことで、子どもへの細やかな配慮が可能となっていた。期間中は睡眠時間を削り子どもの事を第一に考えたミーティングを毎日するなどして活動もスムーズだった。

今回参加した児童は、普段から家の事をやっている子や、事前に練習してきた子が多く、知っている知識についてはお互いに教えあい、知らないことは聞いており、すすんで色々な調理をし、次に何をするかを考えて行動していた。調理中の怪我もなく、調理についてはほぼ許容範囲内で出来上がっていた。最終日は全員がセミナーハウスの掃除を一生懸命にし「初日より綺麗にするんだよ」という声も聞こえていた。4日間特に大きな問題もなく通学合宿が終わったことは、参加した子ども達の意識の高さが関係していると思われる。通学合宿を効果的に行うためには、参加者説明会や通知等により、子ども達が何をしに通学合宿に来たのかを十分に理解してもらい、またそれを子ども達にうまく伝えることも大切であると感じた。

千葉敬愛短期大学生に学生カウンセラーとして協力をいただいたが、子ども達と4日間共にすごしてくれたおかげで、子ども達への細やかな配慮が可能になり、活動も比較的スムーズに進めることができた。

環境政策課共通講座 水辺観察会「夏休みこども水辺探検ツアー」

- ①開設趣旨 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。
- ②募集対象・募集人数 小学4年生～6年生 20人
- ③学習目的 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む。
- ④指導者 千葉県環境財団 職員
- ⑤プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	会 場	参加者数
1	7月28日 (月) 9:00～16:00	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学ぶ。	ふるさと広場 (印旛沼：屋形船) 手繰川・畔田沢	佐倉小児童2人、佐倉東小8人、白銀小2人、印南小1人、染井野小4人、千代田小1人、上志津小1人、西志津小1人

⑥講座を終えて

佐倉市の象徴でもある印旛沼の環境を理解してもらおうと企画・実施した講座。印旛沼を取り上げ、各会場での水質と水源域に生息する水生生物について、地上と水上（屋形船）で観察しました。屋外の観察等、楽しみながら印旛沼の抱えている問題点などについても考え理解してもらえたと思う。

JOSHIBIワークショップ「まち・まち大作戦！」

- ①開設趣旨 本事業は平成24年4月2日付けで締結された「佐倉市と学校法人女子美術大学との連携協働に関する協定書」に基づき実施する。参加児童は芸術を手段として自分の「考えていること」「感じていること」「伝えたいこと」を表現することを体験し、学生は現場での実践をおして芸術教育の意義を学ぶことをねらいとする。

②募集対象、募集人数 小学校3～6年生 20人

③開催期間 平成26年8月20日(水) 13:30～16:00 1回

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月20日(水) 13:30～16:00	自分たちが住む「まち」がこんな「まち」だったら楽しいな、将来こんな「まち」になるといいな、など、子供たちの視点でまちづくりを考え、紙粘土、絵の具などを使って表現する。	女子美術大学芸術学部アートプロデュース表現領域3年(監修:日沼禎子准教授)

⑤講座を終えて

募集定員20人に対し、12人の応募があり、当日11人が出席、4人2グループ、3人1グループの3グループに分かれて、女子美術大生のファシリテートのもと、子供たちがグループごとにどんな「まち」をつくるか相談しながら制作した。

アンケートの結果、参加児童の満足度は高く、次回への期待が読み取れる。当日の様子からも見て取れたが、大学生による製作指導・支援は、参加児童・保護者からも好評であった。テーマはあるものの、何ができるかわかる一般的な工作と比較して、制作の自由度が高いことが好まれたようだ。

学生に対しては前提条件として夏休みの自由課題・宿題として提出できることを示したが、アンケートの結果、提出した児童はいなかった。グループで一つの作品を分担して仕上げたので、持ち帰った作品はその一部となってしまう、学校に提出する課題には適さなかったようだ。

3. 成人教育事業

地域づくり講座「地元野菜を使ったプチ・パーティーに挑戦！」

① 開設趣旨 現在、「食」と「農」の原点を見つめ直す地産地消の推進が全国各地で展開されている。

本講座では、地元野菜の新しい活用法を学び実践することにより、地産地消の推進を図り、食料自給率の向上や地域の活性化につなげることを目的とする。

② 募集対象、募集人数 一般成人 20人

③ 開催期間 平成27年2月10日(火) 13:00～16:00 1回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月10日(火) 13:00～16:00	メニュー ・紫芋のスコーン ・大和芋のテリーヌ ・人参のにんにく飴色煮 ・ごぼう入りブラウニー ・キウイフルーツのみりん煮ジャム ・黒豆茶	佐倉自然に生きる会 若梅 裕子

⑤ 講座を終えて

当日は、デモンストレーションから始まり、講師から調理の流れやコツ等の説明があり、その後参加者

が4グループに分かれて調理実習を行った。自然とコミュニケーションが生まれ、笑顔で楽しそうに調理していた。1人1メニューを担当するよう割り振って進めたので、手持ち無沙汰になってしまう方もいなかった。また、参加者が自主的に他の人を助け合いながら行っていた。講師の準備・シミュレーションが念入りに行われていたこともあって、滞りなく進んだ。

参加者のアンケートでは、85%が「講座に参加して満足」、15%がやや満足との回答を得ている。地域の講師による調理実習、特に地元野菜を使った料理作りを行うことで、仲間づくり・地域づくりに繋げることができ、引き続き次年度以降も続けていきたい事業となった。

パソコンイベント2014「Wordで年賀状を作ろう！」

- ① 開設趣旨 初級者を対象にパソコンに興味を持ってもらう講座を開くとともに、情報分野の裾野を発展させるよう図る。
- ② 募集対象、募集人数 一般成人 30人（各10人×3回）
- ③ 開催期間 平成26年11月8日（土）午後の部 13:00～14:50
11月9日（日）午前の部 9:40～11:30
午後の部 13:00～14:50
（※各回同じ内容）

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月8日(土) 13:00～14:50	Wordで年賀状を作ろう！	市民カレッジ情報コース卒業生 18期・19期生 17人
2	11月9日(日) 9:40～11:30	Wordで年賀状を作ろう！	市民カレッジ情報コース卒業生 18期・19期生 19人
3	11月9日(日) 13:00～14:50	Wordで年賀状を作ろう！	市民カレッジ情報コース卒業生 18期・19期生 19人

⑤ 事業を終えて

講座の内容として「Wordで年賀状を作ろう！」を8年連続で実施した。昨年度同様、今年度も公民館所有のパソコン(Windows7、Word2010)10台のみを使用することとし、土曜日の午前を準備に充て、土曜日の午後、日曜日の午前・午後の3回で各回10人計30人の定員とした。結果として土曜午後は満員の10人、日曜午前、午後はそれぞれ9人の申込みがあり、日曜午前に申し込んでいた人が午後に来てしまうというハプニングがあったが、定員内だったため対応できた。

企画・準備の段階から市民カレッジ情報コース卒業生の協力を得ながら進め、テキストの作成、当日の役割分担などを行った。受講者、スタッフにより技術の差があり、メイン講師の説明に進度が合わない場面もあったが、フリーのスタッフが適切に対応していた。また、昨年度までは文面の作成のみを実施していたが、昨年度受講者から「宛名面の作り方も知りたい」との要望があったため、昨年度を経験している18期生の発案で、簡単に宛名面の作り方の説明も実施した。電話で「家のパソコンがWindows8、Word2013」だが、対応できるか?との問い合わせがあり、パソコン初心者は、新しいパソコンを買ったばかりという人が多いことを考えると、公民館のパソコンで事業を実施することは、難しくなってくるかもしれないが、市民カレッジ情報コース卒業生の社会貢献の場としては、有意義な事業である。

健康増進教室

①開設趣旨 高齢者が、介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活を営むようにするため、地域の諸団体と連携をし、介護予防に関する心身の健康に必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資する。

②募集対象、募集人数 一般成人 30人

③開設期間 平成26年9月6日(土)・平成27年3月14日(土)
13:30~15:30

④学習目標

1. 介護が必要にならないために自分にあった予防方法を学ぶ。
2. 受講者同士で健康について話し合いをし、お互いの健康方法等知識を共有する。

⑤学習プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	9月6日(土) 13:00~15:30	体力測定と手軽なトレーニング 健康について受講者との懇談会	公益財団法人日産厚生会介護老人保健施設佐倉ホワイエ
2	3月14日(土) 13:00~15:30	口腔ケアと健康 健康について受講者との懇談会	公益財団法人日産厚生会介護老人保健施設佐倉ホワイエ

⑥事業を終えて

今回初めて公益財団法人日産厚生会介護老人保健施設佐倉ホワイエとの共催で講座を開設した。9月6日は募集の段階から定員30人のところに37人の応募が集まった。そのため急きょ37人を受け入れる事とした。内容は、前半は体力測定と手軽なトレーニングという事で受講者は自分自身の健康と体力という身近な内容なのでとても興味深く受けていた。また後半の懇談会についても自分自身で行っている健康法や健康についての不安や疑問等と和気藹藹と話し合う事ができた。アンケートは「とても面白かった」との意見がほとんどで概ね好調だった。

3月14日の口腔ケアと健康では、口腔ケアは健康に生活していく上でとても重要なケアだが、重要視している人は少ないためか応募者が27人と前回よりは少ない人数だった。内容はホワイエの歯科衛生士と言語聴覚士が、パワーポイントと歯の模型で判り易く解説していた。受講者も興味深く頷きながら、また時には笑いが起こるような充実した講座内容だった。後半の座談会では3グループに分かれ、初めての人同士でも話し合いし易い形にした。前回と同様、楽しく和気藹藹と話し合う事が出来た。

アンケートでは前回と同じく好評だった。受講者の中には「今度はいつ開催されるのですか」や「ぜひ続けてほしい」との声もあった。健康増進についての講座は近年なかったもので、来年度も続けていきたい。

佐倉学専門講座「印旛沼今昔」

①開設趣旨 かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶ。印旛沼の文化・歴史・自然を学習し、郷土佐倉の地域文化の創生につなげる。

②募集対象、募集人数 一般成人 50人

③開設期間 平成27年1月25日(日)・2月8日(日) 13:00~15:00 全2回

④学習プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	1月25日(日) 13:00～15:00	印旛沼周辺の野菜行商	千葉県立中央博物館 上席研究員 小林 裕美
2	2月8日(日) 13:00～15:00	印旛沼周辺の出羽三山信仰	

⑤事業を終えて

本事業は、「佐倉学」の中の1講座として開講した。

第1回の「印旛沼周辺の野菜行商」では、佐倉市だけではなく印旛郡内の「行商」について当時の写真を交えながら行商列車や女性の生き方について学習した。

参加者からは、当時を振り返り「懐かしい。行商の方から当時買ったものを思い出した」、「行商の方に支えられた生活だった」という声があった。

第2回の「印旛沼周辺の出羽三山信仰」では、千葉県内でも特に出羽三山信仰の深い佐倉市を中心に、出羽講をしている内房地域北部・内房地域南部・外房地域を対象に学習した。

悪天候にもかかわらず多くの参加者の出席があった。参加者から、市内の神社に行った時の記念碑の意味・講の意味が理解できたなどの声があった。また、出羽三山信仰が千葉県では佐倉市が一番盛んだという事でも関心を得ていた。印旛沼周辺だけでなく千葉県全域という広域を対象になっていた講座にしたことが新鮮だったと思われる。

佐倉学入門講座「佐倉・城下町400年と土井利勝」

①開設趣旨 「佐倉の歴史に興味があるけれども、きっかけがない」「これから佐倉の歴史を学んでみよう」という方々を対象に、佐倉城(鹿島城)を築城し、その城下町の整備を指導した佐倉の領主「土井利勝」をキーワードとして学習する。

現在の佐倉市の基礎となった江戸時代の佐倉を学習することによって、佐倉に愛着を持ち、ふるさと創生につなげることを目的とする。

②募集対象、募集人員 一般成人 各20人

③学習目標 平成27年3月14日～平成27年3月22日 2回

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	3月14日(土) 13:00～16:00	新町周辺散策 散策経路：佐倉市立美術館—旧駿河屋—佐倉新町おはやし館—一九稲荷—甚大寺—堀田家墓所—松林寺—勝寿寺—教安寺—妙隆寺—角屋—獄舎跡—共同井戸—山口家—旧平井家—吉田家—木村屋—佐倉市立美術館	NPO法人佐倉一里塚

2	3月22日(日) 13:00~16:00	新町周辺散策 散策経路: 3/14と同様	NPO法人佐倉一里塚
---	-------------------------	-------------------------	------------

① 講座を終えて

平成21年度から「土井利勝」について講座を開催しており、現代の佐倉市の都市計画につながる佐倉城とその城下町が整備された時代をテーマとしている。

開設趣旨を踏まえて「新町散策が初めてのカタ」と明記し参加募集をしたが、申込みが伸びず、各回とも少人数での開催となった。しかしながら、講師の丁寧な解説と、少人数ならではの質疑応答のやりとりは親しみやすく、初心者向けの講座としては効果があったと思う。

例年、散策と講演の組み合わせで展開している事業であるが、今回は講演の講師の手配がつかず、散策のみとなってしまった。講演では、専門的な視点で佐倉・城下町400年関連の歴史を解説していただくため、大学・博物館等から講師を迎えたいと考えている。

佐倉学講座「メディアに見る佐倉の現代史」

①開設趣旨 本講座は、「佐倉学」を総合的に学べる場を提供し、「佐倉学」の普及を図りながら、「人材の育成」と「新しい地域文化の創造」を目指すとともに、郷土愛を育むこと、関心を高めることを目的として実施する。今年度は、映画、雑誌、音楽、広告などのメディアに取り上げられた佐倉を2回連続講座で紹介することで、身近な題材から佐倉の現代史への興味を深めることをねらいとする。

②募集対象、募集人数 一般成人 90人

③開催期間 平成26年11月8日(土)・22日(土) 各10:00~12:00 2回

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月8日(土) 10:00~12:00	1. 『写真に見る佐倉』から、戦後の佐倉市の歩みを概観する 2. 佐倉にゆかりのある映画の楽しみ方(歴史、人物、ロケ地など)	満開佐倉文庫 館主 内田 儀久
2	11月22日(土) 10:00~12:00	佐倉市に関する雑誌、音楽、広告、切符、チラシ、テレホンカードなどから、戦後の佐倉市の歩みを学ぶ	満開佐倉文庫 館主 内田 儀久

⑤ 講座を終えて

佐倉学と言うと、江戸時代から幕末、明治期の佐倉の歴史、人物、文学等について取り上げることが多いが、今回はメディアに取り上げられた佐倉に着目し、戦後の佐倉の現代史を学ぶ講座とした。これまでと趣向が変わったことと、往復はがきでの申し込みとしたことからか、定員90人としたところ、申込者数46人、第1回の出席者40人、第2回の出席者33人と少し寂しさも感じられたが、出席者は熱心に講師の話に聞き入っており、講師の収集物をとても興味深そうに見ていた。

アンケートの結果、7割近くが「今回の講座に参加して満足」、2割強が「やや満足」との回答を得ており、「やや不満」「不満」と回答した人はいなかった。また、講座をとおして、郷土愛を育むこと、関心を高めるといった目的が達成されていると思うかという問いに対しては、55%が「とても達成されていると思う」41%が「少し達成されていると思う」との回答を得ている。また、自由記載でも、貴重な収

集品に感心する声や、話が楽しく次回を期待する声が複数上がっていた。

佐倉学講座「古今佐倉真佐子を歩く」

①開設趣旨 江戸時代中期、佐倉の領主であった稲葉氏の家臣渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、当時の佐倉城とその城下町の様子が描かれている。これまでは佐倉の歴史といえば幕末・明治期が注目されてきたが、「古今佐倉真佐子」に記述された場所を散策し、作者が歩いた佐倉城とその城下町を参加者も実際に歩き、体感する。佐倉・城下町400年記念事業として、1611年に始まったと記録されている佐倉城築城関係の歴史を学ぶことによって、都市としての佐倉市の起源を知り、「歴史のまち佐倉」の理解が深まる。

②募集対象、募集人数 一般成人 20人

③開催期間 平成27年3月18日(水) 1回

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	3月18日(水) 9:00~12:00	散策経路：広小路→三の門→二の門→一の門 →本丸→台所門→二の丸→椎木門→椎木曲輪 →愛宕神社跡→田町門→ゴケ曲輪→七曲がり 坂下	特定非営利活動法人 まちづくり支援 ネットワーク佐倉

⑤講座を終えて 昨年度は同時期に同じ内容の事業を実施したが、土曜日の午前中を開催日時としたこともあってか、定員を超える応募があり、数名をお断りするほどの人気となったため、今年度は水曜日午前中の開催とした。結果として、昨年度のようにお断りするほどではないが、定員を超える24人の応募があり、当日全員が出席した。平日午前の開催で、参加者の年齢構成に影響が出る事が懸念されたが、平均では昨年度が68.3歳、今年度が68.8歳と大きな影響はなかった。ただし、昨年度は40代の方が1人参加したが、今年度は60代以上の方のみとなった。内容的には、普段何気なく歩いている佐倉城址公園を、絵図を見ながら、当時の様子がまざまざと目に浮かぶような解説を聞きながら散策することで、「歴史のまち佐倉」の理解、関心が深まり、意義深い講座であったと思う。

印旛沼環境基金設立30周年記念公開講座・座談会

①開設趣旨 本講座は、かけがえのない豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくために、佐倉市の自然環境の象徴である「印旛沼」について学ぶもの。「佐倉の自然と文化について学んでみたい」という方々を対象に、佐倉市の自然と文化を学習し、郷土佐倉の創生につなげることを目的とする。

②募集対象、募集人数 一般成人 90人

③開催期間 平成26年6月28日(土)~11月29日(土)全6回

④会場 ミレニアムセンター佐倉 ホール

⑤プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	6月28日(土) 14:00~16:30	公開講座 「いんば沼-むかし、いま-」(前編)	(公財)印旛沼環境基金 本橋 敬之助

2	7月26日(土) 14:00～16:30	公開講座 「いんば沼－むかし、いま－」(後編)	(公財)印旛沼環境基金 本橋 敬之助
3	8月30日(土) 14:00～16:30	座談会 「いんば沼を撮る」	写真家 内田儀久、鈴木康雄、 吉岡一美
4	9月27日(土) 14:00～16:30	座談会 「文人・歌人が描いたかつてのいんば沼」	郷土史研究家 内田儀久、村上勲
5	11月1日(土) 14:00～16:30	座談会 「印旛沼の水利用と、これから」	県水政課 山口浩 印旛沼土地改良区 高橋修
6	11月29日(土) 14:00～16:30	座談会 「いんば沼の生きものたちのこれから」	日本野鳥の会 浅野俊雄 県水産総合研究所 平田淳一 県自然保護課 高山順子

⑥ 講座を終えて

公益財団法人印旛沼環境基金が主催し、佐倉市環境政策課と中央公民館が共催する事業。佐倉市民カレッジふるさと歴史コースの前年度卒業生が受付、資料配布、案内等のボランティアとして協力している。平成17年度から「いんば沼公開講座『温故知新』」のタイトルで継続してきたが、平成26年度は「印旛沼環境基金設立30周年記念公開講座・座談会」と題して、2回の公開講座、4回の座談会という形で実施した。

歴史、写真、文学、水利用、生物と多方面の切り口から印旛沼について知識を深めることが出来たものと思われる。回を重ねるごとに参加者数が減少してしまったので、講座の内容、順序、会場、募集方法等について、今後工夫が必要である。

佐倉市民カレッジ

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。

短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。

また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」(以下、市民カレッジという。)という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会（現在は超高齢社会）の中で、市民が健康で生きがいをもち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をとおして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、市民カレッジでは高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：100人（年齢別募集・定員を超えた場合は抽選）

※各学年の年齢構成は以下のとおり

- 60歳以上……………80人
- 60歳以上で過去5年間に入学抽選に2回落選している方…10人
- 40歳から59歳まで……………10人

なお、平成26年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募 集 定 員	応 募 数	入 学 者 数
第1学年	60歳以上 80人	127人	89人
	60歳以上で過去5年間に入学抽選に2回落選している方 10人	7人	7人
	40歳から59歳まで 10人	4人	4人
	計 100人	計 138人	計 100人

※平成26年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	50	100	47	97
	2 組	50		50	
第2学年	1 組	43	91	41	88
	2 組	48		47	
第3学年	福 祉	18	88	17	86
	歴 史	25		25	
	情 報	20		20	
	元 気	25		24	
第4学年	福 祉	18	82	17	79
	歴 史	24		24	
	情 報	18		17	
	元 気	22		21	
計		359	361		350

4. 佐倉市民カレッジ運営委員会

「市民カレッジ運営委員会設置要綱」の定めにより、市民カレッジの運営方針や学習内容の方針に関することなどについて検討していたが、設置要綱の条例化をする中で、佐倉市公民館運営審議会で取り扱うこととなり、平成26年3月31日をもって佐倉市民カレッジ運営委員会は廃止となった。

5. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」という。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済、等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。

また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域にであう中で、新たな生きがいを見つけることが学習のねらいとなっている。

「であい課程」2年間の学習日数は70日程度で、約132単位に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の、「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画、財政、環境、環境保全、福祉、健康、教育施策、「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

なお、平成24年度から参加型の講義を加えた。具体的には、千葉大学大学院准教授による「住民参加のまちづくり」では、付せんを利用して意見集約する手法を体験し、千葉地方検察庁事務官による「裁判員制度について」では模擬裁判、佐倉市八街市酒々井町消防組合による「佐倉市の震災対策」では避難訓練を行った。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、他コース、他学年の講義を聴く聴講制度、さらに地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度、約80単位に及ぶ。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

① 「あったか福祉コース」

社会福祉一般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では一歩専門的な理論・技術を習得し、現場への実践を交えながら制度への理解を深め、介護を生活に身近な面からとらえ総合的視点で学習する。

4年生では3年時の学習に加え「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び経験することは、人が生活し地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を考え学んでいくことにつながり、市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考え、「傾聴」をテーマとした学習にも取り組んでいる。

② 「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育てていく。

その内容は講義形式の授業を受けるだけでなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③ 「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

佐倉市の情報施策や、情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコン実習、「市民カレッジ情報紙」の作成。4年生ではパソコンの学習成果を活かしたイベントの企画・実施や、デジカメ撮影実習を行っている。また、地域活動における名簿作り。会計資料作成に役立つように、表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学习も盛んである。

そのほか、佐倉市の情報ネットワークの拠点である広域高速ネット296スタジオを見学し、高度情報化しつつある地域の現状についての理解を深める学習も行う。

平成24年度から卒業生のボランティアによってウイルスチェック等のパソコンメンテナンスが行われている。

④ 「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。

3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースを作成し、作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。そのほか、生活習慣病（成人病）に対する理解と予防、地域ぐるみの健康づくりなどについて学ぶ。さらに、リズム体操や太極拳、ヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動を通して、今までの主体的な学習の過程や成果を健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、農林水産省、千葉地方検察庁、千葉県警察、千葉県立中央博物館、佐倉市八街市酒々井町消防組合、広域高速ネット296、順天堂大学、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣・実習・見学の協力をいただいている。また、これらを含めた平成26年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

① 1学年 市内めぐり

6月10日、6月17日にクラス別にそれぞれ実施し、酒々井リサイクル文化センター、しずいハーブガーデン、和田ふるさと館歴史民俗資料室、公益財団法人印旛郡市文化財センターなど市内外の様々な施設を見学して、佐倉市について理解を深めた。

② 専攻課程各コースの校外学習

3 学年	5月29日	歴史	佐倉地区歴史散策
	6月5日	元気	ウォークラリー
	6月26日	情報	東京情報大学見学と講義
		歴史	志津地区史跡散策
	9月18日	元気	順天堂大学1日体験授業（3・4年合同）
	9月25日	福祉	佐倉ホワイエ見学体験
		歴史	臼井地区歴史散策
	10月1日	福祉	国際福祉機器展見学（東京ビッグサイト）
	10月9日	情報	広域高速ネット296スタジオ見学
	10月23日	歴史	成田山の歴史を学ぶ（散策）
	10月30日	歴史	本佐倉城跡周辺歴史散策
	11月20日	元気	ウォークラリーコースを作ろう
4 学年	6月4日	歴史	弥富地区歴史散策
	6月25日	歴史	佐倉城と佐倉連隊（散策）
	6月26日	福祉	ユーカリ優都苑見学
	7月12日	歴史	佐原のまちづくりから学ぶ（散策）
	9月10日	情報	情報発信の現場を見てみよう（読売新聞東京本社 /郵政博物館）
	9月18日	元気	順天堂大学1日体験授業（3・4年合同）
	9月24日	4コース合同	草笛の丘で自然観察と陶芸
	11月26日	福祉	佐倉ホワイエでの体験学習
12月10日	歴史	国立歴史民俗博物館見学・講義	

7. 平成26年度の主な行事

(1) 始業式・入学式

5月17日（土）、始業式に引き続き第23回入学式が行われ、100人の新入生が晴れの日を迎えた。市民カレッジ総長の蔵和雄市長から「佐倉市民カレッジの建学の精神である『為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他（た）に尽くす』を心掛けていただき、四年間の学習の中で、知識と人格共に備わったカレッジ生となっていただくとともに、地域活動の中心的人材となっていただくよう切に願っております。」との祝辞をいただいた。続いて、在校生を代表して歓迎の言葉があり、これを受けて

新入生100人を代表して「入学の言葉」があった。

(2) 佐倉市民カレッジスポーツフェスティバル

市民体育館を会場に10月3日(金)に、クラスや学年を超えた新たな仲間づくりと健康づくりを目標としてカレッジ生全員により盛大に実施された。

種目は、ボール送り、スプーンレース、綱引き、ダンス、風船割り、玉入れ等があり、実行委員会を中心に手作り運動会となった。

(3) 文化祭

11月12日(水)から11月15日(土)にわたり、カレッジ生による実行委員会を中心に中央公民館大ホール・カレッジ棟を主な会場として実施した。昨年度に続き、卒業生からもグループ活動発表(パネル展示・研究発表等)に参加があり、より多くの人と新たな交流と親睦を深めた。出品作品は、絵画・書道・手工芸・洋裁・和裁・盆栽と多岐の分野にわたり、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

また、実習・見学でご協力いただいている福祉施設の入居者の方々にも出品を依頼し、見学と喫茶コーナーに招待した。

最終日の舞台発表の部では、クラス・コース毎に練習の成果を発表し、たのしい有意義なひとときを過ごした。

(4) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2学年は、私たちの考えるまちづくりについて、行動のための具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習をもとに自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、平成27年1月23日(金)に茅野教育長を迎えて、1・2年合同の学習形態で、代表者による発表をした。

その発表内容は、「小学校の美化活動の支援」「金毘羅様からの佐倉再発見」「佐倉再発見・新発見」「美しい景観、清潔なまちづくり」「国史跡、井野長割遺跡」「高齢者施設のボランティア活動」「加賀清水(湧水)公園の環境美化」の7点であった。

(5) 修了式・卒業式

平成27年2月14日(土)に修了式、続いて卒業式を行った。

皆勤者8人を含む79人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

蔵総長は「市民カレッジの建学の精神には、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」とございます。これまでの経験を基礎に幅広い分野の学習と地域活動を積み上げてこられました卒業生の皆様には、佐倉市のまちづくりの主役としての役割が期待されております。」との言葉を述べられた。

卒業生を代表して福祉コース浅野秀雄さん・鈴木美佐子さんが卒業の決意を述べ、通い続けた学舎を巣立った。

8. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸サークルが、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	入学式 (入学式後写真撮影)	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウィンド・ オーケストラ
2	5.20 (火)	オリエンテー ション	学ぶことの意義 ー公民館で学ぶこと・市民カレッジの概要ー 自己紹介・役員選出等			中央公民館長 社会教育指導員	
3	5.27 (火)	自然と環境 (1)	水環境と人間生活	印旛沼環境基金 上席研究員 本橋敬之助	地域活動 (1)	園芸と緑化活動 ーボランティアの楽しさー	カレッジ 園芸サークル 八板義教
4	6.3 (火)	健康づくり (1)	ウォークラリー ー坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー			社会教育指導員 カレッジ元気 コース4年生	
5	6.10 (火)	自然と環境 (2)	1組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 午前9時出発 午後3時佐倉駅北口解散 *雨天決行 見学地：酒々井リサイクル文化センター 和田ふるさと館等 講師 松平喜美代				越沢七子 中央公民館長 社会教育指導員
		地域活動 (2)	2組 話し合い 「地域活動について」 ※避難訓練実施予定				
6	6.17 (火)	自然と環境 (2)	2組 【バス見学】京成佐倉駅北口 午前8時45分集合 午前9時出発 午後3時佐倉駅北口解散 *雨天決行 見学地：酒々井リサイクル文化センター 和田ふるさと館等 講師 松平喜美代				越沢七子 中央公民館長 社会教育指導員
		地域活動 (2)	1組 話し合い 「地域活動について」 ※避難訓練実施予定				
7	6.24 (火)	佐倉市の概要	各地区の成り立ち/ 佐倉の歴史概要	文化課	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	スポーツフェスティバル・ 文化祭に向けて等	社会教育指導員
8	7.1 (火)	芸術と文化 (1)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(1) ー房総の里海と美術ー	筑波大学 教授 齊藤泰嘉	芸術と文化 (2)	佐倉・房総の ゆかりの作家たち(2) ー新収蔵作品展鑑賞ー	佐倉市立美術館 学芸員
9	7.8 (火)	地域活動(3) 私の生きがい (1)	1組 午前：地域活動の実践者に学ぶ(現地視察) 午後：「私の生きがい」発表に向けて 2組 午前：「私の生きがい」発表に向けて 午後：地域活動実践者に学ぶ(現地視察)				
10	7.15 (火)	健康づくり (2)	食品表示の見方について	農林水産省 関東農政局 千葉地域センター	高齢者を取り巻 く犯罪と交通の 知識	振込め詐欺と交通安全	千葉県警察 佐倉警察署
11	7.22 (火)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の基本計画と 財政について	企画政策課 財政課	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会
12	9.2 (火)	私の生きがい (2)	私の生きがい ー作文発表ー				社会教育指導員
13	9.9 (火)	文学 (1)	古典に親しむ 伊勢物語を読む	東京情報大学 名誉教授 松田喜好	健康づくり (3)	スポーツフェスティバル に向けて ーカレッジ体操ー	社会教育指導員/ 元気コース卒業生
14	9.16 (火)	健康づくり (4)	楽しみながらできる 健康づくり ー理論とカレッジ体操ー	順天堂大学 名誉教授 武井正子	健康づくり (5)	リズムダンス	元気コース卒業生 土肥秀雄
15	9.30 (火)	文学 (2)	郷土の歌人 ー香取秀真の 短歌に親しむー	斎藤茂吉記念館長 秋葉四郎	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	スポーツフェスティバル・ 文化祭に向けて等	社会教育指導員
16	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表 (2)

学習時間		午前10時～11時50分				午後1時10分～3時			
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師		
17	10.7 (火)	自然と環境 (3)	房総の海 －黒潮と親潮に育まれた自然－	元県立中央博物館 望月賢二	健康づくり (6)	リズム体操	(財)日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子		
18	10.14 (火)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の環境保全施策 ／佐倉市のごみの減 量・再資源化について	生活環境課 ／廃棄物対策課	社会福祉 (2)	海外の福祉から見る 日本の福祉	立教大学 前講師 久良木香		
19	10.21 (火)	消費者教育	自分で守る消費生活	消費生活専門 相談員	自然と環境 (4)	谷津環境の現地見学	佐倉畔田谷津 ワークショップ		
20	10.28 (火)	自然と環境 (5)	里山の生態	東京情報大学 教授 原慶太郎	印旛沼の歴史	印旛沼と人々の生活 －江戸時代の干拓事業－	元成田高教諭 鏑木行廣		
21	11.4 (火)	カレッジ合同生 涯学習の楽しさ (4)	カレッジ文化祭に向けて 研究発表、学習発表、作品展示の事前準備・舞台発表の練習					社会教育指導員	
22		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(5)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12(水)～11.14(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他					社会教育指導員 公民館職員	
23	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(6)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール					社会教育指導員 公民館職員	
24	11.18 (火)	世代間交流 (1)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 客員研究員 高橋知也	世代間交流 (2)	小学生との交流に 向けて －話し合い－	社会教育指導員		
25	11.25 (火)	世代間交流 (3)	小学校との交流に向けて －活動準備－					社会教育指導員	
26	12.9 (火)	世代間交流 (4)	小学生との交流 －市内小学校で体験－	社会教育指導員	文学 (3)	中国のことわざ	東金商業高校教諭 山本郁夫		
27	12.12 (金)		*		1・2年合同 公開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口 章		
28	1.9 (金)	1・2年合同 公開講演会	隠居と定年	国立歴史民俗博物館 教授 関沢まゆみ	1・2年合同 公開講演会	漢方医学	順天堂大学 名誉教授 酒井シヅ		
29	1.13 (火)	まちづくり	まちづくりに学ぶ					市民カレッジ 3年生	
30	1.23 (金)		*		1・2年合同 まちづくり	私たちのまちづくり実 践報告を聞く	佐倉市長 蕨 和雄		
31	1.27 (火)	自然と環境 (6)	水の都・佐倉 －佐倉の豊かな湧水－	元千葉敬愛短期 大学学長 堀田和弘	生活と環境	動物に見る環境と生活	国立歴史民俗博物館 名誉教授 西本豊弘		
32	2.3 (火)	地域活動 (4)	佐原まちぐるみ博物館 に学ぶ	佐原おかみさん会	自然と環境 (7)	直下型地震と 千葉県の地質環境 －東日本大震災について－	茨城大学名誉教授 楡井 久		
33	2.10 (火)	社会福祉 (3)	高齢社会をどう生きるか －少子高齢社会の 日本の課題－	聖徳大学准教授 川口一美	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員		
34	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*			

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(1)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニングコンサート	佐倉ジャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.23 (金)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	まちづくり (1)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
3	5.30 (金)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の震災対策と 避難訓練	防災防犯課、 佐倉市八街市 酒々井町消防組合	まちづくり (2)	私たちのまちづくり	印旛沼ネットワー カーの会 社会教育指導員
4	6.6 (金)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	地域活動 (1)	住民参加のまちづくり	千葉大学大学院 准教授 森永良丙
5	6.13 (金)	共生社会 (1)	人権について	千葉県人権センター 常務理事 鎌田行平	地域活動 (2)	社会生活と ボランティア活動	千葉県生涯大学校 講師 関内直枝
6	6.20 (金)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	地域活動 (3)	ボランティア活動 実践者の発表	活動実践者(子都手 留会・文化財ボラン ティアガイド佐倉)
7	6.27 (金)	市政を学ぶ (2)	佐倉市の児童・青少年 の取り組みについて	児童青少年課	佐倉の歴史 (1)	印旛沼周辺の民俗	成田山霊光館 小倉 博
8	7.4 (金)	市政を学ぶ (3)	ファミリーマネジメント の取り組みについて	資産管理経営室	佐倉の歴史 (2)	旧石器時代・縄文時代 -印旛沼周辺の人々-	元市立市川 考古博物館 館長 堀越正行
9	7.11 (金)	市政を学ぶ (4)	佐倉市の公園緑地	公園緑地課	病理と予防 (1)	シニア世代の心理	放送大学准教授 星 薫
10	7.18 (金)	まちづくり (5)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	市政を学ぶ (5)	佐倉市の健康管理の 取り組みについて	健康増進課
11	7.25 (金)	健康づくり (1)	シニア世代の運動療法	順天堂大学 スポーツ健康科学部 助手 門屋悠香	佐倉の歴史 (3)	佐倉藩主 堀田正睦	元成田高校教諭 鏑木行廣
12	9.5 (金)	市政を学ぶ (6)	佐倉市の観光と 佐倉・城下町400年 記念事業	産業振興課	ホームルーム	スポーツフェスティバル に向けて	社会教育指導員
13	9.12 (金)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	市政を学ぶ (7)	佐倉市の文化・ 文化財行政	文化課
14	9.19 (金)	地域活動 (4)	市民協働について	法政大学 教授 名和田是彦	まちづくり (6)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
15	9.26 (金)	自然と環境 (1)	河川湖沼の水辺環境と 水質浄化の考え方	千葉工業大学 名誉教授 瀧和夫	病理と予防 (2)	メンタルヘルスについて	健康増進課
16	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員
17	10.10 (金)	福祉	地域福祉とは	元佐倉市福祉部長 川根 紀夫	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
18	10.17 (金)	文学 (1)	房総と文学 佐倉の文学風土	元江戸川大学教授 文芸評論家 鳥海宗一郎	自然と環境 (2)	身近な自然環境に関する 最近の話題	千葉県立中央博物館 倉西良一

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表(2)

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
19	10.24 (金)	自然と環境 (3)	印旛沼周辺の野鳥	日本野鳥の会 浅野俊雄	まちづくり (7)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
20	10.31 (金)	家庭と法律 (2)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学院教授 高須 順一	佐倉の歴史 (4)	佐倉城とその城主	印旛郡市 文化財センター 調査課 日暮冬樹
21	11.7 (金)	文学 (2)	房総と万葉集	万葉研究家 岡本 好	健康づくり (2)	ヨガでリフレッシュ 〔実技〕	健康運動指導士 荒谷美枝子
22		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12(水)～11.14(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
23	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
24	11.21 (金)	佐倉の教育	佐倉市の学校教育と 佐倉学	教育センター 社会教育課	まちづくり (8)	私たちのまちづくり	社会教育指導員
25	11.28 (金)	情報社会 (1)	情報とリスク	東京情報大学 教授 成瀬敏郎	佐倉の歴史 (5)	房総の明治維新	元千葉県文書館 川本愉彦
26	12.5 (金)	まちづくり (9)	私たちのまちづくり	社会教育指導員	佐倉の歴史 (6)	紀行文・物語に見る 地域文化	元成田高校教諭 鏑木行廣
27	12.12 (金)	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	社会教育指導員	1・2年合同公 開講演会	今年の国際情勢	敬愛大学 教授 水口章
28	1.9 (金)	1・2年合同 公開講演会	隠居と定年	国立歴史民俗博物館 教授 関沢まゆみ	1・2年合同 公開講演会	漢方医学	順天堂大学 名誉教授 酒井シヅ
29	1.16 (金)	市政を学ぶ (8)	高齢者福祉の取り組みと 認知症	高齢者福祉課	まちづくり (10)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて①	社会教育指導員
30	1.23 (金)	まちづくり (11)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて②	社会教育指導員	まちづくり (12) (1・2年合同)	私たちのまちづくり 実践報告	佐倉市長 藤 和雄
31	1.30 (金)	佐倉の歴史 (7)	弥生・古墳・奈良・平安時代 -印旛沼周辺の人々-	NPO博物館活動支援センター 理事長 熊野正也	共生社会 (2)	メディアにおける 女男平等参画について	メディアジャーナリスト 渡辺真由子
32	2.6 (金)	佐倉の歴史 (8)	佐倉の鉄道発達史	鉄道史研究家 白土貞夫	情報社会 (2)	コンピュータを賢くする ～知能情報処理について～	東京情報大学 准教授 マッキン・ ケネスジェームス
33	2.13 (金)	病理と予防 (3)	シニア世代の かかりやすい病気	佐倉厚生園病院 院長 遠山正博	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員
34	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.22 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	リエンション	コース概要	社会教育指導員 福祉コース卒業生
3	6.5 (木)	障害福祉 (1)	視覚障害を語る/ ホームルーム	朗読ボランティア こおろぎの会/ 社会教育指導員	高齢者と 住まい	高齢者にやさしい住まい	建築士 小杉敬太郎
4	6.12 (木)	福祉サービス	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会 理事長 竹内 淳	障害福祉 (2)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	社会福祉法人愛光 常務理事 高梨憲司
5	6.19 (木)	訪問介護	訪問介護サービスの 社会的役割、職業倫理	佐倉白翠園 ケアサービスセンター所長 瀧原久美子	施設見学 (1)	千葉県立千葉盲学校 一体験学習一	千葉県立 千葉盲学校
6	7.10 (木)	高齢期の 食生活	高齢期の栄養と食生活のあり方（調理実習）				料理研究家 六崎美知代
7	7.17 (木)	高齢者の身体的 特徴と疾患	高齢者に多い疾患の基 礎知識と予防・対処方 法	佐倉白翠園 看護師長 杉田真佐子	子育て支援 (1)	子育て支援の 現状と課題	千葉敬愛短期大学 教授 吉村真理子
8	9.4 (木)	歯科・口腔	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志	ホームルーム	スポーツフェスティバル 文化祭に向けて	社会教育指導員
9	9.25 (木)	施設見学 (2)	佐倉ホワイエの 見学・体験	佐倉ホワイエ	介護演習 (1)	介護技術の基礎 (1)	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子
10	10.1 (水)	施設見学 (3)	国際福祉機器展見学・東京ビッグサイト				社会教育指導員 公民館職員
11	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.16 (木)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	話し合い学習	国際福祉機器展を 見学して	社会教育指導員

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.30 (木)	健康づくり	コーディネーション 運動	NPO法人 Leven 小瀧 綾	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (2)	佐倉白翠園 介護次長 三浦恵子
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12(水)～11.14(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.20 (木)	傾聴	聞く技術	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	障害福祉 (3)	聴覚障害について	障害福祉課
17	12.4 (木)	施設見学 (4)	特別養護老人ホーム佐倉白翠園の見学 集合 午前9時50分			特別養護老人 ホーム佐倉白翠園	
18	1.15 (木)	子育て支援 (2)	地域で子育て、 みんな子育て (施設見学・交流、 講座)	佐倉保育園	高齢者福祉 (1)	地域包括支援センター について	臼井・千代田地域 包括支援センター
19	1.29 (木)	施設体験	佐倉ホワイエ体験学習	佐倉ホワイエ	高齢者福祉 (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	高齢者福祉課
20	2.5 (木)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 事務局長 鈴木 純子
21	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.22 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員
3	5.29 (木)	歴史散策 (1)	佐倉地区の史跡散策 集合 9時45分 市民体育館 散策 午後3時解散予定				NPO法人まちづくり 支援ネットワーク 佐倉
4	6.12 (木)	佐倉市の歴史	井野長割遺跡と 佐倉の縄文時代	文化課	文化財の保護	文化財の修復と 保存処理	(有)武蔵野文化財修復 研究所 石原道知
5	6.26 (木)	歴史散策 (2)	志津の史跡散策 集合 9時45分 ユーカリが丘線中学校駅 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人 佐倉一里塚 (カレッジ卒業生)
6	7.17 (木)	佐倉市の歴史	本佐倉城跡と臼井城跡 の発掘成果と 東国の戦国時代	(元)大学共同利用 機関法人 人間文化研究機構 理事 小野正敏	佐倉市の歴史	上杉謙信と臼井城合戦 —中世後期の佐倉—	市文化財審議委員 県立佐倉東高校教諭 遠山成一
7	9.11 (木)	佐倉市の歴史	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 山瀬一男	佐倉市の歴史	堀田正倫と幕末・ 明治の佐倉の人々	文化課
8	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
9	10.9 (木)	佐倉市の歴史	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島正士	佐倉市の歴史	最近の埋蔵文化財 調査について	公益財団法人印旛郡 市文化財センター 日暮 冬樹
10	10.16 (木)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	郷土の先覚者	津田 仙 —近代農業のさきがけ—	宮城学院学院長 嶋田順好
11	10.23 (木)	町並み散策	成田山の歴史を学ぶ 集合 午前10時 JR成田駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				成田山霊光館 小倉 博
12	10.30 (木)	歴史散策 (4)	大佐倉の史跡散策 集合 9時30分 京成大佐倉駅改札口外 散策 午後3時現地解散予定				NPO法人まちづくり 支援ネットワーク 佐倉

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.6 (木)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	郷土の先覚者	佐藤泰然と佐倉順天堂	文化課
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（2）	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12（水）～11.14（金） 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他			社会教育指導員 公民館職員	
15	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ（3）	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール			社会教育指導員 公民館職員	
16	11.27 (木)	佐倉市の歴史	佐倉藩士	総務課 市史編さん担当 土佐博文	佐倉市の歴史	佐倉牧	京都造形芸術大学 講師 高見澤美紀
17	12.4 (木)	歴史散策	白井の史跡散策 集合 9時20分 京成白井駅北口下 散策 午後3時現地解散予定			佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)	
18	12.11 (木)	郷土の先覚者	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館	佐倉市の歴史	佐倉新町の 宿帳にみる人物	酒々井町 文化財審議会委員 高橋健一
19	1.15 (木)	佐倉市の歴史	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口雄彦	ホームルーム	研究テーマについて	社会教育指導員
20	2.5 (木)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会（2）	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 事務局長 鈴木 準二
21	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.22 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員 公民館職員
3	5.29 (木)	地域情報誌 づくり	情報紙の記事と レイアウト	千葉日報 編集局次長・論説委員 渡辺 鉦	課題学習 (1)	カレッジ情報紙を作ろう ① 編集会議	社会教育指導員
4	6.12 (木)	情報伝達の技術 (1)	パソコンに触れてみよう ①	パソコン インストラクター	情報伝達の技術 (2)	パソコンに触れてみよう ②	パソコン インストラクター
5	6.26 (木)	情報化時代の 学習 (1) 施設見学	東京情報大学施設見学と講義 午前9時45分中央公民館集合 貸切バスにて東京情報大学へ移動 午後3時中央公民館帰着予定				東京情報大学
6	7.10 (木)	情報伝達の技術 (3)	ワードを使おう①	カレッジ卒業生 19期情報コース	情報伝達の技術 (4)	ワードを使おう②	カレッジ卒業生 19期情報コース
7	7.24 (木)	情報伝達の技術 (5)	ワードを使おう③	カレッジ卒業生 19期情報コース	情報伝達の技術 (6)	ワードを使おう④	カレッジ卒業生 19期情報コース
8	8.26 (火)	*	*	*	特別講座 3・4年 情報コース合同	ヴィジュアルコミュニ ケーションとデザイン	女子美術大学教授 佐藤真澄
9	9.11 (木)	情報化時代の 学習 (2)	インターネット社会とは ① ー過去から未来へー	パソコン インストラクター 小坂大輔	情報化時代の 学習 (3)	インターネット社会とは ② ーインターネット活用術ー	パソコン インストラクター 小坂大輔
10	9.25 (木)	課題学習 (2)	カレッジ情報紙を作ろう ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (4)	情報化社会と著作権	(一社)コンピュータソフトウエア 著作権協会 専務理事 久保田 裕
11	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.9 (木)	情報化時代の 学習 (5) 施設見学	広域高速ネット296スタジオ見学 講話「地域の情報発信ーCATVの可能性ー」 スタジオ見学ー情報が発信されるまでー 午前9時45分現地集合 午後3時現地解散予定				広域高速ネット 296

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.16 (木)	4コース合同 講演会(1)	心の健康	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	課題学習 (3)	カレッジ情報紙を作ろう③	社会教育指導員
14	10.30 (木)	課題学習 (4)	カレッジ情報紙を作ろう ④	社会教育指導員	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12(水)～11.14(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.27 (木)	情報伝達の技術 (7)	タブレットを 体験してみよう	NTTドコモ インストラクター	情報伝達の技術 (8)	デジカメ写真の取り込 み・画像処理	パソコン インストラクター 小坂大輔
18	12.17 (水)	情報化時代の 学習(6)	情報社会を考える	東京情報大学 教授 茨木正治	課題学習 (5)	カレッジ情報紙を作ろう ⑤	社会教育指導員
19	1.15 (木)	情報伝達の技術 (9)	パワーポイント①	カレッジ卒業生 19期情報コース	情報伝達の技術 (10)	パワーポイント②	カレッジ卒業生 19期情報コース
20	1.22 (木)	課題学習 (6)	カレッジ情報紙を作ろう ⑥	社会教育指導員	課題学習 (7)	カレッジ情報紙を作ろう ⑦(印刷)	社会教育指導員
21	2.5 (木)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 事務局長 鈴木 準二
22	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.22 (木)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	おエンタージョン	コース概要	社会教育指導員
3	5.29 (木)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう (1)	社会教育指導員	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ 萩谷正紀
4	6.5 (木)	健康づくり (1)	ウォークラリーで健康増進 ～初夏の風を受け、森林浴～				社会教育指導員 公民館職員
5	6.19 (木)	生活と健康 (2)	救急法を学ぶ	佐倉消防署	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう (2)	社会教育指導員
6	7.3 (木)	地域活動	総合型地域 スポーツクラブ	NPOニッポン ランナーズ 齋藤太郎	健康づくり (2)	みんなで楽しむ レクリエーション	元社会教育指導員 川口はぎ江
7	7.17 (木)	スポーツと健康	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 水野基樹	健康づくり (3)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 森 繁昌
8	9.4 (木)	健康づくり (4)	ニュースポーツに チャレンジ	元気コース卒業生	病理と予防 (1)	生活習慣病と健康	日本ウェルネス スポーツ大学 教授 鈴木勝彦
9	9.18 (木)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	3・4年元気コース合同 順天堂大学 1日体験学習				順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄
10	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.16 (木)	4コース合同 講演会 (1)	心の健康	東京メカヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	健康づくり (6)	健康体操 からだを動かして リフレッシュしよう	NPOニッポン ランナーズ 齋藤太郎
12	10.23 (木)	課題学習 (3)	ウォークラリーコースを作ろう (3) ～自分たちでルート (経路) を歩き、ウォークラリーコースを検証する～				社会教育指導員 公民館職員

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	11.6 (木)	ホームルーム	文化祭に向けて	社会教育指導員	病理と予防 (2)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子
14		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12(水)～11.14(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
15	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
16	11.20 (木)	課題学習 (4)	ウォークラリーコースを作ろう(4) —自分たちでルート(経路)を歩き、ウォークラリーコースを検証する—				社会教育指導員 公民館職員
17	12.11 (木)	課題学習 (5)	ウォークラリー コースを作ろう(5)	社会教育指導員	健康づくり (7)	ヨーガ ゆったりと リフレッシュしよう	インストラクター 岡本美鈴
18	12.17 (水)	健康づくり (8) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 ～体験学習のまとめ～	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (9) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.15 (木)	生活と健康 (3)	私が行っている 健康づくり [個人発表]	社会教育指導員	健康づくり (10)	リズム体操 音楽に合わせて 動いてみよう	財日本体操協会 一般体操指導員 麻野和子
20	2.5 (木)	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員	4コース合同 講演会(2)	伊能忠敬の人間像 —人生を二度生きる—	伊能忠敬研究会 事務局長 鈴川 準二
21	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	修了式 卒業式	総長 館長		*	

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.21 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	6.18 (水)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
4	6.26 (木)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	施設見学 (1)	ユウカリ優都苑 (老健施設・グループ ホーム・学童保育)	同所事務局長
5	7.2 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
6	7.9 (水)	カウンセリングの 基礎	こころに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルズ チーフカウンセラー 淵上規后子	傾聴演習 (1)	ロールプレイ(1)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
7	9.10 (水)	傾聴への あゆみ	聞くから聴くへ	東京メンタルズ チーフカウンセラー 淵上規后子	傾聴演習 (2)	ロールプレイ(2)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
8	9.17 (水)	介護予防	介護予防体操	高齢者福祉課 岩本絵己	傾聴演習 (3)	ロールプレイ(3)	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
9	9.24 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘職員
10	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
11	10.8 (水)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員
12	10.15 (水)	学び合い学習 (1)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (水)	学び合い学習 (3)	情報コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	歴史コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.5 (水)	学び合い学習 (5)	元気コースを招待して 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12(水)～11.14(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	11.26 (水)	傾聴演習 (4)	佐倉ホワイエでの 体験学習	佐倉ホワイエ/ セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ	傾聴演習 (5)	傾聴のまとめ	セルフ《自立》 カウンセリング研究所 濱田はるみ
18	12.3 (水)	障害福祉	知的障害・精神障害者 福祉について	木の宮学園	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
19	1.14 (水)	学習のまとめ	福祉活動の実践に 向けて	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (水)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.21 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.28 (水)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (1)	佐倉道と成田道	日本交通史学会 山本光正 (歴博元教授)
4	6.4 (水)	歴史散策 (1)	弥富地区の史跡散策 集合 9時20分 川村記念美術館バス停前 散策 午後3時現地解散予定			酒々井町文化財審議 会委員 高橋健一	
5	6.25 (水)	歴史散策 (2)	「佐倉城跡と佐倉連隊」(散策) 集合 9時40分 市民体育館 散策 午後3時現地解散予定			佐倉ふるさと談話会 細道恭堂 (カレッジ卒業生)	
6	7.2 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員
7	7.12 (土)	町並み散策	「佐原のまちづくりから学ぶ」(散策) 集合 午前9時00分 JR成田駅改札口の中 成田駅→佐原駅下車 散策 午後3時 現地解散予定			NPO法人 小野川 と佐原の町並みを考 える会 副理事長 吉田昌司	
8	7.23 (水)	地域活動	歴史ガイドについて	NPO法人 佐倉一里塚 (カレッジ卒業生)	佐倉市の歴史 (2)	近代の佐倉	文化課
9	9.10 (水)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
10	9.24 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散			草ぶえの丘職員	
11	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館			社会教育指導員 公民館職員	
12	10.15 (水)	学び合い学習 (1)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (水)	学び合い学習 (3)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.5 (水)	学び合い学習 (5)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12(水)～11.14(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 中央公民館職員
17	11.26 (水)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	佐倉市の歴史 (3)	佐倉連隊と 戦時下の佐倉	神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究科 特任教授 安田常雄
18	12.10 (水)	郷土研究 (1)	これからの博物館で 必要なこと (集合 9時40分 国立歴史民俗博物館)	国立歴史民俗博物館 館長 久留島 浩	郷土研究 (2)	歴博を楽しむ 〔国立歴史民俗 博物館を見学〕 (15時現地解散予定)	国立歴史民俗博物館 館長 久留島 浩
19	1.14 (水)	学習のまとめ	研究レポートの発表	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (水)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.21 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
3	5.28 (水)	情報伝達の技術 (1)	ワード	カレッジ卒業生 19期情報コース	情報化時代の 学習 (1)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 平川 裕
4	6.11 (水)	情報伝達の技術 (2)	エクセルにチャレンジ ①	カレッジ卒業生 19期情報コース	情報伝達の技術 (3)	エクセルにチャレンジ ②	カレッジ卒業生 19期情報コース
5	6.25 (水)	情報伝達の技術 (4)	エクセルにチャレンジ ③	カレッジ卒業生 19期情報コース	情報伝達の技術 (5)	エクセルにチャレンジ ④	カレッジ卒業生 19期情報コース
6	7.2 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作 家 高比良直美	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
7	7.23 (水)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (2)	コンピューターの 過去・現在・未来	東京情報大学 教授 寺嶋廣克
8	8.26 (火)		*		特別講座 3・4年 情報コース合同	ヴィジュアルコミュニ ケーションとデザイン	女子美術大学教授 佐藤真澄
9	9.10 (水)	情報化時代の 学習 (3) 施設見学	【情報発信の現場と情報通信の歴史を見に行こう】 会場 読売新聞東京本社／郵政博物館 地下鉄「大手町駅」C3出口 午前10時20分 現地集合 午後2時 現地解散				社会教育指導員 公民館職員
10	9.24 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.8 (水)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	課題学習 (4)	学び合い学習に向けて ④	社会教育指導員

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.15 (水)	学び合い学習 (1)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
14	10.29 (水)	学び合い学習 (3)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15	11.5 (水)	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
16		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12 (水)～11.14 (金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
17	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
18	11.26 (水)	情報化時代の 学習 (4)	報道の現場から	元日本テレビ 放送網報道局 町田博祐	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
19	12.10 (水)	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する②	社会教育指導員	情報化時代の 学習 (5)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授 樋口大輔
20	1.21 (水)	学習のまとめ	情報コース卒業生 の活動紹介	前年度卒業生 社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
21	1.28 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす —各コース代表発表—	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
22	2.4 (水)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
23	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.17 (土)	カレッジ合同 式典	始業式 入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	オープニング コンサート	佐倉シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.21 (水)	ホームルーム	役員選出 写真撮影	社会教育指導員	課題学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員 元気コース卒業生
3	6.3 (火)	地域活動 (1)	実践活動 ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩くー (1年生のウォークラリーの際のスタッフとして活動)				社会教育指導員
4	6.18 (水)	課題学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する① (企画の話し合い)	社会教育指導員
5	7.2 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	作家 高比良直美	健康づくり (2)	高齢者のための 3B体操	公益社団法人 日本3B体操協会 鈴木静江
6	7.16 (水)	健康づくり (1)	コーディネーション運動 自ら楽しむ健康	NPO法人 Leven 小瀧 綾	地域活動 (2)	ターゲットバード ゴルフ	ターゲットバード ゴルフ協会
7	9.3 (水)	課題学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員	自然観察の すすめ	都市近郊の 野鳥の生態	日本野鳥の会 浅野俊雄
8	9.10 (水)	健康づくり (3)	健康を保つ食事作り (調理実習)	料理研究家 六崎美知代	自主企画講座 (2)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する② (企画の話し合い)	社会教育指導員
9	9.18 (木)	健康づくり (4) 3・4年 元気コース合同	3・4年元気コース合同 順天堂大学 1日体験学習				順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄
10	9.24 (水)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と陶芸を楽しむー卒業記念作品の制作ー 集合 午前9時50分 草ぶえの丘 内容 午前 草ぶえの丘で自然観察 午後 陶芸 午後3時現地解散				草ぶえの丘 職員
11	10.3 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	【市民カレッジ スポーツフェスティバル】 会場 佐倉市民体育館				社会教育指導員 公民館職員
12	10.15 (水)	学び合い学習 (1)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (2)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

平成26年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前10時～11時50分			午後1時10分～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.29 (水)	学び合い学習 (3)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (4)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	11.5 (水)	学び合い学習 (5)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
15		カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(2)	【市民カレッジ文化祭・研究発表、学習発表、作品展示など】 11.12(水)～11.14(金) 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール、学習室3他				社会教育指導員 公民館職員
16	11.15 (土)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ(3)	【市民カレッジ文化祭・舞台発表】 会場 佐倉市立中央公民館 大ホール				社会教育指導員 公民館職員
17	12.3 (水)	自主企画講座 (3)	学生がテーマを決めて 企画し補習学習する③	社会教育指導員	自主学習	学生がテーマを決めて 自主的に学習する	社会教育指導員
18	12.17 (水)	健康づくり (5) 3・4年 元気コース合同	スポーツ健康科学 ～体験学習のまとめ～	順天堂大学 スポーツ健康科学部 准教授 柳谷登志雄	健康づくり (6) 3・4年 元気コース合同	ニュースポーツ大会	社会教育指導員
19	1.21 (水)	学習のまとめ	卒業後の健康づくり まちづくり [個人発表]	社会教育指導員	ホームルーム	卒業に向けて	社会教育指導員
20	1.28 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員	4コース合同 総長講話	学ぶことの意義	総長
21	2.4 (水)	4コース合同 講演会	考古学からみた 日本人としての生き方	明治大学名誉教授 大塚初重	4コース合同 式典予行	卒業式練習	社会教育指導員
22	2.14 (土)	カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長		*	

4. コミュニティ事業

さくら学び塾（学びあい講座）

さあ—「エコな生活」をしてみませんか～みんなで家庭や地球にやさしい工夫をしてみよう～

- ① 開設趣旨 本講座は、市民公募による講師の企画に基づき、コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）として開設する。
各家庭で利用できる自然エネルギーの機能や効果を講師が解説し、「家計にやさしい家」や「地球温暖化防止」及び受講生の自宅の「環境家計簿」の光熱水量・費などの記載により環境知識の向上を図る。
- ② 募集対象、募集人員 市内在住在勤一般成人の方 20人
- ③ 開催期間 平成26年10月19日(日)・11月2日(日)・9日(日)・16日(日)・30日(日)
(全5回)
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月19日(日) 10:00～12:00	マイエコハウスの概要	佐藤 征雄
2	11月2日(日) 10:00～12:00	太陽光発電の仕組みや機能など	
3	11月9日(日) 10:00～12:00	太陽熱温水器の仕組みや機能など	
4	11月16日(日) 10:00～12:00	「地下水施設」「雨水貯留施設」「庭のビオトープ」の仕組みや機能など説明	
5	11月30日(日) 10:00～12:00	光熱水料削減の方法や仕組みなどの工夫について 新しい家庭用蓄電池の活躍状況など	

⑤ 事業を終えて

毎回の講義では熱心な質問が寄せられた。また、コミュニティカレッジ生には進んで協力をしていただいた。市民講師とのコミュニケーションも頻繁かつ好意的に行われた。

アンケートでは、講座の内容について5割が「大変良い」4割が「良い」と答えており、自由記載欄には「楽しく受講できました。家を建て替える時にはこの知識をいかしたいです」などの声があり、参加者にとって満足度の高い講座であったことが伺えた。

5. 団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

① 開設趣旨

佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。会の運営は、役員が中心となっており、総会・役員会・各事業などを実施している。中央公民館では、事務局としての役割、子ども会安全会等の申込みの受付、佐倉市子ども会育成連盟との連絡、備品の貸与等を行って

いる。しかし、近年少子化に伴い佐倉地区子連に加入する子ども会が減少傾向にある。来年度は2団体になり、協議会としての維持が難しくなっているが、来年度も活動を継続していく予定である。

② 募集対象、募集人員

- ・ 単位子ども会 3 団体
- ・ 会員数 226 人(前年度比較 77 人減少)
 - 内 訳 幼児 11 人(前年度比較 13 人減少)
 - 小学生 175 人(前年度比較 38 人減少)
 - 育成者 40 人(前年度比較 6 人減少)

③ 開設期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

④ プログラム

回	月日(曜日)	事業	内容	会場
1	4月21日(月)	平成26年度総会	平成25年度事業報告 平成25年度決算報告 平成26年度事業計画 平成26年度予算案	中央公民館 学習室1
2	5月8日(木)	佐倉市子ども会育成 連盟 定期総会	平成26年度総会	社会福祉センター3階 中会議室
3	6月10日(火)	市子ども会育成者講 習会	育成者講習会	青少年センター
4	6月16日(月)	第1回役員会	クリスマスパーティーについて	中央公民館 ワークルーム
5	9月19日(金)	佐倉市子ども会育成 連盟役員会第1回目	事業報告 中央交流フェスティバルにつ いて	社会福祉センター3階 中会議室
6	9月2日(火)	第2回役員会	中央交流フェスティバルにつ いて クリスマスパーティーについて	中央公民館 ワークルーム
7	10月9日(木)	佐倉市子ども会育成 者講習会	育成者クリスマス講習会	根郷公民館
8	12月3日(木)	第3回役員会	クリスマスパーティについて	中央公民館 ワークルーム
9	12月23日 (火)	佐倉地区子連クリ スマスパーティー	吹奏楽団、大道芸によるクリ スマスパーティー	中央公民館 大ホール
10	3月18日(水)	第4回役員会	平成26年度活動報告及び 平成27年度事業計画	中央公民館 学習室1
11	3月27日(金)	佐倉市子ども会育成 連盟 第2回役員会	平成26年度活動報告及び 平成27年度に向けて	社会福祉センター3階 中会 議室

佐倉学体験講座 ～佐倉の民話及び佐倉こどもかるた普及事業のボランティア団体派遣事業～

①開設趣旨 佐倉学関連事業の一つとして、市内小学校、教育センター、中央公民館が連携して、子どもたちに「佐倉学」を総合的に学べる場を提供するとともに、佐倉学の普及を図るため、佐倉市民カレッジ卒業生で結成された、民話を語るボランティア団体「さくらっ古」と「佐倉こどもかるた子都手留会（しってるかい）」を市内小学校の児童を対象に派遣し、佐倉に伝わる民話の語りべや佐倉こどもかるたを通して、郷土愛を育むことを目的としている。

②対象・人数 市内小学生 1年生～6年生（「佐倉こどもかるた子都手留会」については一般も対象）

③期間・回数 平成26年4月1日～平成27年3月31日
 ・さくらっ古：全12回 1,437人
 ・子都手留会：全13回 772人

④学習プログラム

【さくらっ古】

回	月日(曜日)	民話の題名	学校名	対象・人数
1	6月26日(火) 10:30～11:15	① こぶとりじいさん ② 三つぎきにされた竜神さま ③ こじまのきつね ほか	王子台小学校	1年生～2年生 133人
2	7月4日(金) 11:20～12:05	① たべられたやまんば ② てんぐにさそわれ京見物 ③ はっちむぎつね ほか	根郷小学校	2年生 83人
3	7月8日(火) 9:35～10:10	① ぴよんとしょ ② 三つぎきにされた竜神さま ③ はっちむぎつね ほか	白銀小学校	1年生～2年生 72人
4	9月4日(木) 9:15～11:15	① こぶとりじいさん ② ぴよんとしょ ③ たべられたやまんば ほか	小竹小学校	1年生～2年生 80人
5	9月11日(木) 9:10～11:45	① こぶとりじいさん ② たべられたやまんば ③ 親はうま酒、子は清水 ほか	南志津小学校	1年生～6年生 360人
6	9月17日(水) 9:25～10:10	① 反物地藏 ② 八幡様の白馬 ③ 姥が池物語 ほか	井野小学校	3年生 127人
7	10月21日(火) 9:30～10:10	① ぴよんとしょ ② てんぐとかっぱとかみなり どん ③ 一休さん ほか	千代田小学校	1年生 42人

8	10月28日(火) 9:35～11:25	① カムロちゃん ② 阿辰の祠 ③ 反物地藏 ほか	臼井小学校	1年生～2年生 120人
9	12月15日(月) 8:50～9:35	① カムロちゃん ② てんぐとかっぱとかみなり どん ③ たべられたやまんば ほか	西志津小学 校	2年生 140人
10	1月13日(火) 10:35～11:20	① てんぐにさそわれ京見物 ② はっちむぎつね ③ 反物地藏 ほか	山王小学校	2年生 27人
11	1月15日(木) 10:35～11:20	① 八幡様の白馬 ② たんたん山 ③ 鳥見塚 ほか	間野台小学 校	3年生 90人
12	1月20日(火) 8:35～12:15	① てんぐとかっぱとかみなり どん ② 一休さん ③ ぴよんとこしょ ほか	染井野小学 校	1年生～4年生 163人

【子都手留会】

回	月日(曜日)	団体名	対象・人数
1	6月13日(金) 9:25～10:15	染井野小学校	3年生 49人
2	6月17日(火) 10:25～11:20	千代田小学校	3年生 50人
3	10月1日(水) 9:25～11:20	井野小学校	3年生 125人
4	10月30日(木) 11:20～12:05	佐倉東小学校	3年生 40人
5	11月8日(土) 10:30～12:00	白銀小学校	1～6年生 22人
6	12月3日(水) 9:15～10:05	佐倉東小学校	5年生 53人、保護者 37人
7	12月9日(火) 9:10～10:05	王子台小学校	3年生 57人
8	1月13日(火) 9:20～11:15	寺崎小学校	4年生 82人

9	1月15日(木) 9:20~12:05	根郷小学校	3年生 81人
10	1月27日(火) 9:15~10:00	小竹小学校	3年生 37人
11	2月19日(木) 10:35~12:15	青菅小学校	3年生 50人
12	3月4日(水) 10:25~11:10	白銀小学校	3年生 27人
13	3月19日(木) 9:20~11:00	間野台小学校	3年生 89人

⑤事業を終えて

この事業は、佐倉市民カレッジ「まちづくり」の授業から誕生している2団体の派遣事業である。『さくらっ古』は平成17年6月から活動を行っており、今年度からは曜日関係なく派遣依頼を受け付けることになった。毎年多くの小学校からの派遣依頼をいただいているが、他校からの紹介で今回初めて派遣依頼をされた学校もあり、今までの活動が着実な成果を見せている。

『子都手留会』は、平成20年11月より活動を開始している。今年度の小学校への派遣活動は11校（13回）であった。また、市民活動フェスタや和田ふるさとまつり等にも積極的に参加をしており、これらの地域活動も含めると、今年度は24施設・1,150人が「佐倉こどもかるた」を体験している。年を追うごとに派遣回数が増えており、これからもさらに活動が期待されている。

中央公民館利用グループ懇談会

- ①開設趣旨 中央公民館を利用しているグループに対し、公民館利用方法、公民館としての立場からグループ活動に期待する事を説明し、利用者との共通理解と連携を図る。
- ②対象 中央公民館を利用しているグループ 270団体
- ③開催期日 平成26年4月24日(木) 10:00~11:30
- ④内容 1) 公民館使用方法についての説明、注意事項
2) 子どもの居場所作り(夏休み主催事業)についての協力依頼
3) 質疑応答

調理室利用者懇談会

- ①開設趣旨 調理室を定期利用しているグループに対し、お互いの交流の機会を作ると共に、調理室の効率的な活用と適正な運営を図る。
- ②対象 調理室を定期利用しているグループ 14団体
- ③開催期日 ①平成26年 6月30日(月) 午前10:00~11:30
②平成26年12月24日(月) 午前10:00~11:30
- ④内容 1) 調理室の清掃 2) 公民館備品の整理・点検
3) グループ備品の整理 4) グループ間の懇談 5) 公民館への要望

6. 広報・展示事業

広報事業

中央公民館だより

- ①ねらい 中央公民館主催事業や中央公民館の使用申込みについてなどを紹介する。
- ②発行回数 年1回
- ③発行部数 500部
- ④配布方法 各公民館、図書館、コミュニティセンター
- ⑤内 容 佐倉市民カレッジ 平成27年度受講生募集
であい課程・専攻課程の概要、文化祭、スポーツフェスティバル
まちづくり実践報告会、サークル活動 他
公民館利用申し込みについて
中央公民館主催イベントのご案内 佐倉学講座「新町周辺歴史散策」
春休み親子映画会「マジックツリーハウス」
- ⑥展 望 佐倉市の広報誌を積極的に活用して、幅広い紙面づくりに心がけたい。

なかま

- ①ねらい 市民の手による、市民の「心の交流の場」づくりをめざす。
- ②発行回数 年12回（毎月1回）
- ③発行部数 毎月1, 500部（年間1, 500部×12ヵ月＝18,000部）
- ④配布方法 市内公民館・図書館・保健福祉センター・佐倉一里塚・市内各駅等で配布。
また、編集委員による配布や市民ハイキング参加者への配付も行っている。
- ⑤編集方法 佐倉市民カレッジ生とその卒業生からなるボランティア編集委員15人が編集会議を毎月2回開催している。
編集会議では、原稿の内容上の個々の事項についての検討とその処置、校正・割付けなどの編集作業と、年間計画やこれからの方向性などについて話し合いを行います。
また平成17年度からは佐倉市民カレッジ情報コース卒業生がボランティアで版下作成を行っている。
- ⑥内 容 A4版4ページの体裁で、1面は市長及び編集委員の原稿、2・3面は市内在住の市民の方から頂いた投稿文を掲載しています。4面は中央公民館の主催事業や公民館からのお知らせ、コラム的なさくら道、編集委員によるあとがきを掲載している。
平成20年6月には編集会議が、(社)日本善行会から特別表彰善行賞を受賞した。
「なかま」は平成27年2月には創刊から数えて460号となった。

7. 視聴覚教材ライブラリー事業

親子映画会

- ①開設趣旨 親子映画会として実施し、映画をとおして友達の輪を広げ、青少年の健全育成を図る
- ②対 象 小学生・幼児と保護者 各500人
- ③学習内容 親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。
- ④学習プログラム

回	日 時	上映作品	学 習 内 容	会 場
1	8月8日(金) 9:30~11:30	プレーンズ	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール
2	12月26日(金) 10:00~11:20	かいけつゾロリ まもるぜ!きょうりゅうのたまご	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール
3	3月27日(金) 9:30~12:00	マジックツリーハウス	子ども向け名画鑑賞を実施した。	市民音楽ホール

⑤事業を終えて

市内の子ども達を対象に夏休み・冬休み・春休みを利用して映画鑑賞会を3回実施した。映画を通して、子ども達に友情の大切さや思いやりの心を育んでもらえたと思う。また、長い休みには、子どもの居場所が心配になる保護者にとってもこのような事業は安心できる子どもの居場所になっていると考える。

16ミリ映写機操作講習会

①開設趣旨 視聴覚16ミリ映写機器の操作を習得する機会を提供し、視聴覚教材の普及と利用促進を図る

②対 象 社会教育団体・一般 20人

③学習内容 16ミリ映写機に関する基礎的な知識と操作技術を身につける。

④学習プログラム

回	日 時	学 習 内 容	講 師
1	8月8日(金) 9:30~11:30	・視聴覚概論 ・映写技術の理論と実際	(有) 教育映像 齋藤 和雄

⑤講座を終えて

市内の社会教育団体・一般を対象に募集をしたが、市外の方も申し込みがあった。現在の視聴覚教材がアナログからデジタル化がされてきていることから、印旛管内においても佐倉市以外での講習が実施されていない様である。フィルム資産を末永く活用していくために今後も受講の促進を図りたい。なお、16ミリフィルムと映写機の貸与は、本講習の修了証を持つことが要件とされている。

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、12の地区より構成されている。昭和29年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治22年から14の村落で構成されていた。面積は市全体の約14%に当たる14.38平方キロ、人口は約1.1%に当たる1,957人、世帯数は778世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【平成27年3月末現在】

- 和田地区：面積 14.38 km²（佐倉市：面積 103.69 km²）
- "：住基人口 1,957人（"：住基人口 177,411人）
- "：人口密度 136人/km²（"：人口密度 1,710人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割を果たすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開すると共に、地区住民としての共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日・祝日 午前9時～午後5時

(第2第4月曜日、12/28～1/4は休館)

火・金曜日は午後9時まで(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)

3. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう援助・協力をする。

4. 広報に関する事業

「公民館だより」を年5回発行

5. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料(佐倉市指定文化財)を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

6. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。
(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用件数 (件)	472	446	436	464	490
利用人数 (人)	4,647	5,623	5,759	5,532	6,355
開館日数 (日)	320	324	322	333	333

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者 18組	5/16 9組 6/20 8組 7/18 8組 9/12 8組 9/26 4組 10/17 8組 11/14 6組 11/28 6組 12/19 9組	楽しい親子遊びをとおして、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて共に考える機会とする。
	楽しく家庭教育講座	小学生以上の保護者 15人	9/24 15人 11/19 14人 2/18 13人	子どもがよりよく育つために、家庭の役割や、家族のあり方などを学習する。
青少年教育	和田剣道教室	地区の小学生 20人	5月～3月 毎週土曜日 15人	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10/19 25人	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	7/29 20人	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
	佐倉っ子塾料理教室	地区の小学生 各20人	6/7 13人 10/11 14人 2/8 18人	地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	7/26 22人 8/4 15人 12/20 15人	和田のはたおりや手工芸、凧作りなど、伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
成人教育	佐倉・城下町 400年事業「ミニぞうりづくり」	市内の成人 12人	2/22 8人	江戸時代の作り方そのまま、本物のわらを使い”ミニぞうりストラップ”を作る。
	佐倉学体験講座ふるさと味工房	市内の成人 各15人	8/18 11人 9/17 8人 12/5 13人 2/27 7人	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。【太巻き寿司、大和芋、和田の新鮮野菜料理等】

	佐倉市市制施行60周年記念特別展 「写真に残る和田地区の思い出」	一般	10/16～12/7 584人	地区住民から寄せられた市制施行前後の古い写真や町村合併の資料等の展示・紹介を行う。
	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾	市内の成人 15人	6/11 5人 6/25 6人 7/9 6人 9/10 7人 9/24 9人 10/20 9人 1/14 7人	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
	和田地区防災訓練	地区の成人 50人	1/25 37人	地域づくり活動の一環として、現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行う。
	さくら学び塾 『食の地域モデルで新たな価値を考えよう』～ふるさとをさらに魅力あるまちに！～	市内の成人 15人程度	11/29 9人 12/6 8人 1/10 10人 1/31 8人 2/28 8人	市民の自主性に基づき、教えたい伝えたい事について市民自身が講師となり、参加者とともに学びあい、教えあう。
	長命大学手芸教室	60歳以上の地区の成人 10人	9月～3月 第2・4金曜日 8人	高齢者が心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、手芸を通し、高齢者の親睦と生き甲斐作りを進める。
	長命大学交流会	地区の成人 45人程度	3/8 34人	長命大学生と地区の成人が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施する。
団 体 育 成	団体育成事業	和田小PTA民俗資料収集委員会・和田はたおり保存会・和田地区青少年育成住民会議	文化展 11/15 47人 11/16 102人 ふるさとまつり 11/16 550人 合同研修会 12/7 20人	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力援助する。
広 報 活 動	和田公民館だより	和田地区全世帯	6月号 780部 9月号 780部 10月号 780部 12月号 780部 2月号 650部	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。
	歴史民俗資料室展示	一般	通年 1327名	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び市内小学校の社会科見学の際に解説を行う。
図 書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。

1. 家庭教育事業

子育て教室

- ① 開設趣旨 楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。
- ② 募集対象・募集人数 地区の2～3歳児とその保護者 18組
- ③ 学習目標 運動や遊びを通して、親子の関わり方、子育てを考え、学ぶ。
家庭や身の回りにある素材を使い、親子で工作することにより作る楽しさ、喜びを共に味わい、親子のコミュニケーションを深める。
同世代の子どもと一緒に遊び、情報交換、友達づくりをする交流の場を提供する。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	5月16日(金) 10:00～11:30	ふれあい遊びで親子のスキンシップを深めます。	蓮 淳子
2	6月20日(金) 10:00～11:30	布やタオルを使った遊びをみんなで考えます。	〃
3	7月18日(金) 10:00～11:30	親子遊びと集団遊びを体験します。	〃
4	9月12日(金) 10:00～11:30	夏休みの思い出を親子でまとめます。	〃
5	9月26日(金) 10:00～11:30	ダンボール箱と運動遊具の構成遊びでダイナミックに動きます。	〃
6	10月17日(金) 10:00～11:30	芸術の秋を楽しもう。一つの作品をみんなで作ります。	〃
7	11月14日(金) 10:00～11:30	言葉のやり取りを楽しみ、伝承玩具にチャレンジします。	〃
8	11月28日(金) 10:00～11:30	クリスマスの飾りを作ります。	〃
9	12月19日(金) 10:00～11:30	親子発表で思い出を作ります。 親子遊びのまとめ。	〃

⑤ 講座を終えて

昨年に引き続き、教室を修了した親が講師補助として事業に参画し、地域の中で助け合って家庭教育を学習する場をもつことが出来ただけでなく、地区外の参加者の方にも地域の良さを知っていただくことが出来た。また、子ども同士・親同士が積極的にコミュニケーションをとり、情報交換ができる環境を提供することが出来た。

楽しく家庭教育講座

- ① 開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。
- ② 募集対象・募集人数 主に地区の幼稚園、小学生の保護者 15人
- ③ 学習目標 過疎地域、少子化という状況で、子育てに役立つ学習の場、仲間づくりや情報交換などができる交流の場を提供する。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	9月24日(水) 9:30~11:00	救命救急講習会(AED等)	佐倉市八街市 酒々井町消防組合 職員
2	11月19日(水) 10:00~12:00	アメリカン陶芸体験	藤原 真由美
3	2月18日(水) 9:00~12:00	学校支援活動 (和田小学校5年生ミニぞうり作り補助)	和田公民館長

⑤ 講座を終えて

救命救急講習会では、AEDを用いた心肺蘇生法、異物除去法による救命処置、止血法の実技研修を実施した。初めて講習を受ける参加者もいたが、落ち着いてAED操作をする姿が見受けられた。いざという時に知識だけでなく行動できるように今後も復習の機会を設ける。

アメリカン陶芸体験では、異年齢の親同士が交流活動をすることにより、情報交換や学びあい、支え合いができる場を提供した。

学校支援活動は、ミニぞうりの作り方を習得した参加者たちが地元のわらを使用し、和田小学校5年生に手作りミニぞうりを教える補助を行い、学校への関わりや教育活動への参加を促すと共に、学校と地域、母親をつなぐ取り組みを行った。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ① 開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育(共に育て合う)の場となるよう努める。
- ② 募集対象・募集人員 和田地区在住の小学生 20人
- ③ 学習目標 剣道を通して礼節を学び、たくましい心身を作る。
仲間の大切さを知ると同時に、お互いに切磋琢磨することの重要性を学ぶ。
- ④ 開設期間 平成26年5月10日~平成27年3月14日 39回
- ⑤ 指導者 片岡 康平、江野沢 清美、藤崎 英樹、鶴田 潤子
- ⑥ 講座を終えて

剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の訓練や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。また、7月19日~20日には佐倉草ぶえの丘にて一泊二日の剣道合宿を行い、厳しい稽古とともに楽しい思い出をつくることのできた。

軽スポーツ大会

- ① 開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ② 募集対象、募集人数 地区の小学生 50人
- ③ 学習目標 軽スポーツを通して楽しく異世代間の交流をすることにより、和田地区の福祉の向上や青少年健全育成を図る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月19日(日) 10:00~12:00	グラウンドゴルフ (和田小学校グラウンドで実施)	スポーツ推進員

⑤ 講座を終えて

和田地区青少年育成住民会議、社会福祉協議会和田支部と共に実施し、地域の子供と地域住民が交流し、青少年の健全育成を地域で考える場になっている。

チーム分けでは、小学生と地区の大人と一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図った。

夏休みおもしろ体験教室

① 開設趣旨 保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。

② 募集対象・募集人数 地区の小学生 20人

③ 学習目標 料理の楽しさと食べ物の大変さや食事を作ることの大変さを学ぶ。

子どもたちに歴史や文化芸術を身近に感じてもらい、更なる学びや発展のきっかけとする。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	7月29日(火) 9:00~16:30	たのしい運動遊び みんなで料理にチャレンジ 土器(勾玉作り)	上村 明 六崎 美知代 高梨 直子 千葉県教育庁教育振興部文化財課

④ 講座を終えて

日頃なかなか体験できない学習を実施するため、スポーツの専門家、千葉県の職員を講師に迎えて体験教室を行った。

また、昼食では、地域住民の方の協力をいただき、子どもたちへ料理の手順や片づけ方などを指導し自分たちで行い、日常生活の中における保護者の大変さや感謝の気持ちを再認識することができた。

佐倉っ子塾 料理教室

① 開設趣旨 地域の食材を生かした料理教室を実施し、子どもの自立と育成を図る。和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施した。

② 募集対象・募集人数 地区の小学生 20人

③ 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、共に料理を作ることによって子どもたちを地域で見守り育む場とする。

⑤ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	6月7日(土) 9:30~12:30	(1) ツナとえのきの炊き込みご飯 (2) 大根、きゅうり、りんご、ハムのサラダ (3) ウィンナーの包み焼き (4) フルーツ・フルーチェ	六崎 美知代 高梨 直子

2	10月11日(土) 9:30~12:30	(1) ツナのカレーピラフ風 (2) 納豆とチーズ、のりの卵焼き (3) きな粉のクッキー	六崎 美知代 高梨 直子
3	2月8日(日) 9:30~12:30	(1) サンドイッチ (2) 根菜のカレー風味ポトフ (3) チョコサラミ	六崎 美知代 高梨 直子

⑥ 講座を終えて

子ども料理教室は、子どもたちが男女に関係なく生きるために『食生活』において自立することを目的としている。子どもたちは料理に興味をもち、作る楽しさ・出来たときの喜びを感じていたようであり、低学年から高学年まで、多くの児童が参加する人気事業となっている。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

- ① 開設趣旨 和田のはたおりや手工芸、凧作りなど伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
- ② 募集対象・募集人数
 - ・はたおり親子体験 市内小学生親子 午前午後各6組
 - ・夏休み編み物体験 地区の小学生 15人
 - ・凧づくり体験 地区の小学生 30人
- ③ 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、子どもたちを地域住民で見守り育む場とする。
- ④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月26日(土) 10:00~12:00 13:00~15:00	はたおり体験	和田はたおり保存会
2	8月4日(月) 10:00~14:00	夏休み編み物体験教室	手芸教室講師 手芸教室生徒
3	12月20日(土) 9:00~14:00	凧づくり教室	和田地区青少年育成 住民会議 青少年相談員 和田子ども会

⑤ 講座を終えて

はたおり体験は、和田はたおり保存会の協力を得て、親子で伝統文化を体験する場を提供することができた。

夏休み編み物体験は、長命大学で公民館を利用している高齢者が小学生を指導することにより、世代間交流も同時に実現できた。

凧づくりは、和田地区青少年育成住民会議と青少年相談員の共催で実施し、親子で伝統的な彦一凧作りを行った。市販の凧と違い、なかなか思うように作ることができず、まわりの大人と一緒に作り上げるため、地域で子どもを育てる機会となった。

3. 成人教育事業

佐倉・城下町400年記念事業 ミニぞうりづくり

- ① 開催趣旨 江戸時代の作り方そのまま本物のわらを使い、ミニぞうりのストラップを作る。
- ② 募集対象・募集人数 市内成人 10人
- ③ 学習目標 和田地区でとれたわらを使い、江戸時代の作り方ぞうりの作り方を知ってもらい、伝統技術を学ぶ

④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月22日 (日) 13:00～16:00	ミニぞうりストラップの作成	和田公民館長 家庭教育講座生徒

⑤ 講座を終えて

今年度は、市制60周年記念として、家庭教育講座の生徒の協力を得て、本物のわらを使って行った。わらで編むことの難しさを学ぶとともに、昔の生活を体感してもらう貴重な機会となった。

佐倉学体験講座・ふるさとの味工房

- ① 開設趣旨 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図るとともに、食文化の伝承を図る。
- ② 募集対象・募集人数 市内の成人 12人
- ③ 学習目標 和田地区の特長を活かし、地元の食材を用いて食文化の伝承を図る。
- ④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月18日 (月) 9:30～13:00	太巻き祭り寿司講座	伊藤 芙美子 (伝統料理研究家)
2	9月17日 (水) 9:00～13:00	和田の新鮮野菜料理講座	食生活改善推進委員 和田支部
3	12月5日 (金) 9:30～13:00	太巻き祭り寿司講座	伊藤 芙美子 (伝統料理研究家)
4	2月27日 (金) 9:00～13:00	大和芋の美味しい食べ方講座	伊藤 芙美子 (伝統料理研究家)

⑤ 講座を終えて

ふるさとの味工房については、和田地区の農業の特長を活かし、地元食材を使用して食文化の伝承を図るとともに、地域の食文化について考える場となった。

佐倉市市制施行60周年記念特別展「写真に残る和田地区の思い出」

- ① 開設趣旨 市制施行前後の古い写真を和田地区住民から募集し、当時の行政、産業、教育等を明らかにするための展示を行う。
- ② 募集対象・募集人数 資料収集については和田地区住民、対象は佐倉市民。
- ③ 学習目標 郷土に対する理解、愛着を醸成するとともに、和田地区の魅力を再発見する一助とする。
- ④ 展示期間 平成26年10月16日～平成26年12月7日
- ⑤ 特別展を終えて

和田地区住民の協力により、合併、農業、医療、道路、交通、通信、生活、教育の各テーマに沿った写真や文書、歴史民俗資料室で収蔵している花嫁衣裳など、多くの資料を活用。観覧者の感想では、「昔のことを懐かしく思い出した」、「昔の知らなかった和田を知ることができた」、「貴重な和田地区の歴史が後世まで伝えられることを願っている」、「和田地区の歴史を感じる良い機会となった」など、和田地区への理解、愛着、魅力を伝える良い機会となった。

佐倉学入門講座・楽しく学べる和田地域塾

- ① 開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
- ② 募集対象・募集人数 市内の成人 14人
- ③ 学習目標 和田地区の歴史、民俗、自然などを学び、和田地区に対する知識を深め、郷土愛の育成を図る佐倉学を普及推進する。

④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月11日 (木) 10:00~12:00	オリエンテーション 和田を学ぼう① 南酒々井駅と和田の歴史 歴史民俗資料室の展示物の紹介	大川 一光氏 (南酒々井駅名誉駅長) 他公民館職員
2	6月25日 (水) 10:00~12:00	和田を学ぼう② はたおり体験	和田はたおり保存会
3	7月9日 (水) 9:30~12:00	地元作家の指導による陶芸体験①	安本 幸世氏 (地元陶芸家)
4	9月10日 (水) 9:30~12:00	地元作家の指導による陶芸体験②	安本 幸世氏 (地元陶芸家)
5	9月24日 (水) 9:30~12:00	和田を歩こう 和田地区の自然を訪ねて	松平 喜美代氏 (植物研究家)
6	10月20日 (月) 10:00~12:00	和田の新米とヤマトイモ料理	伊藤 英美子氏 (伝統料理研究家)
7	1月14日 (水) 9:30~12:00	成木を作ろう	藤井 毅氏 (地元農業者)

⑤ 講座を終えて

佐倉学入門講座として本事業を開設したが、市内の各地域から参加があつて、好評を得ることができ、住民との交流と伝統文化を知るための貴重な機会になった。

和田地区防災訓練

① 開設趣旨 地域づくり活動として、現場で役立つ防災や防犯についての実践的な訓練を行う。

② 募集対象・募集人数 地区の成人 50人

③ 学習目標 災害発生時に、落ち着いた行動と助け合いの精神を醸成する。

④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	1月25日 (日) 9:30~11:00	避難訓練 救急救命講習会 (AED 等)	佐倉市八街市酒々井町消防組合職員

⑤ 講座を終えて

和田地区防災訓練では、和田地区社会福祉協議会と共催して訓練を実施し、公共施設からの避難訓練、火災対応の消火訓練、救急救命講習会などを通じて防災意識を高めることができた。

佐倉学び塾 『食の地域モデルで新たな価値を考えよう』～ふるさとをさらに魅力あるまちに！～

① 開設趣旨 市民の自主性に基づき、教えたいたい伝えたい事について市民自身が講師となり、参加者とともに学びあい、教えあう。

② 募集対象・募集人数 市内の成人 15人

③ 学習目標 全国の食に関する地域モデルを学ぶとともに、和田地区をフィールドとして生産者の話を聞き、そこで生産される食材や地域の素材を話題として、楽しい対話の中から、これからの佐倉・和田地区にふさわしい食の地域モデルを提案する。

④ プログラム

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月29日 (土) 10:00~12:00	先進事例の紹介と和田地区のお話	戸村 信夫

2	12月6日(土) 10:00~12:00	地域の食材、素材を知り、和田地区の新たな価値を考える	戸村 信夫
3	1月10日(土) 10:00~12:00	気になる食材、地域の素材を活かした食の地域モデル	戸村 信夫
4	1月31日(土) 10:00~12:00	生産者と消費者・団体がどう繋がると良いか	戸村 信夫
5	2月28日(土) 10:00~12:00	グループ発表と地域モデルの提案(意見交換とまとめ)	戸村 信夫

⑤ 講座を終えて

学習目標が非常に高く、難しい印象を受けるために参加者がいるかどうか不安な面があったが、各方面への声掛けにより、和田地区の生産者だけでなく、市内各所から消費者としての立場での参加があり、非常に有意義な事業となった。

講師の豊富な知識と経験から、先進自治体の事例を実際に和田地区でどのように当てはめるかなど、理解しやすい資料と講義、意見聴取、前回の復習など体系的に講座を進め、最終報告書の提出など、市民講師としての役割をしっかりと果たしていた。

講座終了時のアンケートでは、生産者、消費者双方の立場から、さらに学習を深めたい、もっと和田の良いところを知りたいという意見が多く、今後同様の講座を開く際には是非参加したいとの希望があるものの、生産者、消費者の異なる主体の参加により、双方都合の良い日程調整が必要であると考えられる。

長命大学 手芸教室

- ① 開設趣旨 手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生が再利用を通じて物を大切にすることを受講生が子どもたちに指導する。
- ② 募集対象・募集人数 60歳以上の成人 10人
- ③ 学習目標 心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるよう手芸を通し、高齢者の親睦と生き甲斐づくりを進める。
- ④ 実施期間 平成26年9月19日～平成27年3月27日 7回
- ⑤ 講座を終えて

長年にわたる活動により、手芸技術はかなり高度なものになってきているが、今年度は新講師を迎え、新しい編み方の教授・指導を受ける中で、受講生の学びに対する意欲が高まっている様子が伺えた。また、新規受講生の加入もあった。

また、教室実施期間外であったが昨年の受講生に呼びかけて、夏休みには、編み物体験教室を開催し、高齢者と子どもたちが交流を持つ中で、教えることの喜び・生きがいを感じる場を提供することができた。

長命大学交流会

- ① 開設趣旨 地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるようにするとともに、世代間の交流を図るため和田地区交流バス見学会を実施する。
- ② 募集対象・募集人数 地区の成人 45人程度
- ③ 学習目標 国の「重要伝統的建造物群保存地区」に認定され、江戸の面影だけでなく、大正期の西洋建築、昭和レトロな横丁など様々な景色が残る川越市を見学する。
- ④ 実施日 平成27年3月8日 1回
- ⑤ 講座を終えて 参加者の平均年齢はおおよそ70歳(小学生参加者2名を除く)、最高齢が84歳であった。世代間交流を図るというねらいについては、小学生2人の参加があったものの、2人を除く最低年齢は51歳であり、若い世代に参加を促すアピールが必要である。

4. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題の解決のため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

② 和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会に加え、新規事業として和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはた織機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。

公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行った。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年5回（6月号、9月号、10月号、12月号、2月号）
- 発行部数 各780部（2月号は和田地区住民対象事業のみのため650部）
- 配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演、家庭教育学級参加者による展示物の解説を行った。
- 期間・回数 開館日数 333日 来館者数 1,911名
うち市制施行60周年記念特別展来館者584名
うち小学校社会科見学等団体来館数
平成26年5月28日～11月12日 17団体 1,025名

6. 図書事業

図書貸し出し

○ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 1, 800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	0	0	1	2	2	1	0	10	4	0	2	16	38
返却数	0	270	108	123	259	120	1421	40	107	85	125	38	2696

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその2本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群です。佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接して706世帯、1,655人が住み、13.66km²の面積を持つ穏やかな田園地帯です。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少を続けています。また、弥富地区全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加は望めない現状にあります。その意味では、過疎化に伴う日本の農村の問題が顕著に見られる地域である、とも言うことができます。

このような中で、企業の研究所の設置や美術館の開館など新しい息吹を感じさせるようになってきました。さらに弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばりサーチパークという研究施設等の大規模開発が行われ、新しい時代に向かった流れが徐々に広まりつつあります。

弥富地区のデータ

【平成27年3月末現在】

○弥富地区：面積	13.66km ²	(佐倉市：面積	103.69km ²)
○"：住基人口	1,655人	("：住基人口	177,411人)
○"：人口密度	121人/km ²	("：人口密度	1,710人/km ²)

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

努力目標

- 地域の実情に即した学級・講座の充実を図る。
- 地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館となるように努める。
- 小学校・幼稚園の保護者との連携を密に保つ。
- 地域で活動している諸団体と協力体制を強化し、相互の活動が活発化するよう図る。
- 公民館施設が有効利用されるよう努める。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にしたい。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや、地域の学習、生活情報の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

- 開館時間 午前9時～午後5時（申込みがある場合は午後9時まで）
- 休館日 日曜日・国民の祝休日・年末年始

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用件数 (件)	800	1,108	1,231	1,319	1,306
利用人数 (人)	11,298	13,842	12,682	12,365	11,513
開館日数 (日)	293	293	291	292	293

事業報告

領域	事業名	対象・人数	期間・回数	内容
家庭教育	親子遊びのつどい	2・3歳児と保護者 10組	6月～2月 12回 6組参加	子育てにおける家庭の働き、あり方や子供の発達に必要な事柄を親子遊びを通して学習する。また、幼児が点在し少ない弥富地区において子供と保護者双方の交流の場とする。
	家族で遊ぼう	小学校入学前の 子供と家族 20人	11月 1回 11/3:8人参加	家族での野外活動体験を通じて、親と子、自然との触れ合いの大切さを学習する。
青少年教育	弥富剣道教室	小・中学生 20人	5月～2月 37回 9人参加	剣道の稽古を通じて児童生徒の心身の鍛錬及び千葉県指定無形文化財「立身流」の学習をする。
	星空観察会	弥富小学校児童 と保護者	5, 8, 10月 3回 (5/14:中止 8/24:27人 10/ 8:59人 参加)	弥富地区の豊かな自然の中で星空を観察することで科学への興味を育む。また、季節ごとの星座の移り変わりや天体の動きについて学習する。
	佐倉っ子塾 「なんでも体験弥富塾」	弥富小学校児童 40人	5～2月 11回 (5/24:28人 6/14:中止 7/30:48人 9/27:28人 9/28:47人 10/18:13人 11/ 8:23人 12/ 6:20人 1/10:21人 1/31:17人 2/14:45人 参加)	児童の環境意識・創造力と郷土愛を育むことを目的に、自然体験・工作・料理等を地域の人材を活用して体験型講座を実施する。
成人教育	ふるさと弥富散策会	市内の成人 20人	1, 3月 2回 (1/14:12人 3/30:12人 参加)	自然豊かな弥富地区を散策し、地区に対する理解を深めると共に環境意識の向上を図る。また弥富地区の住民にとっても地区再発見の場とする。
	グラウンドゴルフ	弥富地区の住民	9月 1回 9/28:47人参加	児童から高齢者まで幅広いの層と一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して健康増進と異世代間の交流を図る。
	竹炭づくり体験	市内の成人 10組	11月 1回 11/30:8人参加	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験することにより地域への理解を深める。
	健康づくり講座 「楽しくゆったり太極拳」	弥富地区の成人 20人	6月～7月 6回 15人参加	日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る。

	佐倉学体験講座 「くらしの講座」 ・バス研修 ・カステラづくり ・太巻き祭り寿司 ・そば打ち体験 ・布ぞうり作り	弥富地区の成人 10～50人	6月～3月 8回 (6/11:32人 6/25:7人 10/29:7人 12/3:9人 1/29:12人 2/20:9人 2/25:7人 3/4:41人 参加)	弥富地区で継承されてきた生活文化等を次代に伝えると共に世代間を越えた交流を図り地域に対する郷土愛を育む。
	佐倉・城下町 400 年記念業「立身流を今に伝える」	市内の成人 20人	3月 1回 3/7:24人参加	弥富地区にゆかりのある県指定無形文化財の立身流を広く紹介する。
	佐倉学専門講座 「塩古ざるづくり」	市内の成人 20人	9月～11月 6回 18人参加	弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。
	さくら学び塾 「青春を取り戻そう！大人のためのエレキギター講座」	市内の成人 10人	10月～11月 5回 4人参加	エレキギターの基礎を学ぶことにより、エレキギターの持つ魅力を再発見し、演奏する楽しさや、音楽を作る楽しさを学ぶ。（コミュニティ事業として、市民講師の企画に基づき開設）
団 体 育 成	地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会	弥富地区の住民	随時	ふるさと弥富を愛する会の主催事業への協力等を通じて活動を支援する。
	弥富地区青少年健全育成 住民会議	弥富地区の住民	11月 1回 11/23:31人 参加	青少年健全育成住民会議主催の地区グラウンドゴルフ大会の開催等の協力を通じて活動を支援する。
	弥富民俗資料展示室	市民	通年	民俗資料収集委員会の提供した資料の活用を図ると共に施設の見学に対して説明、案内の効果的な実施に協力する。
広 報 活 動	弥富公民館だより	弥富地区全世帯	年 3回 約 600部 (5, 10, 1月)	公民館事業の案内、募集、弥富地区及び佐倉市全体または、市内他地区の情報提供等を行う。
	主催事業のお知らせ	弥富地区の住民	随時	公民館の主催事業について情報提供を行う。

1. 家庭教育事業

親子遊びのつどい

①開設趣旨 子どもたちが、友だちとの遊びやものを作ることを通して、遊ぶことの楽しさ、重
要さを学習するとともに、保護者も一緒に行動することで、子育てについて考え、学習
することのできる場とする。

②募集対象・募集人数 市内在住の2・3歳児とその保護者 10組

③学習目標 1. 幼児を個性を持つ独立した人間として捉える。
2. 講座の遊びを個人でも展開できる。
3. 講師と保護者、保護者と保護者の結びつきを強める。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月2日(月) 10:00~11:30	手遊びやゲーム遊びをして、みんなで ふれあいます。	蓮 淳子
2	6月16日(月) 10:00~11:30	新聞紙を使った色々な遊び方を体験し ます。	〃
3	7月22日(火) 10:00~11:30	工作ラリーで楽しい遊びに発展しま す。	〃
4	8月19日(火) 10:00~11:30	お兄さんお姉さんと一緒に水遊びを楽 しみます。	〃
5	9月2日(火) 10:00~11:30	布やタオルを使った遊びをみんなで考 えます。	〃
6	9月30日(火) 10:00~11:30	色々な動きでボール遊びの楽しさを体 験します。	〃
7	10月21日(火) 10:00~11:30	みんなのアイデアで楽しく体を動かし ます。	〃
8	11月11日(火) 10:00~11:30	階段や坂道などを探検しながら歩きま す。	〃
9	12月9日(火) 10:00~11:30	クリスマスの飾りを作り、お楽しみ会 の準備をします。	〃
10	12月16日(火) 10:00~11:30	みんなで協力して楽しいクリスマス会 にしましょう。	〃
11	1月20日(火) 10:00~11:30	色々な伝承遊びにチャレンジします。	〃
12	2月10日(火) 10:00~11:30	親子発表で思い出を作ります。	〃

⑤講座を終えて

本講座に参加することで新たな保護者同士の交流も図られ、子育てに関する情報共有の場となった。
この年齢期における親子のふれあいは、子供の発達に非常に大切であり、様々なプログラムを通して親
子で共に活動することの意義は大きい。が、弥富地区の対象者は非常に少なく、他地区からの参加者を得

なければ講座運営が難しくなっている。次年度以降の講座内容について検討していく必要がある。

家族で遊ぼう

- ①開設趣旨 家族で遊び、協同作業をすることを通して、遊ぶことの楽しさ、重要さを学習する。
- ②募集対象・募集人数 市内在住の小学校入学前の幼児と家族 20人
- ③学習目標 家族で同じ時間を共有することの大切さを学ぶ。
- ④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	11月3日(月) 10:00~11:30	D I C川村記念美術館自然散策路の 散策と集団遊び	蓮 淳子

⑤講座を終えて

「親子遊びのつどい」を発展させ、開催日を祝日に設定することにより、母親だけでなく父親の参加も促し、家族そろって共通の体験を通して絆を深める機会を提供した。川村記念美術館の自然散策路で木の実や草花調べをしたり、芝生広場で集団遊びをしたりして楽しく遊びました。

2. 青少年教育事業

弥富剣道教室

- ①開設趣旨 佐倉市に古くから伝承されてきた「立身流」(千葉県指定無形文化財)の次代への継承を念頭に置き、文化の継承と地域の歴史・風土を身をもって大切にする心を育てながら剣道の修練を行い、青少年の健全育成を図る。
- ②募集対象・募集人数 市内在住の小中学生 20人
- ③期間・回数 平成26年5月~平成27年2月 38回 午前9時30分~11時30分
- ④学習目標
 - 1. 剣道の技術向上と心の修養を図る。
 - 2. 学年間の交流を進め、人を大切にする心を育てる。
 - 3. 郷土意識を醸成し、地域の文化を大切にする意識を高める。
- ⑤指導者 榎村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順
- ⑥講座を終えて

剣道と共に千葉県指定無形文化財「立身流」の技と精神を学び、八街市で開催された立身流抜初演武大会に参加するなど、日頃の修練の成果を披露することができた。剣道では年間を通して稽古に励み、和田剣道教室と合同稽古を行うなど、子供たちの心と体を鍛えることができた。

星空観察会

- ①開設趣旨 豊かな自然が残り、佐倉市の中でも暗い夜空が望める弥富地区の星空を観察することで、環境への意識を高めると共に自然科学への興味を育む。
- ②募集対象 弥富小学校の児童と保護者
- ③プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月24日(日) 20:00~21:00	天体望遠鏡を使って月や惑星・星団などを観察する。	公民館職員

2	10月8日(水) 18:00~21:00	天体望遠鏡を使って皆既月食を観察する。	公民館職員
---	-------------------------	---------------------	-------

④講座を終えて

今年は、皆既月食が好条件で観察できるということもあり、多くの参加者が得られた。皆既食中には、赤銅色の月の脇に青く輝く天王星が確認できるなど、参加者に非常に好評であった。天体望遠鏡による星空観察を通じて、子供たちの自然科学に対する興味を高めることができた。

なんでも体験弥富塾(佐倉っ子塾)

①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然や風習等を様々な体験や実習・講義を通して学習する。

②募集対象・募集人数 弥富小学校の児童 40人

③プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	5月24日(土) 9:30~11:30	身近にある素材を使っておもちゃづくり①	大山 登美枝
2	6月14日(土) 9:30~11:30	ザリガニ釣り	公民館職員
3	7月30日(水) 8:30~17:00	バス見学Ⅰ(日清オイリオ工場 他)	公民館職員
4	9月27日(土) 9:30~11:30	かんたん・おやつづくり	食生活改善推進員
5	9月28日(日) 9:00~11:30	グラウンドゴルフ	弥富地区シニアクラブ
6	10月18日(土) 9:30~11:30	身近にある素材を使っておもちゃづくり②	大山 登美枝
7	11月8日(土) 9:30~11:30	楽しくクッキング	食生活改善推進員
8	12月6日(土) 9:30~11:30	連凧づくりに挑戦!	青少年相談員
9	1月10日(土) 9:30~11:30	お餅をついて成木をつくろう	公民館職員
10	1月31日(土) 9:30~11:30	昔遊びを楽しもう!	飯塚 進
11	2月14日(土) 8:30~17:00	バス見学Ⅱ(JAL整備工場)	公民館職員

④講座を終えて

今年は恒例のザリガニ釣りが弥富小運動会となり、実施することができなかったが、様々なプログラムを通じて、子供たちの豊かな心を育む機会を提供することができた。弥富小児童の約6割の参加が得られており、6年間参加してくれる児童も多いので、更なる事業の充実に向けていく必要がある。

3. 成人教育事業

ふるさと弥富散策会

①開設趣旨 自然散策やどんど焼き体験を通して、地区に対する理解と愛着を深める。

②募集対象・募集人数 市内の成人 20人

③プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	1月14日(水) 17:00~19:30	どんど焼き体験(岩富地区)	どんど焼き保存会
2	3月30日(月) 9:30~12:00	鹿島川上流域の散策(岩富地区)	阪上 津留美

④講座を終えて

弥富地区では5地区でどんど焼きが行われており、今年は、岩富区のご協力を得てどんど焼きを体験を実施した。また、自然散策では、カタクリの群生地を訪れるなど、豊かな自然が残る弥富地区への理解を深める機会を提供することができた。

グラウンドゴルフ大会

①開設趣旨 児童から高齢者まで幅広い世代が一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して、異世代間の交流と地区住民の健康増進を図る。

②募集対象・募集人数 弥富地区の住民 80人

③期間・回数 平成26年9月28日(日) 1回 午後1時30分~4時

④学習内容 グラウンドゴルフ

⑤講座を終えて

多くの高齢者に参加してもらうため地域の高齢者団体との共催とした。楽しくグラウンドゴルフをしながら、地域住民の健康増進と異世代間の交流が図られた。例年、6月に開催していたが、雨天のためこの時期の開催となった。雨天の場合、室内での軽スポーツを行うなど実施方法を検討したい。

竹炭づくり体験

①開設趣旨 弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験することにより、地域への理解を深めるとともに生き甲斐探しの一助とする。

②期間・回数 平成26年11月30日(日) 1回 午前9時30分~午後2時

③募集対象・募集人数 市内の成人 10組

④学習内容 竹炭づくりの体験

⑤講師 中村 恵夫

⑥講座を終えて

竹炭づくり体験は弥富地区ならではの講座であり、他地区の方に弥富地区の良さを伝える事ができた。

健康づくり講座「楽しくゆったり太極拳」

①開設趣旨 日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより、地域住民の健康増進を図る。

②期間・回数 平成26年6月3日、10日、17日、24日、7月1日、8日(火曜日)
6回 午前10時~11時30分

③募集対象・募集人数 弥富地区の成人 20人

④学習内容 初心者を対象とした太極拳の学習

⑤講師 松崎 眞紀子

⑥講座を終えて

弥富地区は市内で高齢化率が一番高いこともあり、高齢者を対象とした健康づくりは地域課題のひとつである。今年度は、転倒予防に効果があるといわれている太極拳を取り入れ、楽しみながら健康増進を図ることができた。講座後、自主サークル結成への機運も高まったが、諸事情により実現できなかった。今後の課題としたい。

佐倉学体験講座「くらしの講座」

バス研修

①開設趣旨 地区外のさまざまな文化に触れることにより、自分たちの生活を見直し、豊かにするためのきっかけづくりとする。

②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 50人

③期間・回数 平成26年6月11日（水）、平成27年3月4日（水）
2回 午前8時30分～午後5時

④学習内容 6/11 川越市 蔵造の街並み 他、3/4 横浜市 三溪園

デコ巻き寿司づくり

①開設趣旨 調理実習を通して世代間の交流を図るとともに、弥富地区在住の方を講師とすることで、地域の人材育成を図る。

②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 12人

③期間・回数 平成26年6月25日（水）、10月29日（水）
2回 午前9時30分～午後1時

④学習内容 調理実習

⑤講師 石渡 暁子

そば打ち体験

①開設趣旨 手打ちそば作りを体験しながら参加者の交流を図る。

②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 16人

③期間・回数 平成26年12月3日（水） 1回 午前9時30分～午後2時

④学習内容 手打ちそば作りの体験

⑤講師 根郷そば道場

太巻き祭り寿司講座

①開設趣旨 千葉県の郷土料理である太巻き寿司の技法を学び、地域で指導できる人材を育成するとともに参加者同士の交流を深める。

②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 12人

③期間・回数 平成27年1月29日（木）、2月20日（金） 2回 午前9時～午後2時

④学習内容 太巻き祭り寿司の技法や指導方法の習得

⑤講師 三須 幸子、伊藤 芙美子

布ぞうりづくり講座

- ①開設趣旨 昔から伝わるわらじづくり技法を次代に伝えると共に、世代間の交流を図る。
- ②募集対象・募集人数 弥富地区の成人 10人
- ③期間・回数 平成27年2月25日(水) 1回 午前9時～午後3時
- ④学習内容 布ぞうりづくり
- ⑤講師 三須 幸子、大西 ヤス

○講座を終えて

今年度は、デコ巻き寿司づくりを新たな講座として実施し、幅広い年齢層の参加者を得ることができた。千葉県の郷土料理である太巻き祭り寿司やそば打ち、ぞうりづくりなどの技法を学び郷土への理解を深めることができた。また、講師を地域の方をお願いするなど地域人材の活用を図った。

佐倉学入門講座

佐倉・城下町400年記念業「立身流を今に伝える」

- ①開設趣旨 弥富地区にゆかりのある県指定無形文化財の立身流を広く紹介する。
- ②期間・回数 平成27年3月7日(土) 1回 午前10時～11時
- ③募集対象・募集人数 市内の成人 20人
- ④学習内容 立身流についての講演、小学生による居合演武
- ⑤講師 檜村 典久
- ⑥講座を終えて

立身流の実演を含めた講義と弥富剣道教室の小学生による居合演武など、弥富地区にゆかりのある立身流を紹介し、郷土への理解と愛着を深めることができた。講座当日には、檜村先生の所持する武具や立身流の免許の実物などを展示していただくなど、立身流への理解を深める貴重な機会となった。

佐倉学専門講座「塩古ざるづくり」

- ①開設趣旨 弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざるづくりの技法を次世代に継承するため、材料づくりから編み上げまでの技法を学ぶ。
- ②期間・回数 平成26年9月17日(水)、18日(木)、19日(金)、11月26日(水) 27日(木)、28日(金) 6回 午前9時～午後4時
- ③募集対象・募集人数 市内の成人 20人
- ④学習内容 塩古ざるづくり
- ⑤講師 大西 ヤス
- ⑥講座を終えて

今年度は、広報さくらで募集を行うことで多くの参加者が得られた。塩古ざるづくりの伝承をしていくためには、継続して学ぶ必要があるため、募集方法等について次年度の課題としたい。

さくら学び塾 ～青春を取り戻そう！大人のためのエレキギター講座～

- ①開設趣旨 青春時代に、耳にしたり演奏したりしたエレキギターを基礎から学び直し、その魅力を再発見する。

(コミュニティ事業として、市民講師の企画に基づき開設)

②期間・回数 平成26年10月25日(土)、11月1日(土)、16日(日)、22日(土)
29日(土) 5回 午後2時～3時30分

③募集対象・募集人数 市内の成人 10人

④学習内容 エレキギターの演奏方法を学ぶ

⑤講師 居石 三男

⑥講座を終えて

コミュニティカレッジ事業さくら学び塾として、講師を市民公募し、市民講師の企画により実施した。今後もコミュニティ事業として地域活動の担い手づくりを引き続き実施していく。

4. 団体育成事業

地域まちづくり協議会 ふるさと弥富を愛する会

地域まちづくり協議会は、各小学校区を基準として、区域内で活動する自治会・町内会を基盤に、地域で活動する団体・組織が、それぞれの目的や活動を尊重し合い、緩やかに連携・協力することで、地域が対応できる課題等について、協働して、その解決を図っていくことを目的とした組織である。

ふるさと弥富を愛する会は、平成20年9月12日に佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、弥富小学校区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民からの地域の将来像・本会が果たすべき役割などの意見交換により団体相互の連絡、交流、調整を行い課題発見する。
2. 地域住民からの積極的な意見公募により課題発見をし事業検討する。
3. 地域課題の対応を図るため環境保全事業として「ホテルの里づくり」を実施する。
4. 文化財等保護事業として岩富城址進入路の調査及び整備事業を実施する。
5. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」を継続実施する。

弥富公民館では、各種事業に関する協力、支援を行っている。

弥富地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題の解決のため、市民一人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などの構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営などを行っている。

弥富公民館では、地区グラウンドゴルフ大会などの事業実施に協力している。

弥富民俗資料展示室

展示室の見学に対し、文化課と連携をとって説明・案内の実施に協力している。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館事業・グループ活動・地域の話題などを紹介し、公民館活動への理解を深め、積極的な参加を図るとともに、地域の情報源となるような情報誌を目指す。
- 発行回数 年3回（5・10・1月号）
- 発行部数 600部／回
- 配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置しています。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味していますが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されており、旧石器時代、縄文、弥生期の土器出土、住居跡、古墳及び中世の城館跡などが点在し、古来より住みよい所であったと思われまます。

中世は、上総一族の勢力下にあった印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、承平年間に千葉氏が支配するようになってから集落が点在しはじめ、現在のような村落が構成されたのは藩政時代に入ってからとなります。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足しました。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農村地帯でしたが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、さらにはJR佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっています。

地区内には、JR佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、さらに成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっています。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）、千葉敬愛短期大学があり、文教地区としての側面もあります。

根郷地区の面積は、市域全体の16.8%に当る17.46km²、人口は14.2%に当る25,262人ですが、今後は、独立行政法人都市再生機構施行による土地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、JR佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展しています。

根郷地区のデータ

【平成27年3月末現在】

○根郷地区：面積	17.46km ²	（佐倉市：面積	103.69km ² ）		
○ 〃	：住基人口	25,262人	（ 〃	：住基人口	177,411人）
○ 〃	：人口密度	1,447人/km ²	（ 〃	：人口密度	1,710人/km ² ）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努めます。

努力目標

- より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努めます。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開します。
- 地域の社会資源を地域に還元し、活用するための橋渡し役となるように努めます。
- 郷土意識の高揚、地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努めます。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供

①提供月日（曜日）

月（第1、3、5）・火・日曜日・祝日 9：00～17：00

水・木・金・土曜日 9：00～22：00（当分の間は、21:00）

※使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始

（予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし）

②休館日 毎月 第2・4月曜日、年末年始

(2) 備品の提供

①館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行います。

②佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱います。

2. 学級・講座・講習会・見学会

受講者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育の各事業にわけて実施します。

3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施します。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

年度 区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用件数 (件)	3,463	3,362	3,353	3,384
利用人数 (人)	36,015	36,670	37,366	35,688
開館日数 (日)	334	333	333	333

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	2歳児と保護者 前・後期各20組	前期:5月～7月 12回 15組 30人 後期:10月～12月 12回 9組 18人	親子で一緒に運動や絵本・手遊び・ 工作などを楽しみ、幼児の様々な発 達を促す。 また、家族の参加日を前期後期それ ぞれ2回設け、保護者だけでなく、 家族ぐるみの交流も図る。
	親子ふれあい教室	①幼児と保護者 ②小学生と保護者 (体操各20組、 料理各10組)	幼児体操:7/19 1回 2組 5人 幼児料理:7/24 1回 3組 7人 小学生体操:7/26 1回 5組 11人 小学生料理:7/29 1回 5組 12人	幼児や小学生が親子で一緒に体操や 料理を体験することで身体の発達を 促し、家族の係わり方を学ぶ。また、 保護者同士の交流や情報交換を図 る。
	親子体験教室	小学生と保護者 10組	5月～10月5回 9組 24人	屋外活動やもの作りなど、計画から 準備までの全てを親子で協力して行 い、親子の交流を図る。ザリガニ釣 り、おもちゃ作りなどを実施。
	怒鳴らない子育て 練習講座 (入門編)	3歳～小学生の保護者 20人	9/2 1回 11人	子どもへの伝わりやすい言い方・ほ め方など、しつけの際の子どもとの コミュニケーションのとり方につい て学ぶ。
	食育実践講座	小学生以上の保護者 育児経験者 16人	11/26 1回 7人	豊かで健全な食生活を実践するた め、調理実習をとおして正しい「食」 の知識を身につけ、「食」の楽しさ や大切さを学ぶ。
青少年教育	根郷公民館 通学合宿	根郷地区の小学校 4年生～6年生 21人	6/22～6/25 3泊4日 1回 21人	異年齢の子どもたちが親元を離れ、 共同生活を体験することで自主性・ 協調性などを高め、生きる力を育む。 また、事業に協力する地域住民・学 生との交流も図り、地域の絆を強め る。

	体験ものづくり講座	小学生 16人（おもしろ科学実験隊） 15人（夏休み子ども水彩画教室） 20人（勾玉作りに挑戦！）	おもしろ科学実験隊：6月～12月 7回 16人 夏休み子ども水彩画教室：7/24, 25 2回 15人 勾玉作りに挑戦！ 8/4 1回 10人	体験型事業として「おもしろ科学実験隊」7回、「夏休み子ども水彩画教室」2回、「勾玉作りに挑戦！」1回、を開催し、子どものやる気や自主性・協調性を養う機会とする。
	クリスマスコンサート	地域住民 40人	12/21 1回 28人	地域の公民館で吹奏楽団（地域に根ざした市民楽団）の音楽に親しむ機会を提供し、次世代を担う子どもの情操を育む機会とする。
	子ども映画鑑賞会	幼児～小学生 各40人	7/30 1回 70人 3/25 1回 62人	名作映画などの映像教材を通じて、未来を担う子どもたちに豊かな情操を養う機会を提供する。（夏・春休み期間に実施）
佐倉学	佐倉っ子塾 環境政策課 共通講座 (水辺観察会)	小学生 20人	7/28 1回 19人	印旛沼などの自然環境や、自然体験学習により子どもの環境への意識を育む機会とする。
	佐倉っ子塾 工場見学に行こう！	小学生と保護者 20組	8/18 1回 12組 31人	JALの工場を見学。各種産業について体験を含めて学習し、子どもの創造力や探究心などを育む機会とする。（夏休み期間に実施）
	佐倉っ子塾 佐倉こどもかるた教室	小学生と保護者 10組	1/10 1回 20人	佐倉市の歴史、自然、文化、行事、人物など、「佐倉」をテーマに、親子でかるたの句を考え、読み札と絵札を作成する。「佐倉こどもかるた」（遊び）を通じて、ふるさと佐倉を知り、郷土を愛する心を育む。
成人教育	根郷寿大学	60歳以上 120人	5月～3月 11回 153人	郷土の歴史や文化、健康づくり、社会現象等幅広い分野を学び、教養の向上と社会参加の推進を目的とし、また参加者同士の交流を図る。 ①歴史・文化(佐倉の歴史、歌声コンサート等)②健康づくり(生活習慣病予防)③社会現象等(時事問題、人権講座、終活講座、社会見学等)

成人教育

根郷寿大学	(市民公開講座) 生活習慣病 予防講座	成人 30人	6/18 1回 13人	生活習慣病予防のため、その要因となる行動や日常生活の中で実践できる予防法を学ぶ。(市民公開講座として開催)
	(市民公開講座) 後悔しない 終活講座	成人 30人	12/19 1回 21人	人生のエンディングプラン・人生の締めくくりの準備として、エンディングノートの書き方など終活について学ぶ。(市民公開講座として開催)
	(市民公開講座) 市民人権 啓発講座	成人 30人	1/16 1回 2人	現代社会に潜在する様々な人権問題について考え、差別意識や偏見をもたない「心のバリアフリー」について学ぶ。(市民公開講座として開催)
わくわく元気塾 健康づくり講座	成人 40人	11/7, 12, 19, 28 4回 28人	健康の維持増進を図り、生活習慣病予防を目的として、日常生活の中で簡単に出来る有酸素運動など中心に健康体操を学ぶ。	
パソコン広場	成人 各回 20人	4月～3月 第2日曜日 12回(月1回) 4/13 7人 5/11 4人 6/8 5人 7/13 4人 8/10 4人 9/14 4人 10/12 7人 11/9 3人 12/14 5人 1/11 5人 2/8 4人 3/8 5人	パソコンボランティアを配置し、パソコン初心者が持ち込んだパソコンの操作等に関する疑問を解決する場を提供する。	
はじめてのハンキング バスケット講座	成人 15人(春) 10人(秋、冬)	春、秋、冬 (各2回) 4/17 14人 4/21 9人 9/25 10人 10/2 10人 12/11 10人 12/18 10人	花と緑があふれるまちづくりのため、季節を彩る花を使って、植物や機材の知識を習得しながらハンキングバスケットを制作する。(春、秋、冬 各2回開講)	
珈琲学入門講座 珈琲おいしさの方程式	成人 各10人	11月 2回 11/9 10人 11/15 10人	人々の心と暮らしに潤いを与える至福の一杯、珈琲の基礎知識、文化と歴史、珈琲豆の選び方、抽出技術、珈琲のマナー等を学び、珈琲の持つ魅力を再発見する。	

	地域防災力向上講座	成人 30人	2/7 1回 21人	地域住民の防災意識を向上させることにより、地域の防災力を強化する。 (避難訓練と講義)
佐倉学	佐倉学入門講座	成人 20人 (宝金剛寺) 50人 (安井武雄の仕事) 100人 (総武鉄道講演会) 13人 (総武鉄道見学会)	宝金剛寺:9/9 1回 18人 安井武雄の仕事:9/12 1回 16人 総武鉄道 120周年: 11月～12月 3回 展示 11/11～16 431人 講演会 11/11 20人 見学会 12/2 13人	佐倉をテーマに学ぶため、「佐倉の史跡を訪ねて～宝金剛寺」、「佐倉の先駆者～自由様式の建築家 安井武雄の仕事」を開催する。 また、明治 27 年市川－佐倉間が開通して今年で 120 周年。これを記念して総武鉄道に関連した講演会及び各種展示を行う。
	根郷 ふるさと探訪	成人 各 20人	春の野草観察会: 4/26 1回 17人 秋の野草観察会: 10/18 1回 20人 寺崎散策: 11/8 1回 9人	根郷にゆかりのある自然や史跡、習俗行事等を訪ね、郷土を再発見することにより郷土愛を高める。(寺崎散策:密蔵院の大祭を見学) 根郷地区周辺を散策しながら、季節の野草を観察し自然に親しむ。 (春・秋に野草観察会)
	伝統の根郷産 こんにやく作り 体験	成人 各 20人	12月 2回 12/5 19人 12/12 11人	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得て「こんにやく作り講座」を 2回実施する。 講座を通じて地域住民同士の交流を図る。
コミュニティ事業	さくら学び塾 青春を取り戻そう! 大人のための エレキギター講座	成人 10人	10月～11月 5回 4人	青春時代に耳にしたり、演奏したりしたエレキギターを、基礎から学びなおし、その魅力を再発見する機会とする。
団体育成	根郷地区社会教育 関係団体への支援	該当団体	通 年	南部地区子ども会育成会連絡協議会、根郷地区青少年育成住民会議及び各種団体の活動を支援する。
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	5/1 1回 62人	公民館の活動について理解を深めて頂くと共に、利用団体から要望を聞き、意見交換を行う。

広報	根郷公民館だより	根郷地区の各世帯及び事業所	年 2 回発行 4 月:10,900 部 9 月:10,500 部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行する。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通 年 1 人10 冊 2 週間まで 人数 496 人 貸出 1142 冊 返却 7253 冊	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行う。
その他	夏休み自習室	小学生～成人	7/19～8/31 22 人	夏休みの期間中、児童・生徒・学生等が個人学習に利用できる部屋を提供開放する。
	卓球室開放	幼児～一般	4 月～3 月 第 1 日曜日 12 回 (月 1 回) 4/6 8 人 5/4 6 人 6/1 10 人 7/6 8 人 8/3 8 人 9/7 6 人 10/5 7 人 11/2 6 人 12/7 6 人 1/11 0 人 2/1 2 人 3/1 4 人	家族や友人らと気軽にスポーツ (卓球) を楽しむ場を提供する。
	展示スペースの開放	一般	サークルの展示 3/14～5/9、5/9～8/8、8/21～12/18、12/19～4/18 通学合宿の写真展示 6/23～7/25 人権啓発パネル展示 7/25～8/8 夏休み子ども水彩画教室 7/25～8/8 佐倉こどもかるた教室 1/21～2/17	サークルや地域住民などに 1 階ロビー内の展示スペースを提供する。

1. 家庭教育事業

ぼっぼちゃんくらぶ

①開設趣旨 絵本の読み聞かせや手遊び、工作など、幼児の想像力や豊かな心を育てる上で重要な学習内容を通して親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かす楽しさや同年齢の子どもと触れ合うことで、幼児期的人格形成を促すことを目的とする。尚、講座が終了しても話し合えるような受講者同士の仲間づくりを図り、子育てにおける親と子の関わりを考えた。

②募集対象・募集人数

前期 平成23年4月2日～24年4月1日生まれの子と保護者20組40人

後期 平成23年4月2日～24年4月1日生まれの子と保護者20組40人

○保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 前期6人・後期8人

③学習目標

1. 絵本の読み聞かせを通して幼児の想像力や豊かな心を育てる。
2. 運動や遊びを通して、親子の関係、地域とのかかわり、子育てについて考える。

④プログラム

(前期)

回	月 日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	5月 8日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 みんなで仲良くなろう(ぴよんぴよんはねる)	廣田和子 (楽母楽子)
2	5月15日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 体を動かして遊ぼう(新聞紙遊び)	
3	5月18日 (日) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 家族一緒に お空の下で遊ぼう (ロケットを飛ばそう)	
4	5月22日 (木) 10:00～11:30	家族参観日。手遊びと絵本の読み聞かせ。 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ)	
5	5月29日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 色遊びを楽しもう(絵の具でスタンプ遊び)	
6	6月 5日 (木) 10:00～11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 みんなで魚釣りを体験しよう	
7	6月12日 (木) 10:00～11:30	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 大好きなボールで遊ぼう	

8	6月19日(木) 10:00~11:30	タオルを使って、楽しく体操しよう。	結城 玲美 田中 悠里
9	6月26日(木) 10:00~11:30	フープで楽しく体操しよう。	小林 友香 結城 玲美
10	6月29日(日) 10:00~11:30	家族参観日。 新聞紙を使って色々な遊びをしよう。	結城 玲美 田中 悠里
11	7月 3日(木) 10:00~11:30	マット、平均台にチャレンジしよう	小林 友香 結城 玲美
12	7月10日(木) 10:00~11:30	思い出を作ろう！ ミニ運動会	小林 友香 結城 玲美

(後期)

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月 2日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 みんなで仲良くなろう(ぴよんぴよんはねる)	廣田和子 (楽母楽子)
2	10月 9日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 体を動かして遊ぼう(新聞紙遊び)	
3	10月16日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 みんなで魚釣りを体験しよう	
4	10月23日(木) 10:00~11:30	家族参観日。手遊びと絵本の読み聞かせ。 作ったもので遊んでみよう (ぶんぶん飛ぶよ)	
5	10月30日(木) 10:00~11:30	手遊びと絵本の読み聞かせ。 色遊びを楽しもう(絵の具でスタンプ遊び)	
6	11月 1日(土) 10:00~11:30	家族参観日。 新聞紙を使って色々な遊びをしよう。	
7	11月 6日(木) 10:00~11:30	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 大好きなボールで遊ぼう	田中 悠里 結城 玲美
8	11月13日(木) 10:00~11:30	タオルを使って、楽しく体操しよう。	田中 悠里 結城 玲美
9	11月16日(日) 10:00~11:30	家族参観日。 新聞紙を使って色々な遊びをしよう	田中 悠里 結城 玲美
10	11月20日(木) 10:00~11:30	フープで楽しく体操しよう。	田中 悠里 結城 玲美

1 1	11月27日(木) 10:00~11:30	マット、平均台にチャレンジしよう	田中 悠里 結城 玲美
1 2	12月 4日(木) 10:00~11:30	思い出を作ろう！ ミニ運動会	田中 悠里 結城 玲美

⑤講座を終えて

絵本の読み聞かせや手遊び、体操という趣向の異なる学習内容を組み合わせたこの講座は2歳児の様々な成長過程を見ることが出来ます。前期、後期と通して参加していただいたり、「家ではなかなかできない遊びができた。」という意見があったりと内容は好評でした。少人数ながらアットホームな雰囲気、育児経験豊かな講師や同世代の保護者と交流できたようです。また、家族参加の日は、父親、兄弟なども加わっていただくことで、より多くの交流が生まれたようです。

親子体験教室

①開設趣旨 ザリガニ釣りや工作など体験活動を通じて、親子のコミュニケーションを深める機会を提供するとともに、知識や技能を身につける。

また、自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、受講者同士や地域の方などとのつながりを深める機会とする。

②募集対象・募集人数 親子・10組

③学習目標 1. 親子のコミュニケーションを深める。

2. 自分たちで、計画・準備・活動をすることにより、受講者同士や地域の方などとのつながりを深める。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	5月11日(日) 9:00~11:00	折り本(スタカブ帳)を作る	岩宮しげみ
2	6月 1日(日) 9:00~11:00	ザリガニ釣り	川上 義孝
3	7月27日(日) 9:00~11:00	自由に工作	公民館職員
4	9月 7日(日) 9:00~11:00	まつりずし作り	公民館利用サークル まつりずし
5	10月19日(日) 9:00~11:00	身近にあるものを使っておもちゃ作り	大山 登美枝

⑤講座を終えて

親子で協力して様々な体験活動を発案したことで普段以上に親子間の会話が弾み、全体として和やかな講座となったようです。また、ザリガニ釣りや工作、調理などをおして、親子だけでなく、受講者同士のコミュニケーションを図ることも出来たので、今後も継続して親子の交流を深めてもらいたいと思います。

親子ふれあい教室（幼児）

- ①開設趣旨 幼児の心身の健全な発育を促す。
②募集対象・募集人数 幼児と保護者・体操20組 料理10組
③学習目標 親子のふれあいと友達づくり
④プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	7月19日（土） 10:00～11:30	ボール・ベル・ベルダーを使い、親子で3B体操を体験しよう	日本3B体操協会 田中明子
2	7月24日（木） 10:00～12:00	親子で、デコ巻きずし作りを体験しよう	RICE DREAM 石渡暁子

⑤講座を終えて

親子で体操や料理を楽しみながら、少子化の中で希薄になりがちな子ども、またはその保護者同士の交流を深める良い機会となりました。参加者からは、「昔の遊び（竹馬やこま等）がやってみたい。」という声がありました。

親子ふれあい教室（小学生）

- ①開設趣旨 小学生の心身の健全な発育を促す。
②募集対象・募集人数 小学生と保護者・体操20組 料理10組
③学習目標 親子のふれあいと友達づくり
④プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	7月26日（土） 10:00～11:30	ボール・ベル・ベルダーを使い、親子で3B体操を体験しよう	日本3B体操協会 田中明子
2	7月29日（火） 9:30～12:30	親子で、米粉を使ったお菓子作りを体験しよう	RICE DREAM 石渡暁子

⑤講座を終えて

親子で体操や料理を楽しみながら、親子、また保護者同士の交流を深める良い機会となりました。保護者からは「勉強になりました。」「小学校低学年から参加できるものが増えるとよい。」という意見がありました。

怒鳴らない子育て練習講座

- ①開設趣旨 子どもへ伝わりやすい言い方など子育てについて学ぶ。
②募集対象・募集人数 3歳～小学生低学年の子を持つ保護者・20人
③学習目標 伝わりやすい言い方・ほめ方・注意の仕方を身につける。
④プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	9月2日（火） 10:00～12:00	伝わりやすい言い方を身につける	児童青少年課 職員

⑤講座を終えて

講座では、例をあげ、具体的な話をしていただいた。参加者からも「家で早速実践する」など積極的な感想も寄せられたので、これを機に親子のコミュニケーションを深めていてもらいたいと思います。

食育実践講座

①開設趣旨 成長期の小学生を持つ保護者を対象に「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学ぶ。

②募集対象・募集人数 小学生以上の子を持つ保護者、育児系経験者・16人

③学習目標 正しい「食」の知識について学ぶ。

④プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	11月26日（水） 9：30～13：00	子どもに人気の給食メニューから、魚を使った献立を学ぶ	管理栄養士 吉田智子

⑤講座を終えて

肉食に走りがちな昨今。栄養価の高い魚料理を給食のメニューから選び、作り方を学んだ。参加者からは、「とてもためになった」「別のレシピも知りたい」などの感想が寄せられた。今後は、家庭で親子一緒に作り、魚の話などをしながら親子のコミュニケーションを深めてもらいたいです。

2. 青少年教育事業

通学合宿

①開設趣旨 異年齢の子どもたちが、親元を離れ、共同生活体験をしながら通学する。

②募集対象・募集人数 根郷地区の小学4年生～6年生・21人

③学習目標 共同生活体験をすることにより自主性・協調性を高める。

④プログラム

回	月日（曜日）	学習内容	講師
1	6月22日（日） 10：00～	開講式を行った後、4日間の献立を決定。 共同生活体験をする。 世界の楽器の演奏を聴き、楽器に触れる。	吉田智子（献立の作成アドバイス）、 地域協力者、 学生ボランティア
2	6月23日（月）	共同生活体験をしながら通学する。	地域協力者、 学生ボランティア
3	6月24日（火）	共同生活体験をしながら通学する。	

4	6月25日(水) ～18:30	共同生活体験をしながら通学する。 閉講式を行った後、4日間の成果を発表する。	
---	--------------------	---	--

⑤講座を終えて

今年で「通学合宿」も12年目となり、学校・地域の中でもすっかり定着してきて、多くの協力者に恵まれるようになりました。保護者からの事後アンケートで「家の手伝いをするようになった」、「地域の方と挨拶するようになった」というものが多数あったことから、参加児童の自主性・協調性は高まっているようです。また、地域協力者の方から「参加児童ともっと交流を図りたい」という意見があったことから、今年も親睦の意味も含め、初日に地域協力者の方に昼食のカレーライスを作っていただき、参加児童と一緒に食べながら交流を深めました。将来、参加者の中から学生ボランティアとして参加してもらえることを願っています。

おもしろ科学実験隊

①開設趣旨 子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。

②募集対象・募集人数 小学4年生～6年生・16人

③学習目標 実験を通して、新しい発見をする。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月 7日(土) 13:00～15:00	酸とアルカリを混ぜるとどんな変化が起こるかなどの実験をする。	村上中学校教諭 西澤 保雄
2	7月 5日(土) 13:00～15:00	スーパーボールとスライムを作り、様々な実験をする。	千葉東高等学校教諭 川上 義孝
3	8月 2日(土) 13:00～15:00	水を入れたペットボトルに、空気の入ったウキなどを入れ、「浮いてこい」を作り、その仕組みを調べる。	千葉工業大学教授 半沢 洋子
4	8月23日(土) 13:00～15:00	ひえひえで遊ぼう 氷でアイスを作る実験	千葉東高等学校教諭 川上 義孝
5	10月11日(土) 13:00～15:00	水の汚れ具合を調べる。 電気の大さを体感する。	八千代中学校教諭 西澤 保雄
6	11月 1日(土) 13:00～15:00	温度の変化の実験をする 液体窒素について調べる。	元臼井南中学校校長 土井 仁
7	12月 6日(土) 13:00～15:00	静電気の実験をする。 バルーンヘリコプターを作る。	筑波大学准教授 小林 正美

⑤講座を終えて

今年15年目となる「おもしろ科学実験隊」は、子どもたちに小学校では体験できないような実験などを提供できるよう、講師と打ち合わせを行いました。その中でも「超低温の世界(いわゆるバナナで釘を打つ)」には、受講生も驚いていました。どの講師も子どもたちの期待にこたえる不思議で楽しい実験を用意して下さり、大変充実した講座となりました。これからも科学に興味を持ち続けてもらいたいと思います。

勾玉作りに挑戦!

- ①開設趣旨 勾玉作りを通して、縄文時代の生活に触れる機会とする。
②募集対象・募集人数 小学3年生～6年生・20人
③学習目標 勾玉作りや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れる。
④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月4日 (月) 10:00～12:00	勾玉作りや講師の話聞き、縄文時代の生活に触れた。	千葉県教育庁 教育振興部文化財課 文化財保護室 四街道分室 山崎 清美

⑤講座を終えて

子どもたちは講師の話熱心に聞いた後、夢中で勾玉を作っていました。縄文時代についての質問もたくさん出て、講師持参の展示物にも興味津々でした。今年は、図書館に縄文時代について書かれている資料を提供してもらい展示しました。それらを、休憩時間に読んでいる受講者も見受けられました。

こうした体験がきっかけとなって、少しでも子どもたちが昔の生活体験への好奇心を抱いてくれればと思います。

夏休み子ども水彩画教室

- ①開設趣旨 水彩画を描くことにより、やる気や自主性を育てる。
②募集対象・募集人数 小学3年生～6年生・15人
③学習目標 水彩画の描き方を学び、絵を描く楽しさに触れる。
④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月24日 (木) 10:00～12:00	平筆の特徴を知る	ワールサークル会員 (公民館利用サークル)
2	7月25日 (金) 10:00～12:00	平筆を使い、アレンジアートしてみよう	

⑤講座を終えて

今年も根郷公民館で活動しているサークル(ワールサークル)に指導のご協力をいただきました。今回は「平筆を知る」をテーマに、平筆の使い方を学んだ。その後、お手本を基に、創造の翼を広げ、自分なりにアレンジして、思い思いの作品に仕上げていました。講座の最後に鑑賞会を行い、「この絵がこんな風になるんだ」など感想を述べ合っていました。これからも「違う角度から物を見る」など創造力を高めていってほしいと思います。

子ども映画鑑賞会

- ①開設趣旨 名作映画会などの映像教材を通じて豊かな情操を養う。

②募集対象・募集人数 幼児～小学生・各回40人

③学習目標 名作映画鑑賞を通じて青少年の交流と健全育成を図る。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	7月30日(水) 10:00～12:00	夏休みに子ども向け名画鑑賞を実施する。 「アルプスの少女ハイジ映画版」(107分)	公民館職員
2	3月25日(水) 10:00～12:00	春休みに子ども向け名画鑑賞を実施する。 「銀河鉄道の夜」(71分)	

⑤講座を終えて

家族や友人への思いやりを題材とした映画鑑賞を実施しました。

これからも、子どもたちに思いやりの心を育んでもらえたらと思います。

クリスマスコンサート

①開設趣旨 子どもたちクリスマスのひととき、楽しく過ごしてもらえるように地元吹奏楽団演奏によるクリスマスコンサートを実施する。

②募集対象・募集人数 幼児～小学生・40人

③学習目標 音楽鑑賞を通して、子どもの心の健全育成を図る。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月21日(日) 14:00～15:00	地元吹奏楽団の演奏を聴き、クリスマスのひとときを過ごす。	佐倉ウィンドアンサンブル 会員

⑤講座を終えて

「幼少期より、オーケストラによる生の演奏を聴くことで感性が磨かれ、音楽や楽器についての知識も多く得られるように」と企画しました。根郷地区で活動を行っている吹奏楽団に講師を依頼しました。将来、演奏を聴いた参加者の中から入団者が出て、演者として公民館に帰ってきてくれればと思っています。

2-1 佐倉っ子塾

環境政策課共通講座 水辺観察会

①開設趣旨 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに環境保全の重要性を認識する機会とする。

②募集対象・募集人数 小学4年生～6年生 20人

③学習目標 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む。

④プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	7月28日（月） 9：00～16：00	印旛沼や鹿島川に注ぐ水の流れや、生き物について学ぶ。	千葉県環境財団 職員

⑤講座を終えて

郷土の印旛沼や環境をよく理解してもらおうと企画・実施した講座。印旛沼を取り上げ、水源域に生息する水生生物について、現地で観察しました。屋外の観察等、楽しみながら印旛沼の抱えている問題点などについても理解してもらえたと思います。

工場見学に行こう

- ①開設趣旨 地域の産業や文化などについての体験学習をし、子どもの創造力や研究心を育む。
- ②募集対象・募集人数 小学生と保護者・20組
- ③学習目標 旅行などで利用する飛行機が、どのように整備され、安全運行を徹底されているかを学ぶ。

④プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	8月18日（月） 9：00～16：00	整備の方法や安全運行を行うための姿勢などを学ぶ。	日本航空 社員

⑤講座を終えて

旅行などで利用する飛行機が、どのように整備されているのか、その一端を知ることができました。また、航空会社の安全運行に対する強い姿勢が感じ取れました。子どもたちにとって、働くことの責任感や意義について実感する機会となったのではないかと思います。

佐倉こどもかるた教室

- ①開設趣旨 かるたを通して、ふるさと佐倉を知り、郷土を愛する心を育む。
- ②募集対象・募集人数 小学生と保護者・10組
- ③学習目標 歴史・自然・文化・行事・人物など、佐倉をテーマに親子でかるたの句を考え、読み札と絵札を作成する。

④プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	1月10日（土） 9：30～12：00	佐倉をテーマに親子でかるたの句を考え、読み札と絵札を作成する。	佐倉こどもかるた「子都手留会」会員

⑤講座を終えて

小学校においても同内容の学習をしていたこともあり、動員に結びつきませんでした。実施時期にインフルエンザ等が流行していたこともあり、公民館においても参加児童の急な体調の変化に対応できるように、準備が必要だと感じました。

3. 成人教育事業

根郷寿大学

①開設趣旨 現在、激しく変貌していく現代社会において、少子高齢化が深刻な社会問題となっています。このような状況の中で高齢者が充実した生活を過ごすには、健康保持・生活文化・地域問題などについて正しく情報を収集し、学習する必要性があります。寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場としての提供を目指しています。

②募集対象・募集人数 60歳以上の市民・120人

③学習目標 高齢者が生きがいを持って充実した生活を過ごせるよう、健康保持、生活文化、地域問題などについて学ぶとともに、互いの交流をはかる。

④プログラム

回	月 日 (曜)	学習内容	講 師
1	5月16日 (金) 9:30~12:00	・開講式 ・オリエンテーション(運営委員の選出、1年間の予定説明、班の確認 等) ・自己紹介、グループ討議「今後の班活動について」	館長 担当
2	6月18日 (水) 9:30~12:00	生活習慣病予防講座 (市民公開講座)	みつば脳神経 クリニック 院長 大木剛
3	7月18日 (金) 9:30~12:00	高齢者の犯罪被害について	佐倉警察署 生活安全課 署員
4	8月 8日 (金) 9:30~12:00	アコーディオン演奏&歌声コンサート	アコーディオンサークル 「風車」
5	9月19日 (金) 9:30~12:00	佐倉同協社と佐倉茶(倉次亭)	株式会社小川園 茶匠 小川勝寛
6	10月22日 (水) 9:30~12:00	社会見学 那珂湊 大洗水族館	担当
7	11月 8日 (土) 13:00~16:30	・平和記念講演会 ・小学生等の音楽演奏 ・平和使節団の報告等	長崎市長 田上富久
8	12月19日 (金) 9:30~12:00	後悔しない終活講座 (市民公開講座)	有限会社アラキ 葬祭ディレクター清水圭太
9	1月16日 (金) 9:30~12:00	市民人権啓発講座 高齢社会と人権 ～高齢者は、いつから弱者にされたのか～ (市民公開講座)	千葉県 人権啓発センター 常務理事 鎌田行平

10	2月20日(金) 9:30~12:00	根郷地区に所在する城址・遺跡について	印旛郡市文化財 センター 日暮冬樹
11	3月20日(金) 9:30~12:00	・根郷寿大学を受講して(グループ討議) ・閉講式	館長 担当

⑤講座を終えて

寿大学は昭和46年に開設、今日まで継続されている佐倉市立公民館の高齢者事業としては最も古く歴史のあるものです。当初は根郷地区の住民だけを対象としていましたが、現在では市内全域にその対象を広げています。

本年も60歳以上の高齢者153人(62歳~90歳/平均年齢73.2歳)が健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら一人一人生きがいを持ち、孤立することのないように、様々な交流活動を支援しました。

今後も、高齢者が学び、交流する場としての役割を保持しながら、受講生自らが取材・編集・発行している『根郷寿だより』の活動のように受講者の自主的な活動に展開していくように支援していきたい思います。

生活習慣病予防講座 (根郷寿大学市民公開講座)

①開設趣旨 飽食の時代に、誰でも陥りやすい生活習慣病について知る機会を提供する。

②募集対象・募集人数 成人・30人

③学習目標 生活習慣病の要因と予防法を理解する。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	6月18日(水) 10:00~12:00	クイズや質問コーナーを織り交ぜながら生活習慣病について理解を深める。	みつば脳神経クリニック 院長 大木剛

⑤講座を終えて

高血圧や糖尿病など普段耳にする事柄を詳しく解説していただいた。講義を聞いて「いかに好きなものを好きなだけ食べていたか」がわかりました。これを機に少しずつでも生活リズムを改善し、健康に気をつけていってもらいたいと思います。

後悔しない終活講座 (根郷寿大学市民公開講座)

①開設趣旨 人生の締めくくりの準備について知る機会を提供する。

②募集対象・募集人数 成人・30人

③学習目標 準備をしなくてはならないものやエンディングノートの書き方等を理解する。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月19日(金) 10:00~12:00	終活という言葉の意味や葬儀、介護保険、相続などについて理解を深める。	有限会社アラキ 葬祭ディレクター清水圭太

⑤講座を終えて

終活という言葉の意味や葬儀、介護保険、相続など幅広い内容をお話ししていただいた。受講者からも「ためになった」「今まであまり気にしていなかったので、少しずつでも準備する」といった感想が寄せられた。企画段階で周りからは、内容的に疑問の声もあったが、おおむね好評であった。これを機に少しでも関心を持ってもらえたらと思います。

市民人権啓発講座（根郷寿大学市民公開講座）

- ①開設趣旨 現代社会に潜在する様々な差別問題を学ぶ機会を提供する。
- ②募集対象・募集人数 成人・30人
- ③学習目標 差別意識や偏見を持たない「心のバリアフリー」を達成する。
- ④プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	1月16日（金） 10:00～12:00	高齢社会と人権 「どこからが差別なのか」 する側・される側の両面から差別を理解する。	千葉県人権啓発センター 常務理事 鎌田行平

⑤講座を終えて

例題を出しながら、「どこからが差別なのか」を詳しくお話ししていただいた。受講者から「気が付かずにやっちゃっていた」「慎重に発言したい」などの感想があった。これを機に差別のない社会になっていってほしいと思います。

わくわく元気塾 健康づくり講座

- ①開設趣旨 日常生活の中で簡単にできる有酸素運動を中心に学び、健康の保持増進を図る。
- ②募集対象・募集人数 成人・40人
- ③学習目標 効果的な運動方法を学び、生活習慣病予防を達成する。
- ④プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	11月7日（金） 10:00～11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ。	A F A A 認定インストラクター 森 たか子
2	11月12日（水） 10:00～11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ。	
3	11月19日（水） 10:00～11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ。	
4	11月28日（金） 10:00～11:30	有酸素運動やストレッチを中心に学ぶ。	

⑤講座を終えて

世界的なフィットネスインストラクター教育団体のA F A Aから認定された森たか子氏を講師に迎え、

日常生活の中で簡単に出来る運動、特に有酸素運動やストレッチを中心に学びました。受講者からは「これからも継続していきたい」などの感想が出るなど、健康の保持増進のきっかけ作りになったと思います。

パソコン広場

- ①開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。
 ②募集対象・募集人数 成人・各回20人
 ③学習目標 地域住民の情報活用能力の育成を行う。
 ④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1 2	毎月1回 (第2日曜日) 10:00~12:00 13:00~15:00	各自で教材を持ち込み、各々で学習した。 わからない所をボランティアに質問をする。	パソコン ボランティア

⑤講座を終えて

基本的には「ワード」、「エクセル」といった基礎的な内容について説明する講座ですが、コンピューターの進化に伴い、質問も多種多様になっているようです。受講者から「日常的な操作でわからないところを補うことができた」などの感想があり、パソコン操作のレベルアップの一助となったように思います。

はじめてのハンギングバスケット講座

- ①開設趣旨 花と緑があふれるまちづくりのためハンギングバスケットを制作する。
 ②募集対象・募集人数 成人・1回目、2回目15人 3回目以降10人
 ③学習目標 植物や機材の知識を習得する。
 ④プログラム

回	月日 (曜日)	学 習 内 容	講 師
1	4月17日 (木) 10:00~12:30	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する。	RHS Jハンギング バスケットマスター 遠藤 富士子
2	4月21日 (月) 10:00~12:30	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する。	
3	9月25日 (木) 10:00~12:30	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する。	
4	10月 2日 (木) 10:00~12:30	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する。	

5	12月11日(木) 10:00~12:30	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する。
6	12月18日(木) 10:00~12:30	植物や機材の知識を習得しながら、ハンギングバスケットを制作する。

⑤講座を終えて

公民館だよりの「講師公募」の欄を見て問い合わせをいただき「花いっぱい町にしたい」という講師の熱い思いから始まった事業。その熱意が受講者にも伝わり、みな熱心に制作していました。アンケートに「継続していきたいけど自分だけでは制作できない」という感想が多かったため、平成27年度よりサークルとして活動することとなった。

珈琲学入門講座 珈琲おいしさの方程式

①開設趣旨 人々の心に潤いを与える珈琲。珈琲の持つ魅力を再発見する。

②募集対象・募集人数 成人・各回10人

③学習目標 珈琲の基礎知識や抽出技術を習得する。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月9日(日) 10:00~12:30	珈琲の歴史など基礎知識や豆の選び方、抽出技術を学ぶ。	珈琲焙煎士 坂井 稔
2	11月15日(土) 10:00~12:30	珈琲の歴史など基礎知識や豆の選び方、抽出技術を学ぶ。	珈琲焙煎士 坂井 稔

⑤講座を終えて

根郷地区にある珈琲店を借りて行った初めての事業。「普段公民館事業に参加していない層に参加してもらいたい」と企画したところ老若男女幅広い層の参加があった。当日は、珈琲の歴史などの基礎知識や抽出方法など丁寧に教えていただいた。参加者からは、「珈琲に対する考え方が変わった」「自己流だったので、知らないことが多かった」「目から鱗」などの感想があった。これを機に自宅で「至福の一杯」を極めてもらいたいと思います。また、若い世代の方が公民館に通ってくれることを期待しています。

地域防災力向上講座

①開設趣旨 地域住民の防災意識の向上を図る機会とする。

②募集対象・募集人数 成人・30人

③学習目標 避難所の役割と、防災倉庫の備品について知る。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	2月7日(土) 9:30~11:00	避難訓練と避難所の役割について学ぶ。	佐倉市八街市酒々井町消防組合署員 防災防犯課職員

⑤講座を終えて

「地域の防災意識の向上に」と企画し、今年度は、初めて避難所の防災倉庫の見学を行った。参加者からは、様々な質問が飛び出し、根郷地区の防災力の高さを感じることができました。今日一日だけでなく、常日頃から意識してもらいたいと思います。

3-1 佐倉学講座

佐倉学入門講座

①開設趣旨 佐倉（根郷地区）をテーマに歴史・文化・自然を学び、郷土愛を高め、地域を見直す機会を提供する。

②募集対象・募集人数

「佐倉の史跡を訪ねて～宝金剛寺」成人・20人、

「佐倉の先駆者～自由様式の建築家 安井武雄の仕事」成人・50人、

「総武鉄道開業120周年事業」講演会 成人・100人

展示会

見学会 成人・13人

③学習目標 佐倉の歴史・文化・自然に興味を持ち、佐倉の新たな魅力について知る。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	9月9日(火) 13:30～15:00	北条氏勝の菩提寺で、お寺の基礎を学ぶ。貴重な伝来品についても学ぶ。	宝金剛寺 住職 京極 勇剛
2	9月12日(金) 10:00～12:00	佐倉で生まれた建築家の仕事を振り返る。	文化課 学芸員 本橋 浩介
3	11月11日(火) 13:30～15:30	「正岡子規の見た総武鉄道」文学的な見地ではなく鉄道にスポットを当てた講演会を実施	鉄道史研究家 白土 貞夫
4	11月11日(火)～ 11月16日(日)	総武鉄道にまつわる品々の展示	
5	12月2日(火) 10:00～12:00	JR東日本千葉支社総合訓練センターと千葉公園にある鉄道遺構の見学	総合訓練センター 社員

⑤講座を終えて

佐倉について学ぶ講座の入門編として歴史・文化・自然と様々なテーマを設け、なるべく多くの方々に興味を持って頂けるような講座を目指しています。今年度の内容としては、佐倉で生まれた建築家 安井武雄の仕事をご紹介しました。また、体験型講座として、北条氏勝の菩提寺(宝金剛寺)の見学と、明治27年に、総武鉄道(市川-佐倉間)が開業して120周年となることから講演会、展示会、見学会を実施いたしました。郷土史は学ぶ内容が豊富で、受講生は大変熱心に話を聞いています。

これからも新たな発見をすることができる講座となるよう内容を検討していきたいと思っています。

根郷ふるさと探訪

①開設趣旨 郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び散策を交えて、郷土史を理解する。

②募集対象・募集人数 成人・各回20人

③学習目標 散策しながら、野草や古木を観察し、自然に親しむ。
郷土の自然について関心高める。。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	4月26日(土) 9:30~12:00	六崎・石川地区を散策しながら春の野草や古木を観察し、郷土の自然への関心を高める。	佐倉野草会 近藤 維久子
2	10月18日(土) 9:30~12:00	太田地区を散策しながら秋の野草や古木を観察し、郷土の自然について関心を高める。	佐倉野草会 近藤 維久子
3	11月 8日(土) 9:30~12:00	太田地区を散策しながら秋の野草や古木を観察し、寺崎密蔵院の大祭を見学する。	菊地 昭夫

⑤講座を終えて

根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、郷土に興味を持っていただけるよう実施しています。今回は、寺崎密蔵院の大祭見学しました。受講者からは、「何気ない野草に対しての知識が深まり大変よかった」「個人では、知らない事が体験できてよかった」など感想が寄せられた。

今後も地域についてより深く理解していただけるよう、内容を吟味していきたいと思っています。

伝統の根郷産こんにゃく作り体験

①開設趣旨 根郷地区の食材を活用し、地域への関心を高める。

地元の人材を活用することにより、市民同士の交流を図り地域づくりにつなげる。。

②募集対象・募集人数 「こんにゃく作り」成人・各回20人、子10組

③学習目標 地元の食材の良さを発見する。自ら学び、地域づくりにつなげる。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月 5日(金) 9:30~13:00	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦する。	あけぼのグループ 会員
2	12月12日(金) 9:30~13:00	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦する。	

⑤講座を終えて

佐倉・城下町400年事業と位置付けたこんにゃく作りは、地域講師の協力により、地元で取れたこんにゃく芋を使用して行いました。講師のこんにゃくに対する熱い思いが受講者に伝わり、「ぜひ家でも作ってみたい」など活発な意見が出され、地元食材の普及の一助になったように思います。

さくら学び塾「青春を取り戻そう！ 大人のためのエレキギター講座」

①開設趣旨 公募で選ばれた市民講師と受講生が次世代への技術の継承、地域づくり、まちおこしなど新たな地域での取り組みのきっかけづくりとなることを期待して、「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾」として、開設する。

②募集対象・募集人数 成人・10人

③学習目標 エレキギターの基礎を習得する。

④プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月25日(土) 14:00~15:30	エレキギターの仕組みを知る。 音階を正しい運指で弾けるようにする。	元高校音楽科教諭 居石 三男
2	11月 1日(土) 14:00~15:30	正しいピックの使い方に慣れる。 童謡「さくら」を弾く。	
3	11月16日(日) 14:00~15:30	コード(和音)を弾く。 童謡「さくら」にコードを付けてを弾く	
4	11月22日(土) 14:00~15:30	「大きな古時計」を弾く。	
5	11月29日(土) 14:00~15:30	「大きな古時計」にコードを付けてを弾く みんなの前で成果を発表する。	

⑤講座を終えて

元教諭ということで、教え方がうまく、ほとんど演奏できなかった方が、人前で立派に演奏できるようになりました。「毎日コツコツ練習すれば、必ず上達する」という講師の話は、どの場面にも当てはまると思います。これを機に昔を思い出しレパートリーを増やしていただきたいと思います。

4. 団体育成事業

①根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようです。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成されました。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としています。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っています。

②南部地区子ども会育成会連絡協議会

近年、地区子ども会への加入が減少傾向にあるなかで、どのように運営していったら良いか、どんな運営をしたら良いかなど、地区の子ども会を支援する目的として、昭和56年に結成されました。事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

活動としては、子ども会活動に役立つゲーム講習会や子ども会の会長が集まり、意見を交換する、会長連絡会などを行っている。子ども会活動に役立つ各種備品の貸し出しも行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい・・・公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行する。
- 発行回数・・・年2回（4月15日、9月15日）
- 発行部数・・・4月15日号 10,900部 9月15日号 10,500部
- 配布方法・・・各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

6. 図書事業

- 趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

○蔵書数 約3千冊

○月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	109	95	85	86	143	91	114	80	54	97	85	103	1,142
返却数 (冊)	469	372	304	316	409	423	3,244	347	294	358	305	412	7,253

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併による旧志津村の行政区域が現在の志津地区となっている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、平成27年3月末現在では、佐倉市の総人口177,411人に対し志津地区の人口が77,024人となっており、その割合は43.4%であり、市内の地区別における居住人口の最も多い地区となっている。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、近代的な街づくりへと生活環境などが発展してきている。

しかし、市街化区域を一步外れると田園風景が広がり自然豊かな環境が残る地区となっている。

志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあり、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

また、志津地区の公共施設では「志津コミュニティセンター」「志津図書館・分館」「西志津ふれあいセンター」「西部保健センター」「志津児童センター」「北志津児童センター」「志津北部地域包括支援センター」「志津南部地域包括支援センター」など、施設整備が推進され住民福祉の向上が図られている。

志津地区のデータ

【平成27年3月末現在】

○志津地区：面積	18.52 km ²	（佐倉市：面積	103.69 km ² ）		
○ 〃	：住基人口	77,024人	（ 〃	：住基人口	177,411人）
○ 〃	：人口密度	4,158人 / km ²	（ 〃	：人口密度	1,710人 / km ² ）

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用件数 (件)	4,281	4,262	4,311	4,558	4,785
利用人数 (人)	54,865	57,344	56,335	56,295	58,617
開館日数 (日)	333	333	333	333	333

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	お母さんと遊ぼう 「ぼっぼちゃんのお家へいこう」	2歳児と母親 30組	月2回(金) 全18回 5/30～12/12 34組68人	親子遊びを通して、子どもの成長を見守り、子どもと親が共に成長する「育自」を体験する講座。親同士の交流を図り、地域の中で、子育てを考える。
	笑顔で子育て応援講座	子どもと保護者 10組	親子でかわいい房総祭り寿司づくり体験 3/7:11組24人 親子で楽しい茶道体験 3/8:6組14人	子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。
青少年教育	子どもクッキング教室	小学生 各20人	前・後期2回計4回 6/15:15人 7/13:15人 11/9:19人 12/7:18人	地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。 6/15:ツルツル手打ちうどんを作ろう 7/13:日本食☆オムライスに挑戦! 11/9:秋の収穫に感謝をいただきましょう! すいとん、さつま芋ごはんとかむかむゼリー 12/7:Xmas サンドとしゅわしゅわゼリーで乾杯!
	子ども手作り工房	小学生 各20人	前・後期2回計4回 6/29:16人 7/20:20人 11/2:14人 12/14:14人	佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 6/29:オリジナルのうちわを作ろう 7/20:円盤鉄砲を作って遊ぼう 11/2:クリスマス飾りを作ろう 12/14:押し花でオリジナルしおりを作ろう
	子ども自然教室	小学生 各20人	前・後期2回計4回 5/31:26人 6/8:中止 10/11:7人 12/13:26人	自然体験学習や印旛沼等の自然環境を学び、環境意識を育む。 5/31:春の星座をみよう(木星・土星・火星) 6/8:里山の生き物を探そう(天候により中止) 10/11:落葉をみつけよう 12/13:秋の星座をみよう(ふたご座流星群)
	子ども理科実験教室	小学生 各20人	前・後期2回計4回 6/22:18人 7/27:23人 10/26:7人 11/9:15人	理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。 6/22:立体万華鏡を作って楽しもう 7/27:科学の力でアイスクリームを作ろう 10/26:電気パンを作ろう 11/9:電気自動車を作って遊ぼう
	ちょこボラ (公民館でちょこっとボランティア)	中学生 高校生	通年 中学生10人5日参加	青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。

成人教育	しづ学入門	成人 44人	第1・3(土)全19回 開講式・記念講演 5/24 講座 6/7～2/7 学習発表・閉講式 2/28	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に繋げる。
	地域健康学	成人 40人	第2・4(土)全19回 開講式・記念講演 5/24 講座 5/31～2/14 学習発表・閉講式 2/28	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、自らの生活を見直し、健康について学ぶことを通じて、地域の中で連帯を図る。
	くらしの情報学	成人 45人	第2・4(木)全19回 開講式・記念講演 5/24 講座 6/12～2/12 学習発表・閉講式 2/28	日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学び、安全で快適なくらしを送れる地域づくりを図る。
	おやじの食事学	成人男性 25人	第2・4(土)全19回 開講式・記念講演 5/24 講座 5/31～1/24 学習発表・閉講式 2/28	食生活の大切さや料理づくりの楽しさを体験しながら学び、仲間づくりと地域活動への参加を図る。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 30人	全4回 2/3: 24人 2/10: 23人 2/17: 21人 2/24: 19人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。
	佐倉・城下町400年 記念事業 「佐倉道を歩く」	成人 20人	全5回 10/21: 21人 10/28: 18人 11/11: 18人 11/18: 19人 11/25: 17人	かつて佐倉城主が参勤交代で通行した「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉や周辺地域の歴史について理解を深める。 10/21: 講義、志津公民館～臼井駅 10/28: 江戸川駅～京成西船駅 11/11: 京成西船駅～新京成習志野駅 11/18: 新京成習志野駅～志津駅 11/25: 臼井駅～佐倉城大手門跡
	佐倉学入門講座 「地産地消 佐倉コミュニティカフェを学ぼう」	成人 20人	全4回 10/22: 9人 10/29: 11人 11/ 5: 12人 11/26: 12人	地域の人が気軽に集まる場所であるコミュニティカフェ。「つどい、食べて、語る」をテーマに地域社会の再構築を考える。
	さくら学び塾 しあわせへの整理 収納～人とモノをつなぐ、子育て世代の整理収納	成人 16人	全3回 11/12: 14人 11/19: 14人 12/ 3: 11人	さくら学び塾(学びあい講座)として、市民公募による講師の企画に基づき開設する。モノと自分が向き合いライフスタイルを学び、快適な空間という整理収納効果を体験しながら、市民生活の向上にも役立てる。

団 体 育 成	第 41 回志津公民館祭	公民館利用サークル 約 120 団体	10/17～19 3 日間 計 118 団体参加 3,184 人来場	学習成果の発表や展示を通して、地域住民の交流と学習機会提供の場とする。志津公民館、西志津ふれあいセンターを会場にサークルによる実行委員会を組織し開催。
	定期利用サークル 運営研修会	公民館利用 サークルの代表者 約 120 名	4 月 16 日 114 団体 130 人参加	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め、地域活動につなげる。併せて避難訓練を実施。
	調理室利用サークル 懇談会	調理室利用サークル	6/18 21 団体 38 人参加	調理室の効果的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を考え、懇談を通してサークル間の交流を図る。併せて清掃作業を実施。
	市子連事務	志津地区加盟 子ども会	通年	子ども会育成連盟をはじめ各種事業の広報と子ども会安全共催会加入事務を行う。
	志津ジュニア・ リーダーズ・クラブ (志津 J L C) 支援	1 団体	通年 共催事業・クリスマス会 11/30 : 115 人	志津 J L C が行う各種事業への援助を通じて、J L の養成を図る。子ども会等の交流を図る機会を設け、J L が活動する場とする。
	志津地区社会教育 関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援する。
	相談・カウンセリング 等の支援事業	該当団体	通年	相談・カウンセリング活動を行う団体に会場を提供し、住民の問題解決の場となるよう支援する。
	公民館園芸ボラン ティア団体への支 援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広 報 活 動	公民館だより 「しづ」の発行	志津地区各戸 配布 市内主要施設 配布	5/1・10/1・1/15 各 25,000 部発行済	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。
図 書 事 業	図書資料やビデオ などの貸出等	小学生～成人	通年	図書や視聴覚資料の貸出・返却業務を行い、公民館利用者の学習・研究活動への啓発ならびに促進を図る。

1. 家庭教育事業

お母さんと遊ぼう「ぽっぽちゃんのお家へいこう」

- ① 開設趣旨 「元気で良い子に育ててほしい」という願いは、どの親も共通した願いである。2歳児は、自我が目覚める年齢。子どもの目線に立って一緒に考えてあげましょう。小さなことも、できたら、十分抱きしめて、ほめてあげましょう。この講座は、子どもの成長を見守り、子と親が共に成長する「育自」を体験する母親のための講座である。

親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育て、親同士の交流をはか

り、地域の中で子育てを考える。

② 募集対象・募集人数 2歳児と母親30組

③ 学習目標

1. 幼児の自主性と豊かな心を育む。
2. 母親が「育児は育自」であることを体験し、今後の子育てに活かせるようにする。
3. 参加者の交流を深め、子育ての喜びや悩みを共有する地域の仲間づくりを図る。

④ プログラム

	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月30日 (金)	地域で助け合い育児 開講式・笑顔で記念写真	お母さんのひざでキャキャの笑い声 いっぱい 虫歯を予防するには	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
2	6月6日 (金)	自然体験 さつまいも大好き	畑に行ってサクサク！ 汚れてもイイね 家族と一緒にさつまいもの苗植え	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川 ヨシエ
3	6月13日 (金)	グループで仲良くおにぎり 持ち持って遠足に行こう	コアラのモノレールに乗ってガタゴ トお散歩	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
4	6月27日 (金)	工夫して遊ぼう 手作りおもちゃで遊ぼう	グループ遊びの発表しましょ 牛乳パックでおもちゃ作り	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
5	7月4日 (金)	七夕飾りでキラキラ お星様がいっぱい	笹の葉サラサラ・七夕の飾りで夜空 を飾ろう	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
6	7月11日 (金)	おやこで造形あそび	手形粘土で思い出の作品づくり	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
7	7月25日 (金)	絵本の読み聞かせ ペープサート	絵本の読み聞かせ・わらべうたを大 切に	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
8	9月5日 (金)	リズムで遊ぼう 子どもを守るといふこと	親子でふれあい 親子で楽しく表現あそび	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
9	9月14日 (日)	お父さんと一緒にヨガ	お父さんヨガでリフレッシュ呼吸 法	川村 淳司 (ヨガインストラクター)
10	10月3日 (金)	伝承遊び、楽しいな ヨガ・祭寿司試食会	呼吸法ヨガでお母さんストレス解 消 体験遊びがいっぱい	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 岡本 美鈴 食生活改善推進員
11	10月10日 (金)	野外で遊ぼう	上座総合公園でおもいきりかけっ こ	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
12	10月24日 (金)	遠足に行こう 秋を探そう	草ぶえの丘でペタンペタン餅つ き体験	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
13	10月31日 (金)	自然体験 さつまいもを収穫しよう	畑に行こう！「大きくなったかな」 自分で植えたさつまいもの収穫祭	蓮 淳子 (幼児教育研究家) 石川 ヨシエ
14	11月7日 (金)	食生活改善推進と習慣 手作り野菜おやつ試食	幼児期の栄養とバランスを考えて 楽しい簡単野菜おやつを食べよう	蓮 淳子 (幼児教育研究家)

15	11月15日 (土)	お父さんと遊ぼう	ウルトラマンお父さんとパワフルに	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
16	11月21日 (金)	ごっこ遊びで楽しく	体験遊びがいっぱい昔の遊びとグループ発表の準備	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
17	12月5日 (金)	クリスマス飾りと 伝承遊び	昔の遊びとグループ発表の準備	蓮 淳子 (幼児教育研究家)
18	12月12日 (金)	クリスマスお楽しみ会 閉講式	グループ発表と地域みんなで子育てしよう 一品持ち寄りパーティー	蓮 淳子 (幼児教育研究家)

⑤ 講座を終えて

家庭教育事業として、2歳児とそのお母さんを対象に、親子遊びを通して親子のふれあいを図り、子育てに日々頑張っているお母さんの情報交換と地域の仲間づくりの場となることを目指して、本講座を実施した。

基本的に親子や参加者同士の交流を図るため、講座の前半にはリズムに合わせた手遊び、体操、わらべ歌等を取り入れた。また、受講生同士が交流と情報交換の場としての話し合いの機会を定期的に実施した。

講座については、例年実施している野外活動（さつまいもの苗植え・収穫、佐倉草ぶえの丘遠足）、季節の行事や工作（手形粘土・おもちゃ・七夕飾り・クリスマス飾り作り）や、昨年度に好評であったボランティアさんによる手作りの祭り寿司の試食、お母さんとヨーガとお父さんのヨーガを継続して実施した。

講座終了後のアンケートでは、講座を受講して満足、目的が達成されているとの肯定的な回答が多く、「いろいろな体験かできて良かった」「普段、あまり時間をつくって子供とふれ合っていないので、せめてこの時間は子供と向き合えるので楽しかった。」などの感想が寄せられ、親子遊びを通じた親子のふれあいについては、概ね目的が達成できたといえる。しかしその一方で、「人数が多すぎる」「内容を詰め込みすぎ」といった感想をもつ参加者も見受けられた。また、設備についての意見もあり、より快適な学習環境と親同士が話し合う場や親同士の交流を深められるような工夫が必要であると感じた。

笑顔で子育て応援講座 (1)「親子で房総祭り寿司づくり体験」(2)「親子で楽しい茶道体験」

① 開設趣旨 親子を対象に、子どもが健全に育つための、家庭教育講座。日本古来の文化や地域伝承を体験することにより、親子のふれあいを図り、日本文化を伝承する。

② 募集対象・募集人数 (1) (2) 子どもとその保護者 各10組

③ 学習目標 親子を対象に、子どもが健全に育つための、家庭教育講座とする。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	指 導 者	参加者数
1	3月7日(土)	郷土料理である房総祭り寿司づくりを体験することにより、親子のふれあいを図り、文化を伝承する。(オリバーくんと桃の花の祭り寿司に挑戦)	小林 由喜子 (栄養士)	24人 (11組)
2	3月8日(日)	親子で茶道を体験することで、親子のコミュニケーションを図る。	小林 由喜子 (日本文化研究家)	14人 (6組)

⑤ 講座を終えて

地域の伝統や文化を継承するため、郷土料理である房総祭り寿司づくり体験及び茶道の体験講座を、親子対象で実施した。笑顔で子育て応援講座は、働く親の参加を可能とするため、土曜日・日曜日に実施した。自宅に帰っても、作法を思い出し、親子で教え合い、家庭や地域で話題になって欲しいと願う。

親子で房総祭り寿司づくり体験をした子どもたちの感想は、「作るところが楽しかった。」「まきずしを手で持って作ることが勉強になった。」「接着剤の代わりにご飯をつけてとめることが勉強になった。」ま

た、親御さんの感想は、「創作（キャラ作り？）に苦手意識がありましたが、今日実際に作ってみて、思った以上に楽しかったのでまたチャレンジしたいと思いました。」「たくさんの工程に一人では手が出せないうでいましたが、皆さんと一緒に作ると時間を忘れて、楽しく作ることができました。」「切って、絵が出てきたときの感動はとても大きいのでまた作りたいです。」「子どもと一緒に一つのものを作る楽しさを知りました。」とたくさんのご意見をいただいた。親子で房総祭り寿司づくり体験は、今年度初めて実施した内容だったが、創作料理に難しさを持っていた親御さんも子どもと一緒に作ることとみんなで作る楽しさのできる喜びを味わっていた。

また、親子で楽しい茶道体験をした子どもたちの感想は、「おじぎの仕方を知る事ができました。」「立ち方、すわり方、歩き方、礼のしかたがわかった。」「和室への入り方や出方がわかった。」「正座からの立ち方、すわり方が勉強になった。」また、親御さんの感想は、「部屋に入るところ、おじぎをするところ、全てに作法があるという茶道の奥深さを少しだけですが知る事ができました。」「おもてなしをする側とされる側の心のもち方を学べて良かった。」「立ち方、座り方、歩き方など…これから意識してやってみようと思いました。」「久しぶりに緊張感を味わったこと。」「おじぎの仕方や立ちふるまい等に気をつけたいと思いました。」そして、父親の参加も2人あった。「お茶がおいしかった。」というご意見もあり、日頃からお茶に親しみ、おもてなしの心とおじぎの仕方など日本の文化を親子で伝承して欲しい。熱心に講師の話を聞く親子の姿が印象的であり、学習意欲が感じられた。昨年度の主催事業から発足した自主サークルの「好茶会」の親子（父母小学生2人）の4人が講座の応援にきていただいた。講座終了後、引き続きサークルで活動をしたいと希望する親子が1組、「好茶会」に入会した。

来年度も、子育てを応援する講座として、親子体験講座を実施し、家族団らんの場で話題となり、親子のふれあいを図るような講座を実施していきたい。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 「子どもクッキング教室」

- ① 開設趣旨 地域住民の協力のもと、季節に合わせた料理作りを通じて、自分の手で作る喜びを学び、食への関心を高める。
- ② 募集対象・募集人数 小学生各20人
- ③ 学習目標
 1. 自分たちの手で料理を作り、料理の楽しさと大切さを実感してもらう。
 2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
 3. 地元の素材を取り入れ、地域への関心を高める。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月15日(日)	ツルツル手打ちうどんを作ろう	うどんを小麦粉から作ることで、手作りの喜びを味わう	おやじの食事学同好会
2	7月13日(日)	日本食☆オムライスに挑戦!	子どもの好きな簡単オムライスづくり	おやじの食事学同好会
3	11月9日(日)	秋の収穫に感謝をいただきます!	すいとん、さつまいもごはんとかむかむゼリーづくり	食生活改善推進員
4	12月7日(日)	Xmasサンドとしゅわしゅわゼリーで乾杯!	クリスマスに家族みんなで作り、食べるパーティ用手作り料理をつくる	食生活改善推進員

⑤ 講座を終えて

子どもたちが地域の公民館で身近にいるおじさんおばさんに手作りの料理を教えてもらい、子どもたちが家庭で作って食べるメニューを考えた。講師は、地域で福祉ボランティアをしているおやじの食事

学同好会の皆さんと食生活改善推進員（健康増進課）の皆さんに手づくりの楽しさと食育の大切を子どもたちに教えていただくように依頼し、食育に関しては、クイズ形式で楽しく学習した。

参加者の構成を固定せずに、実施したため、高学年は、低学年の面倒をみる縦の関係を図ることができた。

子どもたちの参加動機は、「みんなで協力して作りたかった。」「料理を続けてもっと上手になりたいから。」など。実際参加しての感想は、「公民館で作った料理は、家で作ってみたいと思います。」「みんなで協力して料理を作り、楽しかった。」等、家で作りたいと意欲が感じられた。他の学校の子どもたちみんなで協力し、自分で作って、食べることが楽しいと感じた感想が多かった。また、「新しい友達ができた。」等、積極性がみられ、志津地区の小学校を超えての世代間交流が図ることができた。

佐倉っ子塾 「子ども手づくり工房」

- ① 開設趣旨 佐倉の地域素材を織り交ぜながらの体験や学習を通して、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。
- ② 募集対象・募集人数 小学生各20人
- ③ 学習目標 1. 手工芸を通じて子どもたちの「創意工夫」の心を養う。
2. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	6月29日(日)	オリジナルのうちわを作ろう	白紙のうちわに和紙を貼り自分だけのオリジナルのうちわを作る	スケッチブック
2	7月20日(日)	円盤鉄砲を作って遊ぼう	割りばし等の部品を組み立て、円形の弾に好きな模様を描き鉄砲を作る	佐倉っ子工芸クラブ
3	11月2日(日)	クリスマス飾りを作って遊ぼう	木の台座に松ぼっくりや木の枝等でクリスマス飾りを作る	佐倉っ子工芸クラブ
4	12月14日(日)	押し花でオリジナルしおりを作ろう	館内で自分で採取したお花を乾燥機で乾燥させオリジナルのしおりを作る	押し花サークル

⑤ 講座を終えて

子どもたちに身近な地域の人たちとのふれあいを通して、手工芸に触れ、手づくりの良さを知り、作る楽しさを体験してもらうため、地域の人から学ぶ体験学習講座として、志津公民館等で活動しているスケッチブック、佐倉っ子工芸クラブ、押し花サークルを講師として迎え、年間を通して「オリジナルのうちわを作ろう」「円盤鉄砲を作って遊ぼう」「クリスマス飾りを作って遊ぼう」「押し花でオリジナルしおりを作ろう」の4講座を実施した。各講座とも講師が用意した材料等を自分で考え創意工夫することにより短時間で自分だけのオリジナルの作品を完成させる子供たちの対応力の高さに講師の皆さんも感心していた。参加した子供たちの感想としては、「和紙を色々な形に切り貼るところ」「自分でデザインし飾り付けをしたこと」が楽しかったといったもので、それぞれが創意工夫し楽しくオリジナルの作品を作ることができた。

来年度以降も、子どもたちに手づくりすることの楽しさを体験してもらい、地域の人たちや学年や学校を超えての交流を推進していきたい。

佐倉っ子塾 「子ども自然教室」

- ① 開設趣旨 地域の自然にふれ、子どもたちに自然を舞台に新しい発見を体験する機会を提供し、自然の中で遊ぶことの素晴らしさ、楽しさを実感することで青少年の健全性を育む。
- ② 募集対象・募集人数 小学生各20人
- ③ 学習目標 1. 地域の自然とふれあうことで、子どもたちの自然への関心を高める。
2. 外で遊ぶことの楽しさを実感してもらい、青少年の健全育成を図る。
3. 地域の大人たちを講師に迎え、世代間交流を図る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	5月31日(土)	春の星座をみよう 木星・土星・火星	天体望遠鏡で星座観察を体験 西志津多目的広場	染井野星の会
2	6月8日(日)	里山の生き物を探そう	里山に生息する生物や、草花の観察を体験 佐倉西部自然公園(畔田谷津)	天候不順のため中止
3	10月11日(土)	落ち葉をみつけよう 落ち葉さがし、たたきぞめ	落ち葉やどんぐりを使い自然 の中での遊びを体験 南志津公園	志津JLC
4	12月13日(土)	秋の星座をみよう ふたご座流星群	天体望遠鏡で星座観察を体験 志津コミュニティセンター	染井野星の会

⑤ 講座を終えて

「春の星座をみよう 木星・土星・火星」では、天体望遠鏡で木星・土星・火星を実際に観察し、春の星座を実際に観察することができ、初めて見た子どもたちは感動していた。住宅地でも天体観測できたことで自然科学についてより関心を高めることができた。「里山の生き物を探そう」では、身近なところにある里山を散策し、生物、草花を直接手に取って観察の予定だったが、天候不順のため中止となった。「落ち葉をみつけよう」では、落ち葉やどんぐり等の自然の素材を使い、遊ぶことを体験した。自然の素材を使った叩き染めで植物を生活に活用できることを身近に学ぶことが出来た。「秋の星座をみよう ふたご座流星群」は、肉眼による星座と流星の観察を行った。雲の多い天候ながらも流星を実際に見れて、講師の方による屋外での天体観測は、自然科学に対して、子どもたちに新たな興味と関心を高めることができた。

自然教室は、里山や林の中等の屋外での開催であるため、子どもたちは、元気よく動き回っている。講師の方々には、子どもの安全面に関して十分にご配慮をいただいております、無事に開催することができました。

今後も志津地区にある自然を紹介し、自然と触れ合える機会を提供していきたい。そして、自然の中で遊ぶことの少なくなった子どもたちに自然の中で遊ぶことの楽しさ、自然の大切さを伝えていきたい。

佐倉っ子塾 「子ども理科実験教室」

- ① 開設趣旨 理科実験等、体験学習を通して子どもの研究心や想像力を育む。
- ② 募集対象・募集人数 志津地区在住の小学生各20人
- ③ 学習目標 1. 身近な素材を活かし、子どもたちに「不思議な世界」への挑戦を体験してもらう。
2. 科学・理科の楽しさを伝え「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を実感することで、自主性と健全育成を図る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師

1	6月22日(日)	立体万華鏡を作って楽しもう	光のふしぎ（屈折・色・エネルギーなど）を学び、万華鏡を作ってふしぎを体験	自然科学の会
2	7月27日(日)	科学の力でアイスクリームを作ろう	熱が奪われて温度が下がる現象を学び、アイスクリーム作りで体験	西志津おやじの会
3	10月26日(日)	電気パンを作ろう	電気の原子は、プラスとマイナスであり、電流を流すことで摩擦熱をそれぞれから出し、パンを作ることができる事の体験学習	西志津おやじの会
4	11月9日(日)	電気自動車を作って遊ぼう	くだもの電池を作って実験・模型自動車を作って走らせて遊び体験	自然科学の会

⑤ 講座を終えて

この講座は『佐倉っ子塾』講座の一つとして、今年度は小学生を対象に理科系の体験学習の場を提供した。「立体万華鏡を作って楽しもう」では、光の反射について学び、自分だけのオリジナル万華鏡を作り、作ることの楽しさを実感できた。「科学の力でアイスクリームを作ろう」では、熱が奪われて温度が下がる現象を学び、氷に塩を加えて作ったアイスクリームと塩を加えないで作ったアイスクリームを比較して実験し、試食をした。「電気パンを作ろう」では、ホットケーキミックスや小麦粉を使用し、熱を通すものと通さないものについて電流を流して実験した。電流を流すため、安全面に注意を払いながら行った。「電気自動車を作って遊ぼう」では、くだものを使って発電して不思議を体験し、模型自動車を製作し電気のメカニズムを学んだ。

佐倉っ子塾 「中高ちょこボラ」中学生・高校生のための公民館職場体験学習

- ① 開設趣旨 中学生・高校生を対象に志津公民館でちょこっとボランティアをする職場体験学習講座
- ② 募集対象・募集人数 中学生・高校生
- ③ 学習目標 青少年が職場体験学習をすることで、地域の人とのふれあいや公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを目的とする。
- ④ プログラム等

「公民館職場体験」公民館でお仕事

「公民館事業企画」公民館の主催事業の企画

「公民館主催事業お助け隊」公民館の主催事業のチラシ作成や主催事業の受付など

回	月日(曜日)	ボランティア内容	会場	参加者数
1	5月31日(土)	志津子ども教室子ども自然教室「春の星座をみよう」受付業務	西志津多目的広場	中学生1人
2	8月6日(水) 8月8日(金) (夏休み中)	公民館窓口用務 調理室の皿の棚卸 公民館外回りの花壇の手入れ	志津公民館 事務室・調理室・	中学生7人
3	11月30日(日)	ジュニアリーダーズクラブクリスマス会スタッフボランティア (志津公民館共催事業)	志津公民館	中学生1人

4	12月7日(日)	志津子ども教室子どもクッキング 「Xmasサンドとしゅわしゅわゼリーで 乾杯」受付業務・小学生へ料理補助	志津公民館調理室	中学生1人
---	----------	--	----------	-------

⑤ 講座を終えて

中学生・高校生のための職場体験講座「ちょこボラ」の企画は、志津公民館で毎年度、学校からの依頼により、井野小学校6年生と志津中学校2年生の職場体験を実施しているが、志津地区の中学生や高校生に職場体験の講座を拡大し、平成24年度から実施した。

背景に都市化や少子化等の進展に伴って、子どもたちの社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下などが指摘されているが、中学生や高校生のための社会体験講座としての事業実施とした。

中学生のボランティアの参加は、志津子ども教室で小学生のための主催事業である志津子ども教室子ども自然教室「春の星座をみよう」受付業務のボランティアの体験学習となった。

夏休み中には、志津公民館窓口業務や調理室の皿の棚卸、公民館外回りの花壇の手入れなど公民館職員参加した中学生の感想は、「部活動が忙しかったけれど、夏休みに友達を誘っての参加だった。公民館の仕事は、大変だと感じたが、直接、住民と接し、やりがいのある仕事だと思う」等で、事務室の受付業務等を積極的に関わってくれた。今後、中学生が学校教育の現場だけでなく、地域の中の公民館の職場体験の経験を生かし、ボランティア精神が醸成され、学務や社会の一員としての自覚を持っていくように願う。

また、千葉県立佐倉西高等学校へのチラシを配布したが、高校生の参加が無く、残念だった。

3. 成人教育事業

しづ市民大学 (第25期)

① 開設趣旨

志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。

そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取込み『しづ市民大学』を展開する。

(1) 自主的な学習活動の促進

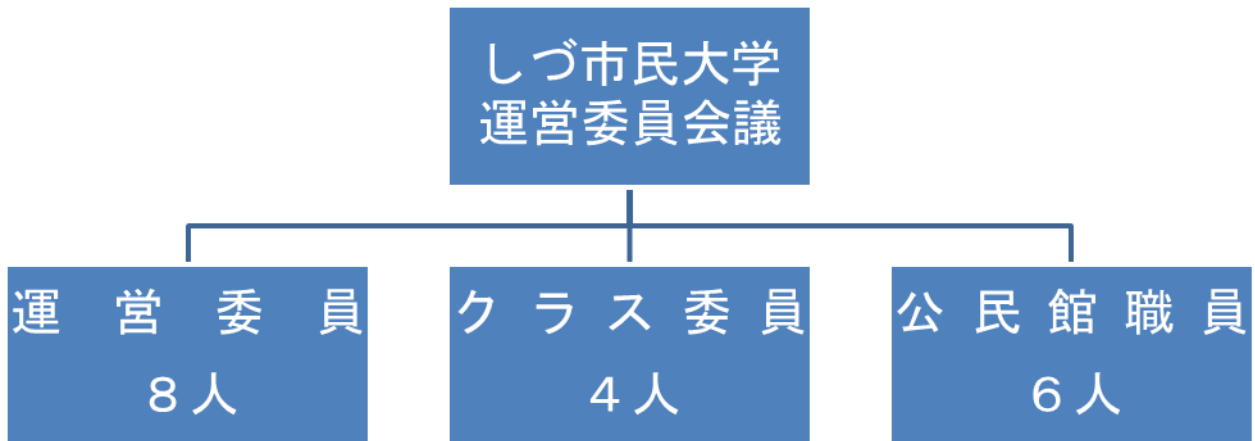
(個人的な参加型の学習から地域への展開)

(2) 生涯学習を進めるまちづくり

(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【 しづ市民大学運営関係図 】



② 募集対象、募集人員

・しづ学入門	成人	44人
・地域健康学	成人	40人
・くらしの情報学	成人	45人
・おやじの食事学	成人男性	25人

③ 学習目標

- ・ **しづ学入門** 地元の志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習する場を提供し、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活地域の実現に寄与する。
- ・ **地域健康学** 地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学を通じて地域の連帯を図り、この成果を生かした「まちづくり」に貢献することをめざす。
- ・ **くらしの情報学** 日々のくらしに役立つ様々な情報や地域情報を学習する。溢れる情報の中から有用なものを選択し、得た情報を個人あるいは仲間たちと共に活用することにより、安全で快適な生活の在り方を模索する。
- ・ **おやじの食事学** 男性を対象とした講座で、食の大切さや和食を基礎とした食事づくりの楽しさを体験しながら、地域の中で仲間づくりをめざし、地域で活動するきっかけをつくる。

④ プログラム

しづ市民大学 「 しづ学入門 」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「暦に見る日本人の情感、暦から学ぶ先人の知恵」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	女子美術大学名誉教授 岡田 芳朗
2	6月7日(土) 9:30~15:00	公民館が目指す地域学 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会教育指導員 内田 儀久
3	6月21日(土) 9:30~14:00	城下町佐倉の歴史散策 【佐倉地区 史跡散策】	NPO「佐倉一里塚」 ガイドボランティア
4	7月5日(土) 9:30~12:00	志津地域の史跡と名所 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 宮武 孝吉
5	7月19日(土) 9:30~12:00	歴史民俗博物館で学ぶ 【国立歴史民俗博物館 見学】	歴博セミナーの会 永見 一
6	8月2日(土) 9:30~12:00	佐倉道を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 村田 一男
7	8月23日(土) 10:00~12:00	佐倉・400年記念リレー講座 合同講演会 佐倉惣五郎 【志津コミュニティセンター大ホール】	佐倉市民カレッジ講師 鏑木 行廣
8	9月6日(土) 9:30~12:30	志津の歴史散策 ① =史跡・古道散策など= 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 宮武 孝吉
9	9月20日(土) 8:45~16:00	佐倉ゆかりの偉人 =佐藤志津を学ぶ= 【女子美術大学見学】	女子美術大学 学芸員
10	10月4日(土) 9:30~12:00	井野長割遺跡を学ぶ 【志津公民館 大集会室】	佐倉市教育委員会 文化課職員
11	10月18日(土) 9:30~13:30	第41回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会	クラス委員・運営委員
12	11月1日(土) 9:30~12:30	志津の歴史散策 ② =史跡・古道散策など= 【志津地区 史跡散策】	郷土史研究家 高橋 三千男
13	11月8日(土) 13:00~15:30	印旛沼の変遷 =湖沼の生態系= 【志津公民館 大集会室】	内水面水産研究所 主任上席研究員 平田 淳一
14	11月29日(土) 9:30~12:00	志津地域の地名 【志津公民館 大集会室】	佐倉地名研究会 田中 征志
15	12月6日(土) 9:30~12:00	印旛沼と野鳥と里山 【志津公民館 大集会室】	日本野鳥の会 浅野 俊雄
16	12月20日(土) 9:30~12:00	文学にみる佐倉連隊 =旅順・レイテの戦い= 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会教育指導員 内田 儀久
17	1月17日(土) 9:30~12:00	民俗行事を学ぶ =井野の辻切りなど= 【志津公民館 大集会室】	郷土史研究家 高橋三千男 志津郷土歴史同好会 高山守
18	2月7日(土) 9:30~12:00	発表会に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2月28日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「地域健康学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「暦に見る日本人の情感、暦から学ぶ先人の知恵」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	女子美術大学 名誉教授 岡田 芳朗
2	5月31日(土) 9:30~15:00	お元気ですか？地域から健康笑顔を発信 口腔衛生 【志津公民館 大集会室】	佐倉市保健師・歯科衛生士
3	6月14日(土) 9:30~12:00	軽スポーツでリフレッシュ 【志津コミュニティセンター 大ホール】	元体育指導委員 六崎 美知代
4	6月28日(土) 9:30~15:00	栄養学から健康愛情料理～我が家の食事情の検証 【志津公民館 大集会室】	栄養士 小林 由喜子
5	7月5日(土) 9:30~13:00	地元食材・季節の手作り料理－実習編－ 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
6	7月26日(土) 9:30~12:00	放射線からみた骨粗鬆症・腰痛体操 【志津公民館 大集会室】	セントマーガレット病院 放射線科技師 本郷 公一 リハビリテーション科理学療法士 堀田 衣理子
7	8月23日(土) 10:00~12:00	佐倉・400年記念リレー講座 合同講演会 佐倉惣五郎【志津コミュニティセンター 大ホール】	佐倉市民カレッジ講師 鏑木 行廣
8	9月13日(土) 9:30~12:00	健康太極拳で柔軟性を高め、筋肉を鍛える 【志津公民館 大集会室】	日本武術太極拳連盟公認 指導員 中城 明
9	9月27日(土) 9:30~12:00	家庭の薬学と地域介護～薬と食べ物の関係～ 【志津公民館 大集会室】	印旛郡市薬剤師会 理事 伊藤 克洋
10	10月11日(土) 9:30~12:00	笑いっぱい タオル健康体操 【志津公民館 大集会室】	健康をつくろう会 会長 廣吉 勝子
11	10月18日(土) 9:30~13:30	第41回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会	クラス委員・運営委員
12	10月25日(土) 9:30~12:00	森林浴で健康骨太に～安全に楽しく歩いて～ 【志津公民館 大集会室】	ボーイスカウト連盟公認 指導員 本部 三枝子
13	11月8日(土) 9:30~12:30	生活習慣病とウォーキング～元気に歩いて 【志津公民館 大集会室】	NPO千葉県ウォーキング協会
14	11月22日(土) 9:30~12:00	地域サークルとボランティア 【志津公民館 大集会室】	手話ダンスロード
15	12月13日(土) 9:30~12:00	呼吸法ヨガで自分を見つめ、自己管理 【志津公民館 大集会室】	フリーダイバー 日本一 岡本 美鈴
16	1月10日(土) 9:30~12:00	脳科学・脳のしくみと働き 【志津公民館 大集会室】	千葉大学医学部附属病院 脳神経外科診療講師 樋口 佳則
17	1月24日(土) 9:30~15:00	子どもたちの未来を考えて 【志津公民館 大集会室】	佐倉こどもかるた子都手留会 さくらっ古
18	2月14日(土) 9:30~12:00	発表会に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2月28日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「くらしの情報学」 コース

回	日 時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「曆に見る日本人の情感、曆から学ぶ先人の知恵」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	女子美術大学 名誉教授 岡田 芳朗
2	6月12日(木) 9:30~12:00	地域の活動に参加しよう 【志津公民館 大集会室】	佐倉市社会福祉協議会ボランティアセンター 主任福祉活動専門員山岡恵子
3	6月26日(木) 8:30~17:00	社会見学会 (バス見学会) 【つくばエキスポセンター 他】	クラス委員・運営委員
4	7月10日(木) 9:30~15:00	ニュースの読み方 【志津公民館 大集会室】	元毎日新聞社論説委員長 清水 幹夫
5	7月24日(木) 9:30~12:00	佐倉市の商業活性化について 【志津公民館 大集会室】	佐倉商工会議所 事務局長 高橋 義和
6	8月23日(土) 10:00~12:00	佐倉・城下町400年リレー講座 合同講演会 佐倉惣五郎【志津コミュニティセンター 大ホール】	佐倉市民カレッジ講師 鏑木 行廣
7	8月28日(木) 9:30~12:00	悪質商法撃退法 【志津公民館 大集会室】	佐倉市消費生活センター 消費生活専門相談員 山下 聡子
8	9月11日(木) 9:30~12:00	エコライフを送ろう 【志津公民館 大集会室】	元(財)電力中央研究所理事待遇 工学博士 中 岡 章
9	9月25日(木) 9:30~12:00	佐倉市企業の取組み～佐倉茶物語～ 【志津公民館 大集会室】	株小川園 代表取締役社長 小川 勝寛
10	10月9日(木) 9:30~12:00	高齢社会と人権 【志津公民館 大集会室】	(社)千葉県人権センター 常務理事 鎌田 行平
11	10月18日(土) 9:30~13:30	第41回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会	クラス委員・運営委員
12	11月13日(木) 9:30~12:00	話し合い学習 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
13	11月27日(木) 9:30~12:00	認知症サポーターになろう！ 【志津公民館 大集会室】	志津北部地域包括支援センター
14	12月11日(木) 9:30~12:00	遺言と相続～備えあれば…!?～ 【志津公民館 大集会室】	千葉県金融広報委員会金融 広報アドバイザー 齋藤喜代美
15	12月25日(木) 9:30~12:00	交通・生活安全の知識と啓発 【志津公民館 大集会室】	佐倉警察署 交通課・生活安全課
16	1月15日(木) 9:30~12:00	災害に備えて 【志津公民館 大集会室】	佐倉市役所防災防犯課
17	1月29日(木) 9:30~12:00	話し合い学習 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
18	2月12日(木) 9:30~12:00	発表会に向けて 【志津公民館 大集会室】	クラス委員・運営委員
19	2月28日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

しづ市民大学 「 おやじの食事学 」 コース

回	日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30~12:00	開講式・記念講演会 「暦に見る日本人の情感、暦から学ぶ先人の知恵」 【志津コミュニティセンター 大ホール】	女子美術大学名誉教授 岡田 芳朗
2	5月31日(土) 9:30~15:00	食生活を見直し、はじめの一步、野菜の切り方覚えよう(講義・実習・話し合い) 【志津公民館 調理室 中集会室】	栄養士 六崎 美知代
3	6月14日(土) 9:30~15:00	肉じゃがで学ぶ料理の基礎(実習・話し合い) 【志津公民館 調理室 中集会室】	栄養士 小林 由喜子
4	6月28日(土) 9:30~15:00	簡単! 栄養バランス良いメニュー(実習・話し合い) 【志津公民館 調理室 中集会室】	料理研究家 安部井 幸江
5	7月12日(土) 9:30~13:30	本格派ダシで、おいしい和食を(実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
6	7月26日(土) 10:00~13:30	先輩おやじの手打ちうどんは、逸品(実習) 【志津公民館 調理室】	おやじの食事学同好会
7	8月23日(土) 10:00~12:00	佐倉・400年記念リレー講座 合同講演会 佐倉惣五郎 【志津コミュニティセンター大ホール】	佐倉市民カレッジ講師 鏑木 行廣
8	9月13日(土) 9:30~13:30	栄養学から考える健康メニュー(講義・実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 六崎 美知代
9	9月27日(土) 13:30~15:40	簡単に作れる健康和洋折衷料理(実習) 【志津公民館 調理室】	栄養士 小林 由喜子
10	10月11日(土) 9:30~13:30	おやじ特製、飛ぶオムライス(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
11	10月18日(土) 9:30~13:30	第41回 志津公民館祭 しづ市民大学 ウォークラリー大会	クラス委員・運営委員
12	10月25日(土) 9:30~13:30	鯖をさばいてみよう!(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 佐久間 由則
13	11月8日(土) 9:30~13:30	中華料理はいろいろチャーハンに決めた!(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
14	11月22日(土) 9:30~13:30	こだわりの高級洋食に挑戦(実習) 【志津公民館 調理室】	調理師 矢口 孝
15	12月13日(土) 9:30~13:30	みんなで考えるリクエスト料理(実習) 【志津公民館 調理室】	フードコーディネーター 加藤 富美子
16	12月20日(土) 9:30~13:30	手作りメニューを考えよう(話し合い・実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
17	1月10日(土) 9:30~13:30	発表会に向けて(話し合い) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
18	1月24日(土) 9:30~13:30	講師を囲んで腕前披露会(実習) 【志津公民館 調理室】	クラス委員・運営委員
19	2月28日(土) 9:30~14:30	コース別学習発表会・閉講式 【志津コミュニティセンター 大ホール】	クラス委員・運営委員

⑤ 講座を終えて

「しづ学入門」

しづ学入門では、郷土の歴史や文化について学習することを柱として、講話を中心に史跡散策・見学会と記念講演会・合同講演会の全19回による学習を実施した。受講を重ねる中で郷土愛と多くの仲間の輪を向上することで、事業の視点にある「自主的な学習活動の促進」「生涯学習を進めるまちづくり」において一つの成果を上げることができた。

今年度は、佐倉市と女子美術大学が歴史的に深いつながりがあることから、「佐倉ゆかりの偉人＝佐藤志津を学ぶ＝」をテーマに、女子美術大学へ行き、施設の見学や佐藤志津と女子美術大学の歴史についての講義を初めて実施した。普段見学することのない施設ということもあり、見学中は、受講生同士感想を言い合うなどして、交流につながった。また、受講中はメモを取るなどして、真剣に聞いていた様子であった。

受講生のアンケートでは、「佐倉地区だけでなく、志津地区にも素晴らしい歴史、行事等があることを知りました。」「現地に行くことの重要性を学んだ。」「これを契機に地域の再発見に努め、地域の支え手になるよう手段を模索したい」「今後もクラスの皆様と交流を続けていきたい。」等、満足した意見が多かった。

一方では、希望したいカリキュラムとして、「志津の自然」、「志津の近代史」、「散策を増やしてほしい」等、受講者の学習ニーズが多様なため、今後は、身近な地域の課題や生涯学習の視点に考慮した、幅広い学習テーマでプログラム等を検討していきたい。

「地域健康学」

地域健康では、地域の一人ひとりが自らの生活を見直し、心身ともに豊かで充実した人生を送るために、健康学（タオル健康体操やウォーキング等の軽い運動、栄養学や医学的な学習の講義や実技）を通じて地域の連帯を図り、個人から、地域の人へ学習成果を伝えていただくことを目的に実施した。

今年度も、参加者のより充実した交流を図るために、初回と終盤の2回、午後1時から午後3時までの2時間を新たにホームルームの時間として設定した。また、受講生それぞれが、成果を生かして地域で貢献されることを期待して、昨年度に続いて「地域サークルとボランティア」「子どもたちの未来を考えて」のテーマを取り入れた。

その結果、当初から委員長及び班長を決定し、ホームルームについても、各班が順番に受け持つなど、委員長を中心として積極的な交流が図られた。

受講生の感想では、「貴重な講義で以前よりも健康に関心を持つことができるようになった。」「健康学を自分なりに取り入れて挑戦して頑張っていきます。」「今回知り得たことを友人等にも話し、しづ市民大学の良さを伝えていきたい。」など、自己の生活を見直し、地域連帯の意識や地域愛着へ向上が見られる感想が多くあった。

今後、しづ市民大学での出会いや学び合いを契機として、誰もが健康で明るい生活を送り、地域の中で支え合う社会へと繋がっていくことを願う。

「くらしの情報学」

くらしの情報学の開設趣旨は、生活に密着した情報や取組みに加え、心豊かな生活を過ごすための知識を学び、その学んだ知識を地域の人達と共に活用し、安全で快適な地域づくりを目指すことを目的として実施した。地域活性化、時事問題、エコ、相続から防災まで、日々のくらしに密着した幅広い分野に亘る講座を開設した。それぞれのテーマについて、受講生からは、「漠然としていた知識が、専門家の講義を受講したことで、整理ができた」、「新たな知識を得ることができた」、「学んだことをすぐ実行していきたい」等、これからの生活に積極的に取り入れていきたいという感想を多くいただいた。特に受講生の関心が高かったのは、認知症や相続等自分の身にこれから起こるであろう事柄であった。

また、新しい仲間ができたという声を頂いている一方、受講生どうしの交流が十分にできなかったという意見もいただいた。くらしの情報学での講義は座学が多くなっている。今年度は話し合い学習を1コマ増やし、前半1コマ、後半1コマの2コマ行ったが、より受講生の交流が活発におこなわれるようなカリキュラム提供することが課題となった。

市民大学終了後も受講生が引き続き学習を進めることや、積極的に地域活動に参加していくようサポートしていきたい。

「おやじの食事学」

おやじの食事学は、男性が料理の楽しさを体験しながら家庭で実践できる食事作りを学び、家庭や地域で活躍できるようになってもらうことを目的として実施した。

受講生のアンケートでは、「栄養バランス」、「調理は段取り」等の知識やスキルを実践的に身につけ、食生活を見直す良いきっかけになりました。料理は“脳”のフル回転と、“五感”を研ぎ澄ます全身運動。レシピと記憶を手掛かりに各人が工夫し主体的に行動した結果、初対面同士の連繋プレーが生まれ、素材から献立が生まれました。今回の学習体験は今後の地域活動、更には人生の可能性へチャレンジする上で、ヒントを与えてくれるのではと思います。」という太鼓判の意見があった。

今年度の受講生は、講座の前半から、修了記念集の作成を計画し、各班から5名、委員長、副委員長と世話人で編集委員会を開催しました。そして、完成した「楽習録(らくしゅうろく)」。これは、講座の趣旨・目的を理解し、アンケートを集計・分析し、自分たちのレシピ「衣食同源まごわやさしい健康レシピ」の作成とさまざまな思いが詰まった学習の・記録と成果です。また、9月から毎回、班替えをし、交流が深まった。

講座の最終回には、自主サークル「楽習会」が結成され、地域で活動する生涯学習の一步を踏み出した。志津公民館で出会い、地域で仲間ができ、交流が深まり、譲り合う精神とボランティア心が醸成され、支え合う地域社会に繋がっていくよう今後に、期待する。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡」を学ぶ

- ① 開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村のすがたや生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。
- ② 募集対象・募集人数 成人 30人
- ③ 学習目標 1. 井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区についての知識を深める。
2. 地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	2月 3日(火) 9:30~12:00	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 松田 富美子
2	2月10日(火) 10:00~12:00	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	2月17日(火) 10:00~12:00	遺跡探訪し 知識を深める	文化課職員 小倉 和重
4	2月24日(水) 10:00~12:00	遺跡の経緯 今後について	文化課職員 猪股 佳二

⑤ 講座を終えて

「井野長割遺跡」は、印旛沼南岸の台地上に位置する縄文時代後・晩期(今から約4000~3000年前)に栄えた集落跡で、ドーナツ状に配置された盛土群により「環状盛土遺構」が明瞭に存在しており、平成17年3月に国の史跡に指定され佐倉市の重要な文化遺産となっている。

この講座では、身近な市民文化資産を教材とし地域を見直し・新しい佐倉の文化について考え、共に創り上げていく活動『佐倉学』を展開していくステップとなることを願って実施した。

アンケート結果では、約8割の方が講座に参加して満足との回答で、「自分自身の意欲を高めることに役立ちました。」等好評をいただいた。全4回の講座であったが、受講後も講師への質問が多く学習意欲が高

いことが伺えた。第4回目では、今後のあり方について学習し、講師の説明を聞き、質問や意見を交換しあう活発な学習の場となった。そのなかで、「出土品の展示する所を作ってほしいです。」「既に学校の建物となっており、全容が保存されていないのが残念です。」等の意見もあり、地域住民である受講生が後世にどのように引き継いでいくのが課題となった。

佐倉・城下町400年記念事業「佐倉道を歩く」

① 開設趣旨 1610年（慶長15）に土井利勝が佐倉城主となり、翌年から鹿嶋山に城を築き、城下町造りを始めた。2010年（平成22）はちょうど400年にあたるため、これを記念して城主の歩いた「佐倉道」を実際に歩き、城下町佐倉のことや佐倉道のことを学ぶ機会とする。

② 募集対象・募集人数 成人 20人

③ 学習目標 1. 佐倉城主の歩いた「佐倉道」や城下町佐倉への理解を深める。
2. 地域の素材を活用することで、郷土への愛着を持ってもらう。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月21日(火) 9:30~15:30	午前、佐倉道の成立や歴史、地理などを学び、午後に、佐倉道のうち、志津公民館から京成臼井駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 村田 一男
2	10月28日(火) 9:30~15:30	佐倉道のうち、江戸川駅~京成西船駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 藤 由美
3	11月11日(火) 9:00~15:00	佐倉道のうち、京成西船駅~習志野駅(新京成線)までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 菅野 貞男
4	11月18日(火) 9:00~15:30	佐倉道のうち、習志野駅(新京成線)~志津駅までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 牧野 光男
5	11月25日(火) 9:30~14:00	佐倉道のうち、京成臼井駅~佐倉城大手門跡までを歩く	八千代市郷土歴史研究会 畠山 隆

⑤ 講座を終えて

この講座は、佐倉・城下町400年記念事業の一環として、平成22年度から開設している。佐倉道の史跡散策を学習の柱として実施した。

初回は、午前中に受講生同士の自己紹介と、講義「佐倉道のあらし」として佐倉道の全体像等の講義を行った。午後は、志津公民館から京成臼井駅までのコースを史跡散策した。残りの4回は、上記の表のとおり、現地集合、現地解散とし、史跡散策を行った。散策をしながらの学習のため、受講生同士が感想や意見交換を活発にしていた。散策中は交通事故に細心の注意を払いながら進めた結果、交通事故もなく全日程を楽しく学習することができた。しかし、1回に約10kmと長い距離を歩きながら、史跡を巡るため、時間の制約上、見学を省略してしまう箇所もあった。1回の歩行距離や、タイムスケジュールなど、講師と見直しをしながら、実施していきたい。

アンケートでは、「この講座をきっかけに、佐倉周辺を自分で歩いて学習したい。」、「親しい友人ができて良かった。」、「今回の参加で住んでいる周辺に注意してみるようになった。」と、地域で仲間が出来、学習意欲の向上につながった様子が伺える。今後は、郷土佐倉への愛着や誇りを持ちながら、学んだことを社会や地域づくりに活かすことを望んでいる。

佐倉学入門講座 「地産地消 佐倉コミュニティカフェを学ぼう」

- ① 開設趣旨 高齢者の孤食等の食生活の悪化や子育て中のコミュニティ不足など、地域住民の交流の減少といった地域課題に対する解決策として、地域の住民が気楽に語り合える場としての「コミュニティカフェ」を学ぶ。また、佐倉の志津地区の家庭菜園等の野菜の活用し、地域活性化を考える。
- なお、講座は講義のほか、グループワーク（話し合い）や調理実習を実施し、受講者自らが考え、体験することにより、学習効果を高められるように配慮する。
- ② 募集対象・募集人数 成人20人(うち受講生14人。11/26日のみ、受講生のほかに子育てママの参加者8人と子ども5人が参加。)
- ③ 学習目標
1. 地域交流の希薄化といった地域課題の認識を深め、食材は、地域で収穫し、地域で活用して運営する「コミュニティカフェ」を学ぶ。
 2. これからの地域コミュニティについて学習する機会を提供し、コミュニティカフェのあり方について考える。
 3. 地域子育て支援を視野に入れ、志津公民館利用子育て世代サークル「happy Natural」との連携協力事業とし、4回目に地域の中で子育て支援の在り方を探る。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	会場	講師
1	10月22日(水) 10:00~12:00	地域コミュニティとコミュニティカフェ	住民の抱える食の問題を探りコミュニティカフェの必要性を話し合う	志津公民館 中集会室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)
2	10月29日(水) 10:00~13:00	こんなコミュニティカフェがあったら	コミュニティカフェの在り方について考える	志津公民館 中集会室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)
3	11月5日(水) 10:00~12:00	子どもも高齢者も喜ばれる食事	コミュニティカフェの軽食を作ってみよう！体験学習	志津公民館 調理室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)
4	11月26日(水) 10:00~12:00	子育て支援から考えるカフェ	地域子育て支援の在り方について探る	志津公民館 和室・調理室 管理人室	加藤富美子 (公認フードコーディネーター)

⑤ 講座を終えて

講座の中で、1回目、2回目は、グループワークを実施し、交流しながら学習を深めた。テーマは、自分の住んでいる地域の中のコミュニティについての課題を話し合った。将来、独居老人になると、全て一人でやらなければならない、食事等の栄養バランス、健康、買い物、病気、お金の管理等の不安をあげ、福祉課題が多くあげられた。地域の中で、交流の希薄化や高齢者の抱える孤食の問題など地域課題を主に学習した。そして、その問題解決策のひとつとして、全国のコミュニティカフェの事例について学び、情報交流の場としての必要性を話し合った。3回目には、講座生が自ら、子どもも高齢者も喜ばれる食事を実際に作り、食材は、佐倉の地産地消を意識して、近くの農業を営むおばあちゃんの畑の野菜や弥富地区の米、佐倉の豚肉等を購入し、地域活性化をめざし、学習した。更に、今年度4回目には、子育て支援から考えるカフェを学習し、参加者の高齢者と子育て世代のママさんとの意見交換や交流の場となった。

講座修了後、講座参加者のアンケートでは、「高齢者化の問題で同じような不安や考えていることが分かった。」「講座を参加して生活にはりあいがもてた。」「世代を超えていろいろな話を聞けて良かった。」「地産地消を意識して料理をしていきたい。」「子育て世代と話ができて、世代を超えて色々な意見が聞けて

良かった。」と地域での世代間交流やコミュニティ学習の成果が表れている。特に子育て中のママからのアンケートでは、「コミュニティカフェに興味があった。」「地産地消の大変良いと分かった。」「保育があって、ゆったりとした時間があり、心の余欲につながる。」等の意見が多かった。一方で、「コミュニティカフェ等の必要とする人がいっぱいいるが、情報が届いていない。」等の意見があり、今後、講座の改善につなげていきたい。

また、引き続き、地域コミュニティについて学習し、コミュニティカフェについて学習するサークルで昨年度結成された「長いすの会」に入会する人が多く、学習を継続する意欲がうかがえた。

コミュニティカフェは、地域の居場所。喫茶店のように飲食ができ、そこを拠点に立場も世代も超えた人が交わり、ふれあい、交流の場としての地域コミュニティが生まれることを期待する。

コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）

「しあわせへの整理収納」～人とモノをつなぐ、子育て世代の整理収納～

① 開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

モノのあふれる現代社会において、自身の整理収納で快適な空間を得るだけでなく、その結果を家族・地域におけるコミュニケーションの向上についても学習する。

② 募集対象・募集人数 成人16人

③ 学習目標 モノの整理は心の整理につながり、整理収納による人間性豊かな生活を実感するとともに、その結果を家族・地域におけるコミュニケーション向上についても学習する。

④ プログラム

	月日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	11月12日(水) 10:00～11:30	整理収納とは	○整理がもたらす3つの効果 ○片づけ診断テスト ○整理・収納について ○モノを減らすための取組	和泉 きよい
2	11月19日(水) 10:00～11:30	整理収納実践へ向けて	○整理収納スキル5つの法則 ○事例紹介 ○グループ発表	和泉 きよい
3	12月3日(水) 10:00～11:30	整理収納を体験して・まとめ	○整理結果(宿題)発表 ○事例紹介 ○質疑応答 ○まとめ	和泉 きよい

⑤ 講座を終えて

整理収納がうまくいかない原因を把握するために「片付け力診断テスト」を行った。そして、整理収納のノウハウを学び、課題として自宅で整理収納を実際に試み、その成果を各人発表することで、参加者同士が学びあいながら学習することができた。参加者の意欲・出席率も高く、また、少人数制であったことから講師と受講生の距離感も近く、和やかな雰囲気講座は進行し、グループ発表では積極的に討議に参

加する姿がみられた。

講師も疑問・質問に丁寧に回答することで参加者の理解も深まり、これがアンケートでの満足度として反映していると考えられる。

その受講生のアンケートから、「とても参考になった。」「他の受講生の話も聞けて良かった。」「説明の画像・資料が見やすくて良かった。」などの満足した感想が多かった。その一方で「3回の講座では、少ない」など学習意欲のある意見があった。

今後、整理収納効果で人間性豊かな生活を実感でき、それをきっかけに家族と地域のコミュニケーションが広がることを望んでいる。

4. 団体育成事業

第41回 志津公民館祭

① 開設趣旨 志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかる。

② 募集対象・募集人数 公民館利用サークル約120団体

③ 学習目標 開設趣旨と同じ

④ プログラム

開催日時 平成26年10月17日(金)～19日(日) 10時～16時(最終日は10時～15時)

会場 (第1会場) 志津公民館・(第2会場) 西志津ふれあいセンター

⑤ 公民館祭を終えて

志津公民館祭は、志津公民館で活動するサークルや団体が一堂に会し、作品展示・公演・作品販売など、日頃の学習成果を発表することと、団体間の交流、地域との交流を図ることを目的として開催した。開館翌年の昭和49年から毎年欠かさず開催され、今年度で41回を迎える伝統ある行事である。運営は参加団体の代表者で構成された実行委員会を組織して、手作りで運営している。

本年度も参加団体の拡大に向けて積極的に参加を呼びかけ、10数団体が新規に参加したが、事情により参加できない団体もあり、昨年と同規模の118団体の参加で行われた。本年度も役員及び実行委員、参加団体の皆様が協力し合い、熱心に準備を進めた結果、子ども体験コーナーでは親子でチャレンジしている姿や特に開催日の土曜日には、志津地区の小学校に配布しているPRチラシの効果もあり、例年に比べ小学生や親子連れの姿が多く見られ、祭り期間中は過去最高の3,184人の来場者が訪れ賑わいを見せた。

来場人数からも、例年以上に志津公民館祭の開催趣旨である志津公民館の利用団体が、自ら企画・運営して、日ごろの学習活動の成果を発表し、団体および地域住民との交流を深め、学習活動・地域活動の啓発をはかれたものと考えられる。

今後、「志津公民館祭」の開催趣旨に基づき、生涯学習を推進する中で、祭典の歴史を踏まえ歴史を重ねながら展開し、志津公民館と活動団体の協働により地域社会の活性化を目指し、継続的に実施することを願う。

定期利用サークル運営研修会

① 開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。

② 募集対象・募集人数 志津公民館利用グループ・団体の代表者

③ 学習目標 開設趣旨と同じ

- ④ 学習内容
 - ・公民館でのサークル活動とは
 - ・公民館の予約・使用について
 - ・参加者による意見交換
 - ・第41回志津公民館祭について
 - ・火災を想定した避難訓練

⑤ 今後に向けて

各サークル団体に対する必要かつ適切な助言・指導等について研究・検討し、公民館を拠点としたサークル活動の更なる飛躍と活性化を目指し実施した。

公民館の施設・設備の有効活用と地域住民ニーズに即した適正な運営管理に努め、「多くの住民が集う公民館」「地域づくりの核」となるよう、施設・設備の充実及び利用者との連携を図っていく必要がある。

調理室利用サークル懇談会

- ① 開設趣旨 調理室を定期利用している「グループ」・「サークル」を対象に、サークル団体の交流・共通理解を求め、調理室の効率的な活用と適正な運営・衛生管理の向上を図る。
- ② 募集対象・募集人数 定期利用している料理サークル
- ③ 学習目標 開設趣旨と同じ
- ④ プログラム
 - ・調理室の利用説明と要望・意見交換
 - ・調理室の清掃（調理器具の点検）
- ⑤ 今後に向けて

調理室の特性として衛生管理が最も重要であり、利用者相互の理解と協力により適切な施設運営が可能となることから、利用グループとの連絡調整を迅速かつ継続的に行うとともに、調理実習等としてグループ活動の場を共有する上での意識の向上を図ることが大切と考える。

*調理備品・器具の点検 *グループ備品の整理整頓 *生ゴミ・廃油等の処理の徹底

志津地区の子ども会育成活動

- 概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- 加入団体 単位子ども会 12 団体
- 活動内容
 - ・千葉県子ども会安全会説明会・志津JLC活動紹介（3月）
 - ・千葉県子ども会安全会 加入・追加・手続き 受付
 - ・活動支援相談・連絡調整

志津ジュニア・リーダーズ・クラブ（志津JLC）

- 概要 志津ジュニアリーダーズクラブは、主にジュニアリーダーの育成を目的として、志津地区を中心に活動している。志津地区子ども会連絡協議会や単位子ども会の活動における主要な協力団体であり、志津公民館ではその活動を支援している。
- 主な活動
 - ・単位子ども会への協力・行事支援
 - ・志津公民館祭参加（10月）
 - ・ジュニアリーダー初級認定講習会（主催 佐倉市教育委員会）への指導・運営協力（7月）
 - ・佐倉市子連主催「子ども会中央交流フェスティバル」への運営協力（10月）
 - ・志津JLCクリスマス会（志津公民館共催）企画・運営（11月）

5. 広報・展示事業

志津公民館だより

○ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加をはかることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。

○発行回数 年 3 回（5月・10月・1月）

○発行部数 毎号 25,000 部

○配布方法 志津地区内に新聞折り込み配布・市内公民館および志津地区内公共施設に配架

○内 容

第229号 (平成26年5月1日)	第230号 (平成26年10月1日)	第231号 (平成27年1月15日)
<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） お母さんと遊ぼう しづ市民大学 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内（共催事業） 文章講座 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） 佐倉学入門講座「地産地消佐倉 コミュニティカフェを学ぼう」 佐倉学講座「佐倉道を歩く」 しづ市民大学公開講座 子どもクッキング教室 子ども手づくり工房 子ども自然観察 子ども理科実験教室 ●募集案内 中高ちょこボラ ●募集案内（共催事業） 志津JLCクリスマス会 文章講座 ●行事案内 第41回志津公民館祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●募集案内（主催事業） 「井野長割遺跡」を学ぶ 笑顔で子育て応援講座 ●募集案内 活動サークル紹介 ●利用申込みの手続き ●志津公民館利用案内 ●募集案内 笑顔で子育て応援講座

○今後に向けて

今年度は、例年どおり3回（5、10、1月）「公民館だより」を発行した。紙面に限りがあるため、毎年主催事業の募集記事やイベントの様子の紹介等が主な内容になっている。

主催講座の案内では、「お母さんと遊ぼう」と「佐倉っ子塾」の記事について紙面の見直しを行い、情報が分かりやすく伝わるよう工夫した。

また、「公民館だより」の配布先についても見直しを行い、今年度は志津地区での新聞折込みや市内の各公民館、志津地区の公共施設へ配架のほか、志津地区の子ども会へ送付し、より多くの方に見ていただけるように配慮した。

今後は、さらに紙面等を工夫して公民館の活動を地域住民へ発信し、地域の多くの人々が「公民館だより」をきっかけにして志津公民館をより良く利用できるよう、努力していきたい。

6. 図書事業

図書等の貸し出し

- 内 容 図書資料やビデオなどの貸出事業を行う。
- 蔵 書 数 300 冊
- 実施期間 通年（公民館開館時間）
- 貸出方法 1 人 5 冊
- 貸出期間 2 週間
- 年間貸出数

一般	20点
児童	0点
DVD	4点
計	24点

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要

○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には土地区画整理地の中に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集まった地区が形成され、臼井地区の新しい核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、臼井ふるさとにぎわい祭や佐倉チュールリップまつりなどのイベントが開かれる他、計画的なまちづくりが進んでいる。

○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実してきた。

21世紀初頭には、人口約1万人の新しいまちが完成する計画がゆるやかに進行している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティー活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

臼井・千代田地区のデータ

【平成27年3月末現在】

○臼井・千代田地区	面積	18.56 km ²	（佐倉市	面積	103.69 km ² ）
○	住基人口	42,003人	（	住基人口	177,411人）
○	人口密度	2,263人/km ²	（	人口密度	1,710人/km ² ）

1. 公民館運営計画

運営方針

臼井公民館は、常に地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりをめざした事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を助成することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心施設としての役割を果たす。

努力目標

- より多くの市民に親しまれ、活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
- 市民の自主的な学習活動を援助するために、各種情報・資料の整理・提供に努める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
- 複合施設（市民音楽ホール等）の持つ機能をより効果的に発揮するための研修、調査を進める。

事業内容

1. 学級・講座の開設

地域の特性を考慮しながら市民生活に身近な課題をとりあげて、継続的・体系的に学習していく。また、与えるだけの学習ではなく参加者が自らつくり出す学習をめざし、内容を充実させていく。

2. 団体育成事業

各種の団体が自主的・継続的に充実した活動が進められるように、情報資料の提供や適切な助言、各機関との連絡調整を行う。

3. 広報・展示事業

- 学級・講座のお知らせや、グループ活動の紹介、その他さまざまな情報を提供し、公民館への認識と理解を深める。
- 市民の学習活動の発表展示の場として、広く市民に展示室を提供する。また、郷土の自然・生活・文化・芸術その他市民生活に関することなど幅広い分野からテーマを設定して展示会を催す。

4. 図書事業

- 市立図書館の分館的機能を持ちながら、複合館としての特殊性と地域性を考慮しつつ運営していく。
- 音楽関係図書の充実と一般図書・児童図書の蔵書数の増加をめざし、利用増大をはかる。

5. 施設・設備提供事業

- 開館日・貸出時間 第1・3・5月・火・木・日曜日及び祝日 9:00～17:00
水・金・土曜日 9:00～21:00（夜間の利用のない場合は17:00まで）
（ただし、図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9:00～17:00に業務を行う）

※使用の受付は原則として、2カ月前の月初に設定した利用抽選日から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の使用は使用日の前々月末日から受け付ける。

- 休館日 第2・4月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）、施設保守点検日
- その他 ・使用料については市民音楽ホールを有料で使用する団体には有料で、減免又は無料で使用する場合には無料で提供する。
 - ・利用抽選会は2ヶ月前の月初に実施し、予約を入れていく。
これは各団体が一堂に集まる機会でもあるので、団体交流と公民館活動への認識を深める場としても有効に利用する。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
利用件数 (件)	2,495	2,569	3,012	2,629	2,636
利用人数 (人)	42,919	43,939	50,503	45,924	47,069
開館日数 (日)	333	333	333	333	333

事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	おはなし会	5歳～成人 30人	4/12: 33人 5/10: 14人 6/14: 30人 7/12: 30人 8/27: 24人 9/13: 22人 10/11: 18人 11/ 8: 14人 12/13: 25人 1/10: 17人 2/14: 0人 3/14: 14人	臼井公民館図書室の読書活動推進事業。子どもたち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせによるおはなし会で本の世界に親しむとともに、テーブル人形劇を組み合わせた立体構成のおはなし会を行います。
	2・3歳児親子あそび	2・3歳児と 保護者 各10組	前期 4/25: 14人 5/ 9: 18人 5/16: 12人 5/23: 12人 後期 11/7: 15人 11/14: 17人 11/21: 6人 11/28: 12人	絵本の読み聞かせや手遊びで、温もりある親子関係を育みます。
	家庭教育共通講座	小学生以上の 保護者 30人	10/26: 14人	子どもがより良く成長するために、家庭の働きやあり方などを学習します。
青少年教育	佐倉っ子塾共通講座 「モバイルづくり教室」	小学生 20人	11/22: 16人	季節感のある物づくりを体験しながら想像力を育むとともに、幅広い年代との交流を図る。
	佐倉っ子塾共通講座 「自然講座」	小学校 4～6年生 20人	7/28: 19人	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものと感じる目を養う講座(環境政策課共同事業)。
	佐倉っ子塾共通講座 「土器づくり」	小学生～成人 30人	8/16: 12人	地域の歴史について、土器づくりを通して理解と関心を深める。
	バック・ステージ・ツアー	小学校4年生 ～成人 20人	8/5 午前: 29人 午後: 16人	音楽ホールの普段見ることのできない裏廻り(バックステージ)の見学と、演奏会を支えている音響、照明などを体験し、舞台芸術の仕事への理解を深める。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	地域づくり入門講座 「ヨガ講座」	成人 30 人	11/5 : 28 人 11/12 : 25 人 11/19 : 22 人 11/26 : 19 人 12/3 : 20 人	夜間の講座を通して参加者間のコミュニケーション・交流を深めながら地域住民の健康増進を図る。生涯スポーツ課共催。
	佐倉学専門講座 「印旛沼」	成人 20 人	11/7 18 人	佐倉の象徴とも言える「印旛沼」に関連する身近な自然環境・文化や歴史について学び、豊かな自然を次世代へと伝えていくことの重要性を認識してもらう。
	佐倉学入門講座 「中世の佐倉・ 白井城とその時代」	成人 30 人	12/6 午前：45 人 午後：21 人	当地の歴史を語る際に欠かせない「白井城」を主テーマに実施する。午前の講義と午後の歴史散歩を組み合わせ、現地を巡ることで理解と関心を深める。
	佐倉学体験講座 「ちょっといいとこ見て 歩き」	成人 20 人	11/29 : 14 人	佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。
コミュニティ事業	佐倉学び塾 「はじめよう！ 色コミュニケーション 色育（いろいろ）」	成人 15 人	11/14:13 人 11/21:9 人 11/28:8 人	生活の中で取り入れられる「色」を使ったコミュニケーションの方法、色彩心理からの心理的効果について学ぶ。
団体育成等	白井地区子ども会 育成会連絡協議会	加盟子ども会 9 団体	年間随時	単位子ども会の円滑な運営をはかるための相談・研修・情報交換や地区子連主催事業を行います。
広報・展示活動	白井公民館だより発行	主に白井・ 千代田地区	年 2 回 9 月、3 月 600 部発行	公民館の事業紹介や募集、地域の情報などを提供します。
	まちづくり資料室展示	小学生～成人	通年	白井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行います。
	サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を 1 週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に貢献します。
図書事業	図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図ります。

1. 家庭教育事業

おはなし会

- ① 開設趣旨 子どもにおはなしをすることで、物語（ストーリー）に親しませ、子どもと本をむすびつける。すばなしの他に絵本の読み聞かせやテーブル人形劇などを組み合わせ、年齢の低い子どもたちにも「物語の世界」を楽しめるように実施する。
- ② 募集対象、募集人員 5歳～成人、30人
- ③ 学習目標 1. 子どもにおはなしの楽しさを伝える。
2. おはなしを通して、子どもの本への興味を持たせる。

④プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	4月12日(土) 14:00～14:30	「ぞうとくじらのつなひき」「ソメコとオニ」 「はらぺこピエトリン」 「くまくんと6びきのしろいねずみ」	佐倉おはなしの会
2	5月10日(土) 14:00～14:30	「とりになりたかったこぐま」「たんぼぼのたび」 「ライオンのめがね」「わらわなない王女」	佐倉おはなしの会
3	6月14日(土) 14:00～14:30	「笛をふくオオカミ」「カンガルーかあさん」 「しあわせハンス」「びっくりたまご」	佐倉おはなしの会
4	7月12日(土) 14:00～14:30	「はるのくうき」「ごめんねともだち」 「さるのひとりごと」「かあさんのイコカ」	佐倉おはなしの会
5	8月27日(水) 14:00～14:30	「ワイリーと毛むくじゃら男」 「ほらふき凡平どんと峠のばけもの」 「ぼだいじゅの足のくま」 「ゆうれいフェルピンのお話」「ちんちんこぼかま」	佐倉おはなしの会
6	9月13日(土) 14:00～14:30	「おっとせいおんど」「山いっばいのきんか」 「お月さまドレス」「小さなまじょリトラ」	佐倉おはなしの会
7	10月11日(土) 14:00～14:30	「ちいさなおうち」「頭に柿の木」「穴のぞき」 「おんどりと二まいのきんか」	佐倉おはなしの会
8	11月8日(土) 14:00～14:30	「えっちゃんのうばぐるま」「ひょうとかもしかの子」 「ブケッティーノと鬼」「がちょうのペチューニア」	佐倉おはなしの会
9	12月13日(土) 14:00～14:30	「はやくかえてこないかな」「かさじぞう」 「スヌークスさん一家」「ともだちや」	佐倉おはなしの会
10	1月10日(土) 14:00～14:30	「くまがしっぽをなくした話」「ししときつね」 「さるのきも」「笛ふきイワヌシカ」	佐倉おはなしの会
11	2月14日(土) 14:00～14:30	「世界で一番きれいな声」「七人先のおやじさま」 「かえるばたもち」「三びきのやぎのがらがらどん」	佐倉おはなしの会
12	3月14日(土) 14:00～14:30	「ぼかぼかくもさん」「鬼の首引き」「三びきのくま」 「たまごから生まれたウマ」	佐倉おはなしの会

⑤講座を終えて

毎月1回、第2土曜日を基本に開催しています。8月については「こわーいおはなし会」と題し、普段のおはなし会とは違う雰囲気で開催いたしました。2月開催のおはなし会は参加者が0人であったため、今後のチラシ配布等周知方法について検討する余地があります。

幼児や小学校低学年の子どもの参加が多いためか、テーブル人形、指人形などを使ったおはなしは特に反応が良かったようです。毎回、おはなしの元となる絵本や、関連する本を紹介しています。

2・3歳児親子遊び 「親子で楽しむえほん・わらべうた ちびちびクラブin臼井」

- ① 開設趣旨 乳幼児を持つ親子（保護者も含む）に絵本の読み聞かせとわらべうたを通して、乳幼児からの絵本の楽しみ方と親子のふれ合い方を伝える。（佐倉図書館との共催事業）
- ② 募集対象、募集人員 2、3歳児と保護者、10組
- ③ 学習目標 1. 子どもに絵本の楽しさを伝える。
2. わらべうたを通して体を動かし、親子のスキンシップをはかる。
3. 保護者に乳幼児に適した絵本を紹介する。
- ④ プログラム（前期4回、後期4回）

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
前期 1	4月25日（金） 10:00～11:00	「いないいないばあ」「おうまさんしてー」 「たかひやまひくいやま」 「おすわりやすいすどっせ」ほか	佐倉図書館・臼井公民館職員、ちびちびクラブスタッフ
前期 2	5月9日（金） 10:00～11:00	「こんにちは」「わたしの」 「たかひやまひくいやま」「はらぺこあおむし」 「しゅっぱつしんこう」ほか	佐倉図書館・臼井公民館職員、ちびちびクラブスタッフ
前期 3	5月16日（金） 10:00～11:00	「たまごのあかちゃん」「りんごはいくつ」 「ちいさなねこ」「どうすればいいのかな」 「いっぽんばしこちょこちょ」ほか	佐倉図書館・臼井公民館職員、ちびちびクラブスタッフ
前期 4	5月23日（金） 10:00～11:00	「もこもこもこ」「みんなうんち」 「はけたよはけたよ」「ぞうくんのさんぼ」 「ちゅっちゅこっことまれ」ほか	佐倉図書館・臼井公民館職員、ちびちびクラブスタッフ
後期 1	11月7日（金） 10:00～11:00	「いないいないばあ」「おててがでたよ」 「ちびゴリラのちびちび」「だれかしら」 「がたんごとんがたんごとん」ほか	佐倉図書館・臼井公民館職員、ちびちびクラブスタッフ
後期 2	11月14日（金） 10:00～11:00	「こんにちは」「ちびすけどっこい」 「はらぺこあおむし」「ぼぼぼぼ」 「もうおきるかな」ほか	佐倉図書館・臼井公民館職員、ちびちびクラブスタッフ
後期 3	11月21日（金） 10:00～11:00	「のせてのせて」「わたしの」 「ちいさなねこ」「もこもこもこ」 「りんごはいくつ？」ほか	佐倉図書館・臼井公民館職員、ちびちびクラブスタッフ
後期 4	11月28日（金） 10:00～11:00	「あっぷっぷ」「まるまる」 「かじだしゅつどう」「あかいふうせん」 「おおきなかぶ」ほか	佐倉図書館・臼井公民館職員、ちびちびクラブスタッフ

⑤ 講座を終えて

幼稚園に入園前の、保護者以外と触れ合う機会の少ない子どもたちのため、初回はぎこちなさがあります。しかし、回を重ねて保護者とともに絵本とわらべうたを楽しんでいます。子どもたちのコンディションを考慮すると、今回のように暑さと寒さをなるべくさけた時期が、実施時期としてはよいと思われました。

低年齢の子どもたちですが、毎回1時間という時間を集中して聞いています。絵本の中での経験が日々の生活体験を豊かにしていきます。

家庭教育共通講座 「考えようスマートフォン」

- ① 開設趣旨 スマートフォンの普及など、子どもを取り巻くネット環境の変化に保護者としてどう対処すべきかを考える。
- ② 募集対象、募集人員 小・中学生の保護者を含む市民、30人
- ③ 学習目標 子どもを取り巻くネット環境の現状を理解してもらい、子どもの安全・安心を守るために家庭内でどのようにコミュニケーションをとるべきかを考える。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	10月26日(日) 10:00～12:00	悪質なサイト、ネットいじめ等、様々なネットトラブルについて学ぶ	NPO法人企業教育研究会 小池 翔太 氏

⑤ 講座を終えて

貸与されたタブレット端末を実際に操作しながら事件、トラブルを実際に体験してもらい、トラブルへの対処法について参加者同士でグループ討議をしながら講座を進めていきました。

参加者の多くが子育てを終了した世代となってしまったが、講座そのものには満足されています。小中学生の子を持つ保護者向けを想定して日曜日に講座を設定しましたが、むしろ平日にすべきだったかもしれません。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾共通講座「手作り講座」(モビールづくり教室)

- ① 開設趣旨 季節感のある物づくりを体験しながら、想像力を育むとともに幅広い年代との交流を図る。
- ② 募集対象、募集人員 小学1年生～6年生 20人
- ③ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月22日(土) 9:00～12:00	クリスマスに向けて、自分だけのアイデア いっぱいの手作りモビールを作る。	自然体験活動CONE コーディネーター 本部 三枝子 氏

④ 講座を終えて

紙と竹ひごと紐といった身近なものを使って、紐で操作するとサンタが下から上へあがっていくというモビールを作りました。紐や糸を通す工程は小学校の低学年には少し難しいようにみえましたががんばって作っていました。

佐倉っ子塾共通講座「自然講座」(夏休み こども水辺探検ツアー)

- ① 開設趣旨 市内の水辺環境について、講義や野外観察を実施することで、子ども達が自然に親しみ自然を大切にすることを養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう。
(環境政策課との共同事業)
- ② 募集対象、募集人員 小学4年生～6年生、20人
- ③ 学習目標 自然に親しみ、自然を大切にすることを養うとともに自然環境の重要性を認識すること。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	7月28日(月) 9:30～16:00	・ペットボトルで透視度計をつくってみよう ・印旛沼船上観察(屋形船) ・印旛沼、手繰川の水質測定 (透視度計、パックテスト等) ・畔田沢の水質検査、魚取り観察	(財) 千葉県環境財団

⑤ 講座を終えて

水質のパックテストや透視度測定によって自ら測定することにより、水質や自然環境等を考えるきっかけとなったものと思われます。また、屋形船に乗り水上から眺めることで印旛沼を身近に感じ、沼岸のヒメガマの観察など自然と触れ合う貴重な体験ができたように見受けられます。

畔田沢でドジョウやエビなどをたくさん捕ったことや、つかまえようとして魚が逃げてしまったなど、野外観察が参加児童の記憶に強く残り、自然を大切にすることを養うことにつながる感受性を育む効果もあったと思われます。

佐倉っ子塾共通講座（土器づくり教室）

- ① 開設趣旨 土器づくりを通して、土器の時代や地域の歴史について理解と関心を深める。
- ② 募集対象、募集人員 小学4年生～6年生 30人
- ③ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月16日(土) 9:00～12:00	「臼井まちづくり資料室」に展示している土器を紹介しながら、ねんどで土器を作ることで、土器の種類や当時の人々の暮らしについて学習する。	文化課 小倉 和重 氏

④ 講座を終えて

実物の土器を紹介しながら、土器と当時の人々の暮らしについて解説をしてもらったが、種類によっては火を灯すための土器があることに参加者は一様に驚いていました。

土器のかたちを自分なりに工夫をして作ったことや、縄などを使って自分なりの模様を作ったことが参加者にとって楽しかったようです。

バック・ステージ・ツアー

- ① 開設趣旨 複合施設である市民音楽ホールで、普段見ることのできない「舞台裏」を見学し事業がこういった仕事の積み重ねで完成されるのかを体験しながら学ぶ。
- ② 募集対象、募集人員 小学1年生～6年生、30人
- ③ 学習目標 文化事業の普段見ることのできない「舞台裏」を見学することで、実際の仕事の積み重ねによって完成されることについて学ぶこと。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	8月5日(火) 1回目 10:00～11:30 2回目 13:30～15:00	前半は、音楽ホールの施設を見学し、後半は、実際のホール・スタッフの仕事(コンサート開始の流れ)を体験してもらう。	市民音楽ホール職員

⑤ 講座を終えて

定員30人のところ好評につき45人の参加申込みがあり、午前・午後と2回にわけて開催いたしました。この講座は、鑑賞者が目にする以前の下準備にはこういったものがあり、どのような苦労があるのかを、実際に体感し文化事業の良き理解者となって欲しいと考えた事業です。市民音楽ホールでの裏方の実際の仕事を知り、文化活動に関心を持つ人達が育って欲しいと考えています。

3. 成人教育事業

地域づくり入門講座「ヨガ講座」(パワーヨガ講座)

- ① 開設趣旨 健康づくりと働く世代が参加しやすい夜間講座として、実施回数も多く設定して参加者同士のコミュニケーションづくりも目指すもの。
- ② 募集対象、募集人員 成人、30人
- ③ 学習目標 講座の中で、健康づくりと参加者間のコミュニケーションづくりを目指すこと。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1 5	11月5日, 12日, 19日, 26日 12月3日(各水曜日) 19:00~20:00	ヨガのポーズを連続して行う、より活動的なパワーヨガを学びながら、コミュニケーションづくりのきっかけとなるようにする。	上野 豊治 氏

⑤ 講座を終えて

夜間という時間帯にもかかわらず、参加者が熱心に集い、和気あいあいとした良い雰囲気の中で講座が進行しました。仕事帰りの参加者も見られる中で高い出席率を維持しながら、健康づくりを目指して講座は進行しました。

また、回数を重ねる中で顔見知りも増えて受講者間の会話も弾み、講座が終了しても自主的に運動を継続していきたいという雰囲気でした。アンケートでも今後の夜間及び健康づくり講座の実施を望む声が強くなることから、次年度の継続を検討します。

佐倉学専門講座「印旛沼」(臼井八景と北印旛沼の句碑を巡る)

- ① 開設趣旨 印旛沼の臼井八景と北部印旛沼の句碑を見学し学ぶことで、身近にある印旛沼に親近感や関心を持ってもらう機会とする。
- ② 募集対象、募集人員 成人 20人
- ③ 学習目標 印旛沼に関わる文化(漢詩・和歌)について学び、印旛沼のすばらしさを感じてもらおう。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月7日(金) 9:00~16:00	印旛沼、臼井八景についての漢詩・和歌について学び、印旛沼の自然を考える。	村上 勲 氏

⑤ 講座を終えて

印旛沼周辺に北原白秋や高浜虚子などの非常にたくさんの句碑があるということに驚かされていました。句碑を通じて印旛沼の自然や印旛沼の文学的な側面について関心を持ってもらうきっかけづくりになったと思います。また、前年度に開催した臼井八景の講座と関連して理解を一層深めることができたと思います。

佐倉学入門講座「中世の佐倉・臼井城とその時代」

- ① 開設趣旨 佐倉学の一環として、臼井城をめぐる二度の合戦について学び、臼井への理解と関心を深める。
- ② 募集対象、募集人員 成人、30人
- ③ 学習目標 臼井城での有名な合戦をとりあげて臼井城とその時代について学ぶことで当時の下総の状況について学ぶ。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	12月6日(土) 10:00～11:30 12月6日(土) 13:00～15:00	講義:「臼井城における二度の合戦」 散策:「臼井城・上杉謙信の一夜城」 太田図書館・上杉謙信一夜城跡ほか	印旛郡市 文化財センター 日暮 冬樹

- ⑤ 講座を終えて
熱心な参加者が多く、質問も多く臼井関連の歴史についての関心の高さが伺われました。史跡を散策したことで当時の状況がより一層実感できたと思います。また講義資料が豊富で細部にわたった講義内容であったため時代背景がわかりやすく理解でき、学習が深まったようでした。

佐倉学体験講座「ちょっといいところ見て歩き」(印旛沼の治水・花見川掘割)

- ① 開設趣旨 印旛沼開発史の中で、江戸時代に行われた掘削工事について、その現場となった史跡を見学し、印旛沼の歴史の一端を学ぶ機会とする。
- ② 募集対象、募集人員 成人 20人
- ③ 学習目標 大和田排水機場から花島観音まで花見川沿いの史跡見学を通じ印旛沼の水調整の現状や江戸時代の史跡に触れる。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月29日(土) 9:00～15:00	史跡散策 大和田排水機場見学、庄内藩 人夫の墓、 花島観音など	清水 秀夫 氏

- ⑤ 講座を終えて
あいにくの天候のなか行われました。印旛沼開発はなにも江戸時代だけにとどまらず、昭和の時代まで着工されとても長い歴史があります。甚大な水害が続く事態を打開するため長年にわたり開削工事が行われましたが失敗となることも多く、先人の苦勞を感じとれたようでした。

4. コミュニティ事業

佐倉学び塾（はじめよう！色コミュニケーション色育（いろいろ））

- ① 開設趣旨 本講座は、地域そのものや地域課題への関心を高める学習機会を提供することで「共に生き、支えあう」地域づくりに寄与する人材の育成を図る「コミュニティ事業・さくら学び塾（学びあい講座）」として、市民公募による講師の企画に基づき、開設する。

「色」に関する授業は、学校では学ばないが、身の回りにはたくさんの「色」があふれている。「色」を使ったコミュニケーションについて知ること、生活の中に取り入れていただくことを目指すもの。

- ② 募集対象、募集人員 成人、15人

- ③ 学習目標 生活の中で取り入れられる「色」を使ったコミュニケーションの方法、色彩心理からの心理的効果を学ぶ。

④ プログラム

回	月日（曜日）	学 習 内 容	講 師
1	11月14日（金） 10:00～12:00	色育（いろいろ）とは 初めての色彩心理	色育インストラクター 菊地 玲子 氏
2	11月21日（金） 10:00～12:00	いろいろ教材（色カード）を利用した コミュニケーション	同上
3	11月28日（金） 10:00～12:00	カラーボトルを使った傾聴ワーク等	同上

⑤ 講座を終えて

当初は男性の参加者が1名いましたが、1名だったためか2回目以降は欠席され、2回目以降は参加者が女性のみとなってしまいました。色彩心理をベースにした教材を利用して、親子や夫婦間のコミュニケーションを図るための手段としての色を使ったコミュニケーションについて学ぶ講座でしたので、もう少し男性の参加者があったならと思いました。

参加者の多くが、受講したことにより新たな色に関する様々な知識を学んだことに対して好意的な意見を述べています。

5. 団体育成事業

臼井地区子ども会育成会連絡協議会（臼井地区子連）

- ① 開設趣旨 臼井地区の単位子ども会の発展をねがい、関係機関団体との連携をはかりながら、各育成会同士の情報交換や育成者の研修を行う。
- ② 募集対象、募集人員 9団体
- ③ 学習目標 臼井地区の単位子ども会の発展に資すること。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	参加者
1	4月15日(火) 10:00～11:30	臼井地区子ども会育成会連絡協議会総会 安全会説明会	各単位子ども会役員 児童青少年課 地区子連事務局
2	8月23日(土) 13:00～20:00	「臼井ふるさとにぎわい祭」に参加 (模擬店出店・チャリティ寄付)	各単位子ども会役員 地区子連事務局
3	10月26日(日) 9:00～15:00	佐倉市中央交流フェスティバル 「日本を飛び出せ 世界時空旅行」	地区子連役員 地区子連事務局
4	3月26日(木) 8:15～16:45	臼井地区子連子ども会員(小学6年生) 卒業バスハイキング	地区子連役員 地区子連事務局

かたりべの会

- ① 開設趣旨 昭和60年度の講座「民話を語る会」の受講生を中心に、昭和61年2月に発足。子どもにお話を語ることを目的に、毎月1回お話の練習として定例会を行っている。
- ② 会員 25人
- ③ 学習目標 各人が覚えてきたお話を語り、感想を述べ合うことでおはなしの技術の向上を図る。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1～ 11回	毎月1回 第2水曜日 4月9日, 5月14日, 6月11日, 7月9日, 9月10日, 10月8日, 11月12日, 12月17日, 1月14日, 2月11日 3月11日 10:00～12:00	定例会を開催し、各人が覚えてきたお話を語り、感想を述べ合うことでおはなしの技術の向上を図る。	かたりべの会

6. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るために情報提供します。
- 発行回数 2回発行（9月・3月）
- 発行部数 600部
- 配布方法 抽選会場及び各公民館等に配置

まちづくり資料室の展示

- ねらい 臼井地区に関する歴史や遺跡等について理解と関心を深めるため、資料展示を行います。
- 展示期間 通年
- 展示パネル 「臼井に伝わる話」と題し、小学生から大人までを対象に臼井・千代田地区に伝わる昔話や伝説（『たんたん山』など）についてパネルによる展示資料で紹介し、地域に関心を寄せてもらう機会とした。

展示室の貸出し

- 市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供しています。グループの発表に使いやすい施設との評判をいただき、25前後の年間利用団体があります。
- 開室日・開室時間 月（第1・3・5）・火・木・日曜日 9：00～17：00
水・金・土曜日 9：00～21：00
- 休 室 日 第2・4月曜日、年末年始等
- 使用について 予約受けは6ヶ月前から
貸出期間は1団体、火曜日から日曜日までの6日間を基本とする。
- 利用団体数 23団体
- 観覧者数 8,245人
- 使用料について 原則として無料。但し、個展・〇〇先生展・〇〇教室展示会等営利や売名行為的内容のあるものや、市外の方の使用については有料とする。
使用料 午前960円、午後1,280円、夜間1,260円

・26 年度開催展示会一覧

※入場者数は主催者届出による

番号	行 事	主催者(ジャンル)	期 日	入場者数
1	第 23 回刻字展	佐倉刻字愛好会	4/15 ~ 4/20	319
2	第 21 回臼井ルネサンス会	臼井ルネサンス会	5/14 ~ 5/18	920
3	第 3 回水彩仲間 18 作品展	18 期水彩画クラブ	6/11 ~ 6/15	382
4	杉の子水彩展	杉の子	6/24 ~ 6/29	518
5	葦の会絵画作品展	葦の会	7/1 ~ 7/6	417
6	市民のつどい	平和を次の世代に	7/19 ~ 7/22	119
7	絵てがみ展	さくら絵てがみサークル	9/2 ~ 9/7	555
8	佐倉市高連作品展	佐倉市高齢者クラブ連合会	9/10 ~ 9/13	350
9	第 14 回アビロン展	水彩画グループ AVIRON	9/16 ~ 9/21	694
10	第6回サークル K 水彩画展	サークル K	9/23 ~ 9/28	224
11	第 12 回春秋展	春秋会	9/30 ~ 10/5	540
12	第 4 回四酔会絵画展	四酔会	10/7 ~ 10/12	261
13	陶芸作品展	勝山会	10/28 ~ 11/2	218
14	しづ美術サークル作品展	しづ美術サークル	11/11 ~ 11/17	527
15	アートオブパラダイス	リブ・フォーエバー	11/25 ~ 11/30	207
16	吐夢展	吐夢の会	12/2 ~ 12/7	316
17	パレット・ユーカリ絵画展	パレットユーカリ	12/16 ~ 12/21	172
18	今日行く処 遊土飛垂(ユートピア)	佐倉そばづくり倶楽部	1/13 ~ 1/18	259
19	伝統文化親子いけばな作品展	伝統文化生け花サークル	1/24 ~ 1/25	113
20	第 28 回油絵展	白蝶会	2/24 ~ 3/1	421
21	第 3 回水彩展	柴門会	3/3 ~ 3/8	324
22	森 de アート 表現展	NPO 佐倉こどもステーション	3/20 ~ 3/22	96
23	ワールサークル絵画展	ワールサークル	3/24 ~ 3/29	293
計		23 団体		8,245

7. 図 書 事 業

○開室日・開室時間 火（第1火曜日を除く）～日曜日 9:00～17:00

○休 室 日 月曜日・第1火曜日・年末年始・特別整理期間

○貸 出 方 法 登録制で貸出券による。

1回につき1人10冊まで15日間貸出します。

○蔵 書 数

- ・一般図書 26,648冊
- ・郷土資料 1,818冊
- （音楽関係図書を含む）
- ・その他 29冊
- ・児童図書 11,015冊
- ・楽 譜 4,104冊
- ・参考図書 617冊
- ・蔵書冊数 44,231冊（平成26年3月末現在）
- ・雑 誌 26誌
- ・新 聞（朝刊） 8紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	4,184	4,249	4,044	4,402	4,586	4,121	3,880	4,137	3,468	3,985	4,123	4,409	49,588
貸出冊数 (冊)	11,816	11,935	11,631	12,566	13,258	11,563	11,248	11,514	10,182	11,121	11,693	12,346	140,873
開館日数 (日)	25	26	24	26	26	24	22	25	22	24	23	25	292

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指します。